



報告事項

報告事項 1

協議会議長

澤 辰水

一般社団法人日本ライオンズ執行理事会・理事会・社員総会 報告

- 【一社日 L】 第 1 回社員総会議事録 (2023/8/8 開催) P6~13
- 【一社日 L】 第 3 回理事会議事録 (2023/9/14 開催) P14~21

報告事項 2

LCIF コーディネーター

高岡 英治

LCIF 日本リーダーズ会議

日時：9 月 7 日(木) 13:30~17:30

会場：TKP 新橋カンファレンスセンター 13 階 ホール 13A

LCIF リーダーズ会議議事次第..... P22

336/337 地区対象 ZOOM 会議 (LCIF 目標進捗状況の確認)

日時：11 月 11 日(金) 11:00~12:30

LCIF 理事長 プライアン E. シーハン夫妻 西日本公式訪問式典

日時：9 月 18 日(月) 15:00~20:00

会場：リーガロイヤル京都

シーハン西日本公式訪問式典プログラム P23

8 月寄付一覧..... P24

報告事項 3

GMT・GMA コーディネーター

池原 堅

2023-2024 年度第 2 回 GMA・GMT&GAT 合同委員会開催について

2023-2024 年度 MD336GMA・GMT 会議の第 2 回合同会議を開催いたします。
 今年度はミッション 1.5 も新プログラムもスタートし 4 ヶ月経過しましたが、
 MD336 全体と各準地区について情報を共有化しながら進めていきます。
 会議参加者は MD336 各世話人・各委員長・副委員長の出席をお願いします。

※第 2 回合同会議(ハイブリッド形式)日程について

- ・ 12 月 7 日(木)午後 13:00~16:30 開催地：岡山商工会議所 4 階
出席対象者：複合地区 GAT コーディネーター・副コーディネーター
- ・ 第 3 回目は 2 月 1 日~2 月末日までに開催予定
会議方法はハイブリッド形式又はリアル方式としたい。

MISSION1.5 は 2027 年 7 月 1 日までにライオンズクラブ国際協会は全世界合計会員数 150 万人(ワン・ポイント・ファイブ)を達成する。

- ・ すべての会則地域で 2026-2027 年度までに会員純増を達成する。
- ・ すべての地区で、新クラブを結成する。
- ・ Misson1.5 期間中に、すべてのクラブが新会員を迎える。
- ・ すべての地区は、女性会員や若手会員を含め、より多様な会員を迎え入れるための戦略を策定する。

ミッションと今後のプロセスとして

- ・ 純増 500 人
- ・ すべての地区で新クラブを結成

MD336 各準地区経過状況について状況報告をお願いします。

GAT 報告書(9月末現在)..... P25

報告事項 4

GMA 世話人

真鍋 隆

会員拡大報告書（2023年9月末現在）…………… P26

国際本部集計クラブ数・会員数（9月末現在）…………… P27

報告事項 5

GLT コーディネーター

西尾 慎一

1. ALLI<https://www.lionsclubs.org/ja/resources-for-members/resource-center/advanced-lions-leadership-institute>

ALLI の開催は 2023-2024 年度の開催が最後となりますので、資格要件をご確認の上、今後地区運営に関わっていただける方には是非この機会をご活用いただければと思います。

開催日：2024年2月2日～4日

開催地：韓国・釜山

募集人数：25名

申請書提出先：オセアル調整事務局 gatjapan@lionsclubs.org

申請書提出期限：2023年11月1日（水）

2. LCIP<https://www.lionsclubs.org/ja/resources-for-members/resource-center/lions-certified-instructor-program>

開催日：2024年4月26日～29日

開催地：マレーシア・クアラルンプール

募集人数：10名

申請書提出先：オセアル調整事務局 gatjapan@lionsclubs.org

申請書提出期限：2023年12月14日（木）

報告事項 6

GST コーディネーター

中島 繁

「思いやりは大切なこと」奉仕アワード地区推薦について

5クラブより応募があった

A地区：高知桂ライオンズクラブ・高松しらうめレオクラブ

B地区：津山衆楽ライオンズクラブ・岡山みらいライオンズクラブ

D地区：宇部新川ライオンズクラブ

MD336として、津山衆楽ライオンズクラブ

チャリティー・フリーマーケット「古着 de ワクチン & SDGs 大作戦！」を国際本部へ推薦

報告事項 7

SCP・FWT コーディネーター

鵜飼 恵美

活動報告

<8/24(木) 第1回複合地区役員連絡会議 岡山市・杜の街グレース 以降分>

- ・8/27(日) 「全日本 SCP・FWT コーディネーター顔合わせ、ミーティング」出席
東京都・ザキャピトルホテル東急
- ・9/12(火) 「336-C地区 地区FWT研修会・輝く女性セミナー」講師
広島市・RCC文化センター広島
- ・9/23(土) 336-C地区西部地区「薬物乱用防止教室講師養成講座」受講
広島県庁内自治会館
- ・9/26(火) 「第1回全日本 SCP・FWT 会議」<ZOOM>
- ・9/27(水) 「福岡ミッション1.5セミナー」出席
福岡市・FFGホール

- ・10/6(金) 「第1回 336 複合地区 GAT/長期計画合同委員会」出席
岡山市・杜の街グレース
 - ・10/17(火) 「GLT ウェビナー」<ZOOM>
 - ・10/20(金) 「336-C 地区第2回 GMA・GMT・GET・SCP/FWT 会議」<ZOOM>
 - ・10/21(土) 「336-D 地区 SCP・FWT 打ち合わせ会 in 沖縄」<ZOOM>
今期、全日本 SCP・FWT アクティビティ
「離島の子どもの教育支援」について
 - ・10/27(金) 「GST ウェビナー」<ZOOM>
 - ・10/28(土) 「薬物乱用防止教室講師スキルアップ講座」出席
広島市・広島修道大学
 - ・11/2(木)~5(日) 「第60回 OSEAL フォーラム(マニラ)」参加
 - ・11/12(日) 「PEACE STOCK 78'広島」キャビネネット主催アクティビティに参加
(10:00~17:00/学生会員3名と共に「レモネードスタンド」応援)
広島市・広島マリーナホップにて開催
- <11/16(木) 第2回複合地区役員連絡会議 岡山市・杜の街グレース>
- ・11/19(日) 「336-D 地区 ミッション 1.5 研修会(GMT・GLT 合同研修会)」講師
宇部市・ヒストリア宇部にて開催

※10月14~16日、カイロにて開催された国際理事会にて決議された世界全体のテーマ
「Women and young people membership development.」 = 「女性と若者の会員増強」

2022-2023 年度第1回全日本 SCP・FWT 会議議事録 (2023/9/26 開催) P28
MD336 会員増強目標報告 9 月度 (2023/10/27 現在) P29

報告事項 8

会則および付則運営マニュアル編集委員会委員長

松岡 諒

【一社日 L】 第2回委員会議事録 (2023/9/21 開催) P30~35

【MD336】 第1回委員会議事録 (2023/9/26 開催) P36~38

報告事項 9

アラート委員会委員長

西尾 慎一

【一社日 L】 第1回委員会議事録 (2023/8/25 開催) P39~44

【一社日 L】 第2回委員会議事録 (2023/9/25 開催) P45~50

「全国アラートフォーラム in 岡山」について

フォーラム

開催日時：2024年2月24日(土) 13:30~16:30

開催場所：岡山市民会館

登録料：2000円 ※一般無料

懇親会

開催時間：17:30~19:30

開催場所：ホテルグランヴィア岡山 4F「フェニックス」

登録料：8000円

※出欠集約と登録料集約については MD336 事務局で行う

登録料振込み先

中国銀行 大供(だいく)支店 普通預金 1503438

ライオンズクラブ国際協会 336 複合地区

会計 山崎 勝彦(やまさき かつひこ)

~予定~

・案内状を作成し、8MD内へ送る ※11/15(水)までに

・出欠取り纏めはスプレッドシート上で各 MD 単位で行っていただく 締切日 1/25(木)

・各 MD 宛で請求書を発行する

・登録料振込み期間 2/26(月)~2/29(金)

報告事項 10	
環境保全・保健福祉・献血・献眼・視聴覚委員会	田中 秀幸

- 【MD336】第2回委員会議事録（2023/11/6開催）…………… P51
- 献血推進・協力実績（令和4年と令和5年の比較）…………… P52

報告事項 11	
青少年・ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会	春木 扶佐子

ライオンズクエストワークショップ開催実績・普及促進活動について

ライオンズクエストプログラムワークショップ開催実績 ※資料参照

- ・336-A地区 高知市・土佐市・鳴門市 教員対象ワークショップ 3回 開催
- ・336-C地区 福山市 教員対象ワークショップ 1回 開催

ライオンズメンバー勉強会

- ・8月24日（木）336-A地区 高知セミナー 6R・7R ライオンズメンバー対象のセミナー
- ・9月20日（水）336-C地区 ライオンズメンバー対象の1日基本編 ワークショップ開催
福山市 20名参加 9月21日（木）広島市 17名参加

普及促進

- ・10月10日（火）336-A地区 4R-2Z 高松東 LC より要望あり
ライオンズクエスト講演会 春木委員長 ワークショップ開催に向けて取り組むことを
クラブで決定

委員会開催

- ・第1回委員会開催 10月30日（月）13:00～ webにて開催 ※議事録参照
青少年活動について・薬物乱用防止活動について・ライオンズクエストについて
準地区各委員長より、活動報告と今後の活動予定について説明がありました。

今後の予定

- ・11月21日（火）336-A地区 1R1Z 合同例会にてライオンズクエストについて説明
沖副委員長
- ・2回目委員会を2月に開催予定

- ワークショップ開催数（2023.7～9）…………… P53
- ワークショップ開催見積…………… P54
- ワークショップ開催実績…………… P55
- ワークショップ開催費…………… P56
- 【MD336】第1回委員会議事録（2023/10/30開催）…………… P57～59

報告事項 12	
YCE・国際関係・レオ・平和ポスター委員会	蔵本 守雄

- 【一社日L】第1回委員会議事録（2023/8/24開催）…………… P60～61
- 【MD336】第1回委員会議事録（2023/9/14開催）…………… P62
- 【MD336】第2回委員会議事録（2023/10/26開催）…………… P63

報告事項 13	
ライオン誌日本語版委員会	上田 隆政

- 【一社日L】第1回委員会議事録（2023/8/9開催）…………… P64～69
- 【一社日L】第2回委員会議事録（2023/9/6開催）…………… P70～73
- 【一社日L】第3回委員会議事録（2023/10/6開催）…………… P74～77

報告事項 14

国際理事候補者資格審査委員会

酒井 公一

【一社日 L】 第 1 回委員会議事録（2023/8/9 開催） P78～79

報告事項 15

国際大会委員会

徳永 修

【一社日 L】 第 1 回委員会議事録（2023/8/17 開催） P80～94

【一社日 L】 第 2 回委員会議事録（2023/9/12 開催） P95～96

【一社日 L】 公認 TC 打合せ会議事録（2023/10/2 開催） P97～109

その他報告事項

LCIF 理事長メダルの贈呈について

対象者 P110

メダルの種類と基準 P111



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

hone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 Email:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-総M1>

2023-2024 一般社団法人 日本ライオンズ 第1回定時社員総会 (全国ガバナー会) 議事録

◎日時：2023年8月8日(火) 1:30~4:00 ◎場所：AP日本橋6F Gルーム会議室

出席者リスト

2023年8月8日 12:00 現在

2023-24 年度正社員【地区ガバナー】

- 330-A 地区ガバナー 阿部かな子
- 330-B 地区ガバナー 石田真一
- 330-C 地区ガバナー 田中雄一 ※
- 331-A 地区ガバナー 設楽幸子
- 331-B 地区ガバナー 藤原回向 【欠席】◎
- 331-C 地区ガバナー 渡部義男 【欠席】◎
- 332-A 地区ガバナー 大矢進
- 332-B 地区ガバナー 高橋寛
- 332-C 地区ガバナー 渡邊俊弥
- 332-D 地区ガバナー 門馬弘
- 332-E 地区ガバナー 西村公夫
- 332-F 地区ガバナー 石垣勝康 【欠席】◎
- 333-A 地区ガバナー 鈴木壽男
- 333-B 地区ガバナー 後藤一男 【欠席】◎
- 333-C 地区ガバナー 北野淳子 【欠席】◎
- 333-D 地区ガバナー 福田勝巳 【欠席】◎
- 333-E 地区ガバナー 齊藤正行
- 334-A 地区ガバナー 木野村好己 【欠席】◎
- 334-B 地区ガバナー 川嶋富士雄 【欠席】◎
- 334-C 地区ガバナー 前田磨 【欠席】◎
- 334-D 地区ガバナー 小出進
- 334-E 地区ガバナー 喜多友一 【欠席】◎
- 335-A 地区ガバナー 山中健
- 335-B 地区ガバナー 西尾良典
- 335-C 地区ガバナー 山本忍
- 335-D 地区ガバナー 廣田晃一
- 336-A 地区ガバナー 山崎勝彦
- 336-B 地区ガバナー 藤井信英 【欠席】◎
- 336-C 地区ガバナー 三口巖
- 336-D 地区ガバナー 山崎もとみ
- 337-A 地区ガバナー 中村巧 【欠席】◎
- 337-B 地区ガバナー 下堂蘭一将 【欠席】◎

- 337-C 地区ガバナー 古賀義行 【欠席】◎
- 337-D 地区ガバナー 新里正雄 ※
- 337-E 地区ガバナー 伊藤竜彦 【欠席】◎

2022-23 年度正社員【理事会理事】

- 一般財団法人日本ライオンズ理事長 不老安正
- 2022-23 一般社団法人日本ライオンズ理事長 村木秀之

【2023-24 年度 協議会議長】

- MD330 議長 田中雄一
- MD331 議長 松浦淳一
- MD332 議長 栗村安弘
- MD333 議長 星野勝美
- MD334 議長 戸祭宏樹
- MD335 議長 中谷豊重
- MD336 議長 澤辰水
- MD337 議長 新里正雄

【2022-23 年度 協議会議長】

- MD330 議長 吉本晴夫
- MD331 議長 須藤敏幸
- MD332 議長 田名部智之
- MD333 議長 松本宰史
- MD334 議長 増澤義治
- MD335 議長 吉村弘吉
- MD336 議長 池原堅
- MD337 議長 玉川孝

【2022-24 年度監事】 2年任期の2年目

- MD330 元議長 今井文彦
- MD331 元議長 佐々木忠康 【欠席】◎
- MD334 元議長 橋本勝策
- MD336 元議長 岡村聖爾 【欠席】◎

◎議決権行使書

正社員総数 55名 (出席 38名・欠席 17名)

※DG、CC兼任



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

hone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 Email:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-総M1>

【正社員】 第1回全国ガバナー会出席者数 内訳：

	出席	欠席*	小計
DG	18	15	33
理事	18	0	18
監事	2	2	4
<hr/>			
	38	17	55 (名)

議決権行使書

第1号議案	2022-23 計算書類及び事業報告の承認 (監事監査報告)	賛 17	否 0	0
第2号議案	2023-24 事業計画案承認の件	賛 17	否 0	0
第3号議案	2023-24 収支予算案承認の件	賛 17	否 0	0
第4号議案	2023-24 新理事・新監事の選出の件	賛 17	否 0	0
第5号議案	2023-24 年度社員総会日程案の件	賛 17	否 0	0



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

hone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 Email:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-総 M1>

オブザーバー

【2022-23 年度 名誉理事長】

2015-2016 国際会長 山田 實 紘 【欠席】

【2022-23 年度 国際理事 および LCIF 理事】

2022-24 国際理事 鶴 嶋 浩 二 【欠席】

2023-25 国際理事 濱 野 雅 司

2023-25 国際理事 城 阪 勝 喜

LCIF 理事 鈴 木 誓 男 【欠席】

【2022-23 年度 参与】

2022-2023 年度 G A T 日本全域エリアリーダー/G S T 及び MD336/337 担当

識 名 安 信 【欠席】

2022-2023 年度 G A T 東日本副全域副リーダー/元国際理事

川 島 正 行 【欠席】

2022-2023 年度 G A T 西日本副全域副リーダー

松 岡 勲 【欠席】

2022-2023 年度 G A T エリアリーダー/F W T 及び MD330/331 担当

小 川 晶 子

【一般社団法人日本ライオンズ】

元理事長 2021-22 仁 科 良 三 【欠席】

【2021-22 年度 協議会議長】

MD333 議長 山 川 洋

MD334 議長 山 本 基 博

MD337 議長 古 川 隆 【欠席】

MD332 議長 下 間 俊 悦 【欠席】

MD335 議長 三 宮 秀 介 【欠席】

MD336 議長 福 永 栄 一 【欠席】

【OSEAL 調整事務局】

OSEAL 調整事務局事務局長 マ ー ズ 佐 子 【欠席】

【顧問】

法律顧問 池 田 和 司

会計顧問 吉 田 宗 一 郎

以上



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

hone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 Email:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-総 M1>

社員総会に先立ち、スペシャルオリムピックス日本 平岡理事長より支援のお礼と活動報告。

司会：山本専務理事

出席者の確認：正社員数 55 名、本人出席 38 名、委任状または議決権行使書による出席 17 名、欠席 0 名定款 17 条 総正社員の過半数出席により開催成立。また定款 18 条により、決議は出席した総正社員の過半数をもって決することになる。

1.開会のことば 2022-2023 年度一般社団法人日本ライオンズ 村木理事長

定款 16 条「社員総会の議長は理事長がこれにあたる」との規定により議長を務めさせていただく。

定款第 23 条により、「新年度の理事及び監事は、社員総会の決議において正社員のうちから選任される」とのことにより、それまでは村木が議長を務めさせていただく。

本日の臨時総会は第 I 部 第 1 回社員総会・第 II 部 新年度第 1 回理事会・第 III 部 継続総会（報告事項）の三部構成とする。

来場者ご挨拶

国際役員のうち、本日まで参加の国際理事 2 名（城阪 ID・濱野 ID）よりご挨拶。

議事録署名人選出・議事録作成人選出

議事録署名人 331-A 地区 設楽ガバナー 336-C 地区 三口ガバナー

議事録作成人 331MD 松浦副理事長 334MD 戸祭常務理事

議案審議

第 1 号議案「2022-23 計算書類及び事業報告の承認」

22-23 年度財務担当理事である鶴嶋国際理事が欠席のため、



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

hone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 Email:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-総 M1>

23-24 年度 須藤財務担当理事より説明。

村木理事長より 7 月 18 日、各 MD から 1 名の監査員（旧年度）による監査を受けたのち 7 月 21 日に開催の旧年度理事会（HB）において承認されたことと、本日第 1 回社員総会においても決算承認を受ける件が説明され、事業報告と監事監査報告も第 1 号議案となっている兼が説明された。

もう 1 つの第 1 号議案である事業報告について山本専務理事より説明。

続いて今井監事より監事監査報告書に基づく説明があり、事業および会計について法令および定款に抵触する部分がない旨が報告された。

参加者より SON・アラート関係の残金の扱いをはじめ、数か所内容について質問があり、執行部より回答。

・SON 残金について

どこから発生したお金か、SON は事業として定款 4 条のうちどこへ該当するか

→2022 年札幌大会が中止になったため、広島大会へ残金を繰り越ししたが、広島大会でも約 600 万の残金が発生した。次回開催の札幌・長野大会への支援に充てる。SON については社団の事業ではなく、社団が SON の事業へ協力している。

・アラート委員会特別会計について なぜ特別会計と記載されているのか

→2021 年に発生した台風 19 号への皆様からの義援金の残金であり、その後グアムと福島への支援にも使用した。グアムへの支援については会計監査後に不明瞭な部分が発覚したため、残金の使用については凍結していた。現在はアラート委員会として義援金を集めたりすることはない。

特別会計として記載している理由について、会計顧問より補足説明があり、細かい明細がついていないため一緒にしてしまうとわからなくなってしまうため別に記載をしている。

→アラート関係のお金は目的に則って使ってほしいとのご意見。

・第 105 回ボストン大会 日本ライオンズ代議員会のバスチャーター費用について他の項目よりざっくりとしているのはなぜか

→日本円で旅行会社より見積もり請求があったため、このような金額になっている。

審議後、採決へ移る



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

hone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 Email:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-総 M1>

→満場一致により承認可決

ロ. 第 2 号議案「2023-24 事業計画案承認の件」

山本専務理事より各種委員会と、開催予定数の確認。

PR マーケティング、法人関係会議（執行理事会・理事会・総会・監査）についても開催計画案が提示された。

→賛成多数により承認可決

ハ. 第 3 号議案「2023-24 収支予算案承認」

須藤次期財務担当理事より説明。

賛助会費について、MD330 の第 69 回年次大会の決議を受け、同 MD 会員数 1 万名分をマイナスした件やライオン誌発行回数変更に伴う件など、主な変更箇所について説明があった。

→賛成多数により承認可決

ニ. 第 4 号議案「新理事の選出の件」

山本専務理事より説明

新理事・新監事候補者名簿案について、5 月 10 日に開催された臨時社員総会において、地区ガバナーの皆様からのご提案を受けたのち承認された理事会構成案に基づき、6 月 14 日に開催された前年度第 4 回社員総会においても、既に新理事候補者の氏名がリスト及び口頭にて発表確認がされている。

本日の第 1 回社員総会において、正式に新社員の皆様の承認をいただくことになる。

なお、監事は 2 年任期の 2 年目、前年度に引き続き 4 名の元協議会議長が候補者となっている。

→賛成多数により承認可決



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

hone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 Email:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-総 M1>

ホ. 第 5 号議案「2023-24 年度社員総会日程案の件」について山本専務理事より説明

→賛成多数により承認可決

挨拶：村木理事長

すべての議案の終了後、2022-23 年度理事として、当社団の運営に関与いただいた皆さまには定款の定めによる任期が満了した報告と、社団運営への協力に感謝の言葉が述べられた。

第 II 部 新理事会構成員による新年度臨時理事会 15：00 より

司会進行：新専務理事予定者 増澤義治

15：30 より総会が再開。

第 III 部 各種報告事項

以下より田名部新理事長が議長となり、増澤新専務理事が進行。

イ. 新執行理事会構成の報告

田名部新理事長のご挨拶のあと、新執行部および構成が発表された。

ロ. 各種報告事項

一般財団法人日本ライオンズ 不老理事長より、

一般財団法人日本ライオンズ活動報告と、公益化へ向けての手続きの状況が報告された。

田名部新理事長の挨拶により、第 1 回定時社員総会を閉会。

16：00 閉会



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

hone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 Email:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-総 M1>

議事録作成日：2023 年 8 月 8 日

議事録作成人

副理事長 松浦 淳一

常務理事 戸祭 宏樹

議事録署名人

一般社団法人日本ライオンズ 理事長

田名部 智之【押印省略】

331-A 地区ガバナー 設楽 幸子【押印省略】

336-C 地区ガバナー 三口 巖【押印省略】



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-執 M 3 >

(2023-2024 年度)

一般社団法人日本ライオンズ 23-24 年度第 3 回理事会 議事要録

開催日時：2023 年 9 月 14 日(木)13：30-16：00

場 所：北海道岩見沢市 ホテルサンプラザ

出席者：

理事長	田名部 智之	(八戸)	理事 (一般財団法人日本ライオンズ理事長)
副理事長	池原 堅	(福山久松)	不老 安正 (大宰府) 【欠席】
副理事長	松浦 淳一	(岩見沢はまなす)	理事
専務理事	増澤 義治	(諏訪湖)	(一般社団法人日本ライオンズ前理事長)
			村木 秀之 (東京数寄屋橋)
常務理事	田中 雄一	(狭山) 【欠席】	
常務理事	栗村 安弘	(大船渡)	監事 今井 文彦 (東京巢鴨) 【欠席】
常務理事	星野 勝美	(太田) 【欠席】	監事 佐々木 忠康 (小樽)
常務理事	戸祭 宏樹	(鯖江王山)	監事 橋本 勝策 (焼津)
常務理事	中谷 豊重	(岸和田)	監事 岡村 聖爾 (下関) 【欠席】
常務理事	澤 辰水	(下関)	
常務理事	新里 正雄	(沖縄) 【欠席】	
理事	吉本 晴夫	(藤沢中央) 【欠席】	
理事	須藤 敏幸	(伊達)	
理事	松本 宰司	(南房総) 【欠席】	
理事	吉村 弘吉	(和歌山) 【WEB】	
理事	玉川 孝	(熊本葵) 【欠席】	

オブザーバー：

法律顧問

池田 和司 (東京桜門) 【欠席】

会計顧問

吉田 宗一郎(東京武蔵野) 【欠席】

事務局長補佐

菅原 孝明 (八戸)

以上



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-執 M 3 >

1. 出席者確認・本日の進行について

進行：23-24年度 増澤義治専務理事

田名部理事長挨拶 本年度理事会はガバナーと密に意思疎通を図るために12回開催、開催地は前年度に引き続き持ち回りとする。前回の執行理事会で承認を得た八戸ライオンズクラブ 菅原孝明を理事長補佐、事務局長補佐として承認を頂きたい。(承認を得たので今後は、議事録作成を中心に行っていく。)

2. 議事録作成人の指名：事務局長補佐 菅原

3. 参加者ご挨拶

・22-23年度理事長 村木 秀之

日本ライオンズの理事会で全てが決まるのではなく、各複合地区に持ち帰っていただき更に準地区にてお伝えいただく事が日本ライオンズの進むべき道であり、田名部理事長がやられようとしている事である。

4. 本日の議案について：

①LCIF公式訪問について

・増澤専務理事より説明とLCIF理事長公式訪問日程の確認。

9/15札幌、9/18京都

・増澤専務理事より第3回執行理事会において確認事項としていた、福岡、名古屋、東京で行われるAPシン第2副国際会長によるミッション1.5セミナーの件、各複合からの会場への参加予定人数が報告された。

福岡担当地区 335から21名 336、337、未定

名古屋担当地区334、335から120名

東京担当地区 330から333から174名

より多くの方へ参加していただきたい旨の呼びかけがあり。

・前回執行理事会にて戸祭常務理事より発言のあった、ミッション1.5セミナーの名古屋ハイブリッド対応についてはOSEAL調整事務局へ確認した結果開催決定とし、WEB参加者が有るかの確認とアドレスの発信を各複合に行っていくことを確認した。

・増澤専務理事よりファブリシオ第1副国際会長来日希望の件、こちらからの希望としては就任後來日とするが、先方が来たいという場合は対応が必要となるので、LCIからの情報を待ち、今後の執行理事会で話をさせて頂くとの報告がされた。

・須藤理事よりLCIF公式訪問についてパターンのようなものが有るかとの質問があった。

これにつき増澤専務理事より説明、こちらから依頼をする場合は就任後とし、国際会長、LCIF理事長は基本的に公式訪問している。今回のセミナーによる来日は公式訪問にカウントしないものと認識している。

②スペシャルオリックス日本 長野・北海道での開催について



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-執 M 3 >

- ・増澤専務理事より説明、今回はLCIFよりSO予算（30万ドル）が当てられており、その中から日本開催分の経費は賄えるため、昨年の広島のように各クラブから5,000円の協力金のお願いの様なことはない。但し、大会のボランティアに対する募集について力を入れて頂ければありがたい。加えて、SO選手と近隣クラブとの交流に協力頂きたい旨話が来ていると報告があった。

③マニラ・フォーラムについて

- ・増澤専務理事より登録人数について説明、8月31日時点の数字しか出ていない。目標数（2190名）に向けてご協力いただきたい。フォーラム委員長・マイケルソーPIDからの依頼として韓国の数字だけは抜きたいとの事、各複合にてご協力をお願いしたい旨説明があった。
- ・田名部理事長より国際大会委員会の報告、現在登録数600名と聞いているがそれでも1500程足りない。公式のツアーが決定していないなど各複合にて作業的な部分が遅れている印象、各会員の判断が鈍るので急ぐ必要がある。今回のオセアルフォーラムは、来年の札幌大会を控えていることから登録にご協力をお願いしたい旨報告があった。
- ・増澤専務理事より登録料の払い方について報告があった。現金での支払いを求められたが、税関の問題や、支払い履歴を担保する観点から振り込みとしたいため口座を作ってくださいようお願いするつもりである旨の説明があった。

④MD 3 3 0 から提出された文書について

- ・増澤専務理事より説明、要請事項が5つあり、要望事項1・2・3の3つに関しては回答を求められており、4・5については後日でよいと記載されている。これらを理事会において明確な回答を出せる状況はないと思っている。会費については規約で金額や納入についてきちんと決められているが、年次大会にて一応は採決されていることからもう一度MD330で代議員総会を開き当該採決を無かったことにして納入して頂く方向にして頂かなくてはいけないが、2,3についてはライオン誌についてである。これについては各顧問、社労士、過去お勤めの方の話を聞き資料を作成中である。これについては一同にそろった状態で話さなければ火種となる為、留意することが必要。ライオン誌検討委員会にて各人がしっかりと統一見解として複合地区にて通せるようにしなければならない。
- ・田名部理事長より説明、要請事項1についてこの内容の通りとは思っていない。仕組みとして年12回理事会を開催し、ガバナーと議長の対話の時間を持っていて、本理事会の決定事項をもってガバナーに押し付けるという事をやっていないという仕組みを理解してもらおう事で誤解は解けるはずである。
要請事項2,3については、社団規約が各複合、地区の規約とずれがあることが判明したことから、ライオン誌検討委員会をオールスターでしっかりと開催してこの問題を解決していく事で信用を得ることが必要である。MD330にはこの仕組みを説明する必要



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-執 M 3 >

がある。又、ライオン誌の会計を別にすべきと要望があるが、そうではなく社団の内のライオン誌について全ての予算、経費等をしっかりと示すことで理解を得る事ができるものと思っている。要請事項 4 についても、現役国際理事に協力を頂き国際理事会で確認をいただき、統一見解を待つことが良いかと思えます。要請事項 5 については執行部にて取りまとめ理事会を経てお示し出来ることと思っている。要請事項 1 も同様である。このやり方でよいかの承認を本理事会で承認を得たい旨諮り承認を得た。

- ・栗村常務理事より発言あり、理事会の二回に一回は検討委員会の報告があってはどうかか。
- ・増澤専務理事より説明、二回目の検討委員会の計画をしているが、ライオン誌側の人数が少なかったため同数にするよう努め、公平性や透明性を担保したい。半期で解決していきたい。
- ・戸祭常務理事より発言、委員をもう決めていかなければならないのでは
- ・田名部理事長より検討委員案説明、今般の件にはいくつかのターニングポイントがあるが、社団側は当時の社団から藤川専務理事など、現理事長含め6名程、ライオン誌委員長、編集長または長く携わっていた方などで社団と同数になるよう調整してはどうか。また、現国際理事3名も重要である。これで承認を得たい旨諮り、承認を得た。
- ・村木理事より検討委員会について発言、2億2千万の件は識名理事長が再任時にライオン誌として一般会計に上がったと記憶しているので、藤川専務理事とのお二方にお聞きするのがよろしいのかと思う。加えて、330からなぜこのような文書が出たのかも含め今後精査すれば出てくるかと思うので、ご迷惑をお掛けしますがよろしく願います。
- ・中谷常務理事から発言、社団がライオン誌のお金を使っている旨の話が上がってしまっているためしっかりとエビデンスを示すべき。
- ・増澤専務理事より説明、その件については2015年から8年間の経費を精査している。様々な間接経費を入れると2億以上の経費が出ている模様である。その辺を丁寧に一覧で示せるようにしていく。
- ・田名部理事長より発言、エビデンスを示そうとも話は並行するとみている。その際に、折衷案を準備して丁寧に対応すべき。検討委員会が全てではなく、議長の皆さんが全てですので議長、ガバナーの皆さんが理解し総会で決議頂けば本年度に形ができるのでその為の資料を作成していく。
- ・須藤理事より発言、80円はライオン誌への一般会員からの思いであることに留意しなければ並行線のままであろう。そのためには、理事長の言うとおりに明々白々とすべき。
- ・栗村常務理事より質問、2015年以前のライオン誌会計は発行したうえで剰余金が出ていたという認識でよいか。加えて、2016年以降の会計の流れを丁寧に説明すべき。
- ・増澤専務理事より回答、当時の会計を8複合連絡協議会で開示を求めたが、当時の顧問弁護士に拒否された経緯がある事を説明され、当時は6ドルの援助金が入っていた為剰



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-執 M 3 >

余金が出ていた旨回答する。その援助金は下がってきたため現在はマイナスになっている旨を説明した。

⑤ライオン誌委員会について

・田名部理事長より現状説明

ライオン誌委員会には 3 人の長（編集長 委員長 日本ライオンズ PR マーケティング委員長）があり、編集長は編集の責任者なので問題ないが、ライオン誌委員長・PR マーケティング委員長については 2 重構造となっており、去年トラブルになった原因である。他の委員会は前議長（委員長）、現議長（副委員長）で統一されているが、ライオン誌委員会のみ委員にとどまっている。今季は日本ライオンズ PR マーケティング委員長と一本化する予定であったが、第一回ライオン誌委員会において多数決と根回しでライオン誌委員長を決めてしまい、結果として今期も 2 重構造になってしまった。

社団のルールには違反しており許したくはないが、ライオン誌委員会の本来の目的である編集についての会議時間が短くなってしまうため、会議内では苦言は呈したがあえて強硬には反対していない。編集においては独立性を保つことは結構な事だが、組織上の独立性では無い。ライオン誌検討委員会の中で、正していく予定である。

・増澤専務理事より発言、議長の中で統一見解を本理事会で持ったことを確認し、次年度以降その方向性で行くこととなる旨説明した。

・増澤専務理事よりライオン誌取材における交通費支給について、すでに設置されている複合地区委員を活用すれば経費削減となる。交通費支給についてガバナー協議会にてガバナーにご協力いただけるかお話をして頂きたい。

採決は各 DG への説明の後とする。

⑥会則委員会について（学生会員会費）

・増澤専務理事より説明、学生会員 賛助会費の件について会則委員長からの要望について各複合地区により異なっていると思うが日本ライオンズとして方向性を統一しなければならない。80 円の賛助会費を免除するかどうか各議長 地区ガバナーより学生会員はいるのか、現在賛助会費についてどうなっているのかの意見を聞いて頂くようお願いした。

その結果で、次回下関での理事会にて決定していきたい。

⑦一般財団法人日本ライオンズについて

・田名部理事長より、一般財団法人日本ライオンズ 不老理事長より公益化について相



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-執 M 3 >

談があった旨が報告される。現在、公益化への課題として安定した収入の確保があり、相談を頂いている。一部の人間からの巨額の寄付だけでは公益法人化は難しいのではないかと指摘されているようだ。よって、広く浅く集めることもライオンズとして可能ではないかと当局から言われている。

公益化については長い目で見ると、将来的に日本のライオンズにとって日本の LCIF と位置づけ、財団を利用した災害支援やアクティビティを行うなどメリットになる。前向きに考えていく事はいいのではないかと意見があった。

- ・増澤専務理事より国際協会からの認可についての発言、一社・一財について国際協会からの認可について疑問が出ているので確認したが、財団については承認の一文がある。一社については見つけられないので確認してみるとの事。又、不老理事長が出席の際にはご発言を頂く旨説明があった。

一財への協力については、地区ガバナーと話していただく。

⑧国際理事と一社ライオンズとのコミュニケーションについて

- ・田名部理事長より説明があった、今年度から現職国際理事は理事として含めないこととしたが、国際レベルの全般的な議題（国際役員の公式訪問、会則関係、会員増強関係、大会関係など）を知る機会が無くなり世界レベルの情報においての支障が出ている。その負の部分の部分を払拭するアイデアを頂戴したい旨の話があった。
- ・増澤専務理事より説明、国際理事が一社にいないという事の弊害が出てきている。何かあった場合オセアル事務局から各複合には発信があるが、日本ライオンズには一切ない。この様な負の部分がある件について懇談会を開催するなど、皆様から意見を頂戴し改善する方向で発信し、今後の理事会に反映していきたい旨説明があった。
- ・池原副理事長より発言あり、そもそもオセアル調整事務局は社団と国際理事との関係如何によらず情報は下ろすべきである。このように組織的な問題があるようだとの意見。
- ・須藤理事より発言、現職国際理事には組織上何らかの形で関わって頂く必要がある。日本ライオンズとしてお願いをする必要があるのではないかと。今後執行理事会で意見を出していきたいと思う。
- ・栗村常務理事より発言、国際理事は社団との関係如何によらず情報は下ろすべき立場ではないかと意見。
- ・戸祭常務理事より発言、12 回理事会があるのでたまに呼んではどうか。
- ・中谷常務理事から発言、今期ミッション 1.5 についての議論等が社団では全くな



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-執 M 3 >

い件が、皆さんに社団と国際協会の縦の関係について心配させているのではないか。

その後 O S E A L 調整事務局とのコミュニケーションも課題であるという意見が出、どのような情報の流れを作っていくかについて地区ガバナーと話していただいた上フィードバックをいただきたいと呼びかけがあった。

⑨前回からの継続審議事項について

- ・旅費規程の変更について
 - ・増澤専務理事より説明、現在滞っている旅費に関しては28日前の航空券の計算でやる旨を諮り承認を得た。ライオン誌委員会の旅費がプールではなく社団から支払いをしている件や、今後の交通費支給について、地区ガバナーからの意見をフィードバックしてほしい。
- ・コンプライアンス委員会立ち上げについて
 - ・増澤専務理事より説明、理事会内委員会で検討いただく旨を諮り承認を得る。

⑩ L C I F よりハワイ山火事・モロッコ地震支援協力依頼について

- ・増澤専務理事より説明、この件については既にオセアル事務局より発信されている会員一人あたり1,000円を一か月以内にお願ひしたい。文章については複合と各地区に行っているの確認願ひたい。

⑪役員必携発行について

- ・中谷常務理事から報告、配布価格についてこの理事会で決定してほしい旨委員長より指示があったとの報告。単価600円で決定した。

3. 各種報告事項

直近で開催された会議について、各委員長より報告があった。

- ・YCE委員会より、YCE委員の制服について説明があった。ベストを作成することとなった。5,000円で作成出来る旨報告があった。業者未定
- ・アラート委員会より、第一回アラート委員会の報告があった。アラート災害任意規則（案）があるが、案は削除願ひたい。
- ・国際大会委員会より、OSEALフォーラムについて
 - ① 早期登録 (USD130) の締め切り日の延長(日本向け特別待遇)
2023年8月31日 → 9月30日まで
 - ② 登録料と支払方法について
A,8月31日迄の登録数申し込み及び送金 早期登録料金 (US\$130) 適用
1名 18,500円



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-執 M 3 >

B.9 月 1 日~30 日迄の登録申し込み及び送金

早期登録料金 (US\$130) 適用

1 名 19,000 円

最低でも2,000に行くようご尽力いただきたい。

メルボルン大会について

MD公式ツアー 1 社を決めて頂く(議長決定事項)

6 月 2 3 日 7 : 00~代議員朝食会を予定している

4. その他報告事項

次回開催予定会議についての日程確認。現時点では以下の通り。

・次回執行理事会・理事会開催予定

10/3 (火) 第3回執行理事会ハイブリッド

10/11 (水) 第4回理事会 (下関)

11/7 (火) 第4回執行理事会ハイブリッド

11/15 (水) 第5回理事会 (大阪)

以上

2023年9月14日

議事録署名人

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部 智之 【押印省略】

監事 佐々木 忠康 【押印省略】

監事 橋本 勝策 【押印省略】



LCIF 日本リーダーズ会議

2023年9月7日 13:30-17:30

TKP 新橋カンファレンスセンター 13階 ホール 13A

議事次第

司会進行：松岡エリアリーダー

- | | | |
|--------------|------------------------------|-------------|
| 1. 開会の挨拶 | 鈴木理事 | 13:30-13:45 |
| 2. 第一四半期中間報告 | 各 MD コーディネーター
その他リーダーコメント | 13:45-15:15 |

MD コーディネーターは報告に下記を含めてください。

- 各準地区の今期 LCIF 委員会の組織と活動体制
- 複合地区及び地区のセミナー・研修会の予定

— 休憩 (15分) 15:15-15:30

- | | | |
|---|--|-------------|
| 3. 事務局アップデート | | 15:30-16:30 |
| <ul style="list-style-type: none">• LCIF 理事会報告• Mission1.5 への LCIF の支援について• レガシー・ソサエティ寄付について• 活動報告と経費精算について• 2022-2023 年度後期表彰について• 2023-2024 年度表彰について• LCIF 理事長訪問について• その他 | | |

4. 今期目標の進捗確認の方法について 16:30-16:50

5. LCIF 公認スピーカープログラム (案) について 16:50-17:20

6. 閉会の挨拶 鶴鳴エリアリーダー 17:20-17:30

18:00～ 懇親会

「焼肉トラジ」新橋店

〒105-0004 東京都港区新橋 1-15-5 ペルサ 115 11F、12F



2023 - 2024年度
ライオンズクラブ国際財団理事長 ブライアン E. シーハン夫妻
西日本公式訪問式典および晩餐会

日時:2023年9月18日(月・祝)15:00~20:00

場所:リーガロイヤルホテル京都

—— 式 典 ——

司会:LCIF西日本エリアリーダー L. 松岡 勲

(15:00)

LCIF理事長入場 先導:334複合地区ガバナー協議会議長 L. 戸祭 宏樹

開会の挨拶 LCIF理事 L. 鈴木 誓男

両国国歌

歓迎のことば 一般社団法人日本ライオンズ副理事長 L. 池原 堅

来賓挨拶 元国際会長 L. 山田 實紘

LCIF理事長紹介 国際理事 L. 城阪 勝喜

LCIF理事長挨拶並びに講演 LCIF理事長 L. ブライアン E. シーハン

LCIFアワード贈呈

記念品の贈呈 335複合地区ガバナー協議会議長 L. 中谷 豊重

閉会の挨拶 LCIF全日本エリアリーダー L. 丸山 正芳

LCIF理事長退場 先導:336・337複合地区LCIF副エリアリーダー L. 橋本 充好

(17:30)

—— 晩餐会 ——

司会:335複合地区 LCIFコーディネーター L. 針田 一朗

(18:00)

LCIF理事長入場 先導:337複合地区ガバナー協議会議長 L. 新里 正雄

開宴の挨拶 国際理事 L. 城阪 勝喜

乾杯 国際理事 L. 濱野 雅司

お食事・ご歓談

閉宴の挨拶 国際理事 L. 鶴嶋 浩二

LCIF理事長退場 先導:337複合地区LCIFコーディネーター L. 吉村千鶴子

閉会

(20:00)

地区	エリア:AL・SAL・MDC	CC・DG	2023-2024年度実績								会員動向、一人当たり寄付、100ドル寄付参加状況							
			当月合計*	前年同月	前年同月比	今期累計*	前年同期	前年同期比	今期目標	達成率	企業寄付 件数	レガシー・ソサエティ 寄付誓約者数**	当月新会員	当月会員	子会員を除く	一人当たり寄付額	\$100寄付 参加数	\$100寄付 参加率
330-A	東京	阿部 かな子	86,230	80,044	108%	135,307	98,115	138%	440,000	30.8%		1	87	5,336	4,147	32.63	197	4.8%
330-B	神奈川・山梨・東京	石田 真一	170,989	174,381	98%	182,260	239,722	76%	500,000	36.5%		2	80	3,446	3,150	57.86	196	6.2%
330-C	埼玉	田中 雄一	16,711	10,207	164%	26,711	23,705	113%	180,000	14.8%	1	1	36	1,641	1,453	18.38	13	0.9%
MD330計	330MDC 阿久津 隆文	田中 雄一	273,930	264,632	104%	344,277	361,541	95%	1,120,000	30.7%	1	4	203	10,423	8,750	39.35	406	4.6%
331-A	道央	設楽 幸子	67,063	28,059	239%	81,248	48,079	169%	250,000	32.5%		2	57	2,379	2,091	38.86	128	6.1%
331-B	道北・道東	藤原 回向	5,942	1,331	446%	6,244	8,433	74%	150,000	4.2%			42	2,065	1,797	3.47	10	0.6%
331-C	道南	渡部 義男	20,600	16,525	125%	20,600	19,685	105%	120,000	17.2%			48	1,500	1,269	16.23	48	3.8%
MD331計	331MDC 及川 隆人	松浦 淳一	93,605	45,915	204%	108,092	76,197	142%	520,000	20.8%	0	2	147	5,944	5,157	20.96	186	3.6%
332-A	青森	大矢 進	14,241	7,540	189%	18,841	10,360	182%	120,000	15.7%			53	1,978	1,653	11.40	19	1.1%
332-B	岩手	高橋 寛	8,000	3,061	261%	11,020	8,061	137%	90,000	12.2%			60	1,830	1,217	9.06	8	0.7%
332-C	宮城	渡邊 俊弥	25,448	14,079	181%	26,016	22,079	118%	90,000	28.9%			39	1,542	1,188	21.90	37	3.1%
332-D	福島	門馬 弘	32,874	23,061	143%	62,881	49,967	126%	120,000	52.4%	1	1	76	2,192	1,744	36.06	55	3.2%
332-E	山形	西村 公夫	9,111	4,000	228%	22,161	21,000	106%	90,000	24.6%			47	1,652	1,397	15.86	14	1.0%
332-F	秋田	石垣 勝康	5,000	11,000	45%	6,000	14,000	43%	70,000	8.6%			20	1,251	952	6.30	3	0.3%
MD332計	332MDC 佐野 宏美	栗村 安弘	94,674	62,742	151%	146,920	125,488	117%	580,000	25.3%	1	1	295	10,445	8,151	18.02	136	1.7%
333-A	新潟	鈴木 壽男	7,100	4,600	154%	18,100	14,529	125%	220,000	8.2%			44	2,695	2,470	7.33	14	0.6%
333-B	栃木	後藤 一男	16,295	6,173	264%	17,298	10,493	165%	130,000	13.3%			15	1,427	1,037	16.68	17	1.6%
333-C	千葉	北野 淳子	46,134	39,743	116%	62,418	66,791	93%	250,000	25.0%			72	2,699	2,354	26.52	81	3.4%
333-D	群馬	福田 勝巳	12,550	6,699	187%	14,700	8,799	167%	150,000	9.8%			31	1,773	1,394	10.55	30	2.2%
333-E	茨城	齊藤 正行	17,502	161,700	11%	20,202	203,298	10%	500,000	4.0%		3	89	3,993	2,910	6.94	50	1.7%
MD333計	333MDC 中嶋 正昭	星野 勝美	99,581	218,915	45%	132,719	303,911	44%	1,250,000	10.6%	0	3	251	12,587	10,165	13.06	192	1.9%
MD330・333計	330・333 SAL 石原 英司		373,510	483,547	77%	476,996	665,452	72%	2,370,000	20.1%	1	7	454	23,010	18,915	25.22	598	3.2%
MD331・332計	331・332 SAL 谷岡 憲行		188,279	108,657	173%	255,012	201,685	126%	1,100,000	23.2%	1	3	442	16,389	13,308	19.16	322	2.4%
東日本計	東日本AL 鶴嶋 浩二		561,790	592,205	95%	732,009	867,137	84%	3,470,000	21.1%	2	10	896	39,399	32,223	22.72	920	2.9%
334-A	愛知	木野村 好己	71,724	43,911	163%	85,568	110,531	77%	1,100,000	7.8%		2	152	5,150	3,694	23.16	52	1.4%
334-B	岐阜・三重	川嶋 富士雄	82,549	38,718	213%	111,573	109,177	102%	340,000	32.8%		1	73	3,542	2,617	42.63	194	7.4%
334-C	静岡	前田 磨	24,000	8,600	279%	67,070	48,182	139%	300,000	22.4%			69	2,841	2,568	26.12	50	1.9%
334-D	富山・石川・福井	小出 進	83,100	32,885	253%	100,200	140,810	71%	400,000	25.1%		1	104	4,528	3,336	30.04	62	1.9%
334-E	長野	喜多 友一	21,709	10,773	202%	26,039	21,773	120%	260,000	10.0%			48	2,245	1,656	15.72	110	6.6%
MD334計	334MDC 遠藤 紀夫	戸祭 宏樹	283,082	134,886	210%	390,451	430,472	91%	2,400,000	16.3%	0	4	446	18,306	13,871	28.15	468	3.4%
335-A	兵庫東(神戸)	山中 健	19,581	9,514	206%	31,979	26,330	121%	200,000	16.0%			38	1,671	1,585	20.18	57	3.6%
335-B	大阪・和歌山	西尾 良典	88,785	21,083	421%	91,467	61,290	149%	900,000	10.2%	2		126	6,427	4,889	18.71	298	6.1%
335-C	滋賀・京都・奈良	山本 忍	51,643	43,700	118%	111,846	118,401	94%	550,000	20.3%		2	120	3,574	3,283	34.07	329	10.0%
335-D	兵庫西(姫路)	廣田 晃一	68,667	33,386	206%	106,929	68,795	155%	200,000	53.5%	37		30	1,575	1,414	75.62	107	7.6%
MD335計	335MDC 針田 一朗	中谷 豊彦	228,676	107,683	212%	342,221	274,816	125%	1,850,000	18.5%	39	2	314	13,247	11,171	30.63	791	7.1%
336-A	徳島・高知・香川・愛媛	山崎 勝彦	60,635	24,409	248%	94,735	62,921	151%	400,000	23.7%		2	116	5,038	4,327	21.89	206	4.8%
336-B	岡山・鳥取	藤井 信英	22,350	3,000	745%	39,251	11,600	338%	200,000	19.6%			54	2,385	2,193	17.90	71	3.2%
336-C	広島	三口 巖	45,531	16,841	270%	170,707	110,266	155%	250,000	68.3%			78	2,847	2,536	67.31	173	6.8%
336-D	山口・島根	山崎 もとみ	15,038	3,330	452%	18,038	4,380	412%	200,000	9.0%			57	2,625	2,524	7.15	14	0.6%
MD336計	336MDC 高岡 英治	澤 辰水	143,555	47,580	302%	322,730	189,168	171%	1,050,000	30.7%	0	2	305	12,895	11,580	27.87	464	4.0%
337-A	福岡・長崎	中村 巧	96,010	15,669	613%	112,510	55,669	202%	500,000	22.5%	1	2	86	4,556	3,735	30.12	56	1.5%
337-B	大分・宮崎	下堂園 一将	7,740	10,718	72%	18,847	31,392	60%	200,000	9.4%			47	2,157	1,906	9.89	14	0.7%
337-C	佐賀・長崎	古賀 義行	9,793	6,573	149%	13,000	26,568	49%	230,000	5.7%			50	3,017	2,189	5.94	9	0.4%
337-D	鹿児島・沖縄	新里 正雄	22,210	35,840	62%	26,310	42,580	62%	200,000	13.2%		1	61	2,168	1,879	14.00	21	1.1%
337-E	熊本	伊藤 竜彦	8,100	2,009	403%	13,100	12,009	109%	150,000	8.7%			32	1,673	1,443	9.08	10	0.7%
MD337計	337MDC 吉村 千鶴子	新里 正雄	143,853	70,810	203%	183,768	168,218	109%	1,280,000	14.4%	1	3	276	13,571	11,152	16.48	110	1.0%
MD334・335計	334・335 SAL 夏 有民		511,758	242,569	211%	732,672	705,288	104%	4,250,000	17.2%	39	6	760	31,553	25,042	29.26	1,259	5.0%
MD336・337計	336・337 SAL 橋本 充好		287,408	118,390	243%	506,498	357,386	142%	2,330,000	21.7%	1	5	581	26,466	22,732	22.28	574	2.5%
西日本計	西日本AL 松岡 勲		799,166	360,959	221%	1,239,170	1,062,674	117%	6,580,000	18.8%	40	11	1,341	58,019	47,774	25.94	1,833	3.8%
全日本合計	全日本AL 丸山 正芳		1,360,956	953,164	143%	1,971,179	1,929,811	102%	10,050,000	19.6%	42	21	2,237	97,418	79,997	24.64	2,753	3.4%

*レガシー・ソサエティ寄付(遺贈寄付) 誓約の生前贈与寄付1万ドルを実行された寄付者の寄付も含まれます。

**レガシー・ソサエティ寄付を誓約された寄付者数です。誓約を実行された寄付の件数とは異なります。

期首会員数	12,781	(*を除き期首からの累計)		達成率	
期末目標会員数	13,020	9月末会員数*	12,884	会員数	99%
期末目標入会者数	1,385	9月末入会者数	376	入会者数	27%
期末目標クラブ結成数	4	9月末クラブ結成数	0	クラブ数	0%
期末目標支部結成数	30	9月末支部結成数	1	支部数	3%
期末予想退会者数	1,140	9月末退会者数	273	/	
期末予測解散クラブ数	2	9月末解散クラブ数	1		
期末予測解散支部数	0	9月末解散支部数	0		

目標達成 並びに 退会者・解散の防止のため行っている対策を具体的に書いてください。

【336-A】

各単一クラブが、年度末に純増1名を達成できるようにガバナーチーム、GATチームがRC・ZCと情報共有し会議を開催している。

又、会員の種別を活用して入会及び退会防止に努めています。

【336-B】

会員増強の為に退会防止に力を入れています。その為には会員同士の交流が不可欠と考え、今期はニューメンバースクール岡山2回、鳥取2回の計4回開催し終了後には懇親会を開催します。

すでに2回開催しましたが懇親会の参加者も6割以上の方が参加してくださり好評でありました。

また来年早々にライオンズ交流会も開催を予定しています。あと6月での退会者をできるだけ防ぐため全リジョンに訪問し退会防止のお願いに参りたいとも思っています。

【336-C】

地区内全クラブ（79クラブ）GMA目標を定めRC・ZCに地区ガバナー諮問委員会で取組み及び進捗状況を確認させ目標達成に向けて取り組んでいる。また、現在地区内では4つのクラブ支部結成に向けて進んでいることを把握しており、地区GATガバナーチームでサポートしている。

退会者・解散の防止と会員満足度向上に向けて、地区委員会が中心となり新たなアクティビティ“PEACE STOCK 78’HIROSHIMA”にて、地区内賛同クラブ合同アクティビティとして6つの奉仕活動を地区内44クラブ・約300名の参加予定で開催に向けて取り組んでいる。

【336-D】

1. 公式訪問に同行し、各クラブへ支部結成のお願いをした。
2. 支部結成の手引書の作成、HPにUPLした。
3. 11/19 GLTと合同で支部結成を含む会員増強の研修会を予定。
4. 退会防止に向けて各クラブへの会員満足度調査の依頼予定。

★MD336.GMTコーディネーター 池原 堅 見解:前年度より会員増強、退会防止に関しては各準地区ガバナー中心で各GATコーディネーターが一体化し全体で対応出来る仕組みを作りを推進中です。

336複合地区 会員拡大報告書 (2023年9月末現在)

336複合地区GMA世話人 真鍋 隆

(単位：人)

会員数 ※6月末計	A地区	B地区	C地区	D地区	336複合地区
2015-2016年度	6,105	3,392	3,442	3,391	16,330
2016-2017年度	6,171	3,143	3,376	3,200	15,890
2017-2018年度	6,013	3,069	3,340	3,042	15,464
2018-2019年度	5,793	2,921	3,212	2,918	14,844
2019-2020年度	5,518	2,775	3,069	2,820	14,182
2020-2021年度	5,414	2,630	3,003	2,753	13,800
2021-2022年度	5,177	2,461	2,858	2,629	13,125
2022-2023年度	5,028	2,360	2,787	2,606	12,781
2023-2024年度					
前年度期首比	-149	-101	-71	-23	-344

四半期会員増強計画 期間：2023年7月1日～2024年6月30日

(単位：人)

	A地区 山崎 勝彦		B地区 藤井 信英		C地区 三口 巖		D地区 山崎 もとみ		336複合地区 合計	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
7月～9月	150	135	70	76	90	93	80	72	390	376
退会见込み者数	100	128	50	47	50	38	50	60	250	273
10月～12月	150		60		80		70		360	0
退会见込み者数	100		50		70		50		270	0
1月～3月	150		50		80		60		340	0
退会见込み者数	100		50		70		50		270	0
4月～6月	105		50		80		60		295	0
退会见込み者数	120		70		90		70		350	0
会員増強計画 計	555	135	230	76	330	93	270	72	1,385	376
退会见込み者数 計	420	128	220	47	280	38	220	60	1,140	273
会員純増目標 合計		135		10		50		50		245

会員拡大計画に対する方法

A地区ガバナー 山崎 勝彦	各単一クラブが、年度末に純増1名を達成できるようにガバナーチーム、GATチームがRC・ZCと情報共有し会議を開催している。又、会員の種別を活用して入会及び退会防止に努めています。
B地区ガバナー 藤井 信英	会員増強の為に退会防止に力を入れています。その為には会員同士の交流が不可欠と考え、今期はニューメンバースクール岡山2回、鳥取2回の計4回開催し終了後は懇親会を開催します。すでに2回開催しましたが懇親会の参加者も6割以上の方が参加してください好評でありました。また来年早々にライオンズ交流会も開催を予定しています。あと6月での退会者をできるだけ防ぐため全リジョンに訪問し退会防止のお願いに参りたいとも思っています。
C地区ガバナー 三口 巖	地区内全クラブ(79クラブ)GMA目標を定めRC・ZCに地区ガバナー諮問委員会で取組み及び進捗状況を確認させ目標達成に向けて取り組んでいる。また、現在地区内では4つのクラブ支部結成に向けて進んでいることを把握しており、地区GATガバナーチームでサポートしている。退会者・解散の防止と会員満足度向上に向けて、地区委員会が中心となり新たなアクティビティ"PEACE STOCK 78'HIROSHIMA"にて、地区内賛同クラブ合同アクティビティとして6つの奉仕活動を地区内44クラブ・約300名の参加予定で開催に向けて取り組んでいる。
D地区ガバナー 山崎 もとみ	1. 公式訪問に同行し、各クラブへ支部結成のお願いをした。 2. 支部結成の手引書の作成、HPにUPした。 3. 11/19 GLTと合同で支部結成を含む会員増強の研修会を予定。 4. 退会防止に向けて各クラブへの会員満足度調査の依頼予定。
336複合地区 GMA世話人 真鍋 隆	各ガバナーの目標を達成する為に支部作りや女性会員増強にチャレンジして下さい。又、退会防止には「会員種別」を活用し、ガバナー・地区役員・地区委員・クラブ会長・クラブ会員委員長が責任をもって、クラブの為に会員増強・維持に真剣に取り組んで下さい。

日本ライオンズクラブ クラブ数・会員数

2023年9月末現在 国際本部集計

* 増減及び入退会等は期首からの累計

	クラブ数	新結成	解散	クラブ数増減	会員数	入会者数	退会者数	会員数増減 (%)	男性会員数	女性会員数	女性の割合	家族会員(子会員)	子会員の割合	男性子会員数	女性子会員数	子会員を除く会員数
330-A	187	1	0	1	5,364	169	143	26 (0.49%)	3,855	1,509	28.1%	1,191	22.2%	388	803	4,173
330-B	141	0	0	0	3,451	103	39	64 (1.89%)	2,886	565	16.4%	297	8.6%	89	208	3,154
330-C	66	0	0	0	1,652	55	21	34 (2.10%)	1,368	284	17.2%	194	11.7%	72	122	1,458
330MD	394	1	0	1	10,467	327	203	124 (1.20%)	8,109	2,358	22.5%	1,682	16.1%	549	1,133	8,785
331-A	71	0	0	0	2,379	71	48	23 (0.98%)	1,948	430	18.1%	290	12.2%	62	228	2,089
331-B	72	0	0	0	2,056	44	28	16 (0.78%)	1,696	360	17.5%	266	12.9%	40	226	1,790
331-C	43	0	0	0	1,502	56	20	36 (2.46%)	1,213	289	19.2%	234	15.6%	62	172	1,268
331MD	186	0	0	0	5,937	171	96	75 (1.28%)	4,857	1,079	18.2%	790	13.3%	164	626	5,147
332-A	62	0	0	0	1,975	56	33	23 (1.18%)	1,506	469	23.7%	325	16.5%	70	255	1,650
332-B	49	0	0	0	1,842	83	42	41 (2.28%)	1,220	622	33.8%	610	33.1%	109	501	1,232
332-C	55	0	0	0	1,544	51	22	29 (1.91%)	1,108	436	28.2%	351	22.7%	76	275	1,193
332-D	66	0	0	0	2,187	84	44	40 (1.86%)	1,661	526	24.1%	446	20.4%	99	347	1,741
332-E	50	0	0	0	1,659	60	16	44 (2.72%)	1,313	346	20.9%	255	15.4%	45	210	1,404
332-F	45	0	0	0	1,251	22	10	12 (0.97%)	894	357	28.5%	298	23.8%	56	242	953
332MD	327	0	0	0	10,458	356	167	189 (1.84%)	7,702	2,756	26.4%	2,285	21.8%	455	1,830	8,173
333-A	69	0	0	0	2,697	56	41	15 (0.56%)	2,276	421	15.6%	225	8.3%	71	154	2,472
333-B	46	0	0	0	1,425	18	23	-5 (-0.35%)	940	485	34.0%	390	27.4%	104	286	1,035
333-C	105	0	0	0	2,699	86	38	48 (1.81%)	2,090	609	22.6%	346	12.8%	123	223	2,353
333-D	48	0	0	0	1,785	54	31	23 (1.31%)	1,337	448	25.1%	379	21.2%	86	293	1,406
333-E	80	0	0	0	3,992	101	62	39 (0.99%)	2,892	1,100	27.6%	1,081	27.1%	335	746	2,911
333MD	348	0	0	0	12,598	315	195	120 (0.96%)	9,535	3,063	24.3%	2,421	19.2%	719	1,702	10,177
334-A	105	0	0	0	5,162	189	57	132 (2.62%)	3,586	1,576	30.5%	1,459	28.3%	294	1,165	3,703
334-B	71	0	0	0	3,551	93	30	63 (1.81%)	2,669	882	24.8%	925	26.0%	213	712	2,626
334-C	71	0	0	0	2,842	83	29	54 (1.94%)	2,474	368	12.9%	271	9.5%	48	223	2,571
334-D	91	0	0	0	4,523	115	47	68 (1.53%)	3,250	1,273	28.1%	1,190	26.3%	199	991	3,333
334-E	47	0	0	0	2,247	63	26	37 (1.67%)	1,584	663	29.5%	589	26.2%	131	458	1,658
334MD	385	0	0	0	18,325	543	189	354 (1.97%)	13,563	4,762	26.0%	4,434	24.2%	885	3,549	13,891
335-A	68	1	0	1	1,702	87	21	66 (4.03%)	1,364	338	19.9%	86	5.1%	20	66	1,616
335-B	147	0	2	-2	6,439	194	113	81 (1.27%)	4,543	1,895	29.4%	1,535	23.8%	335	1,200	4,904
335-C	101	1	0	1	3,609	170	74	96 (2.73%)	2,991	617	17.1%	290	8.0%	62	228	3,319
335-D	54	0	0	0	1,577	37	14	23 (1.48%)	1,297	279	17.7%	161	10.2%	39	122	1,416
335MD	370	2	2	0	13,327	488	222	266 (2.04%)	10,195	3,129	23.5%	2,072	15.5%	456	1,616	11,255
336-A	135	0	0	0	5,035	135	128	7 (0.14%)	3,890	1,144	22.7%	711	14.1%	146	565	4,324
336-B	82	0	1	-1	2,389	76	47	29 (1.23%)	2,016	373	15.6%	193	8.1%	39	154	2,196
336-C	79	0	0	0	2,842	93	38	55 (1.97%)	2,336	506	17.8%	310	10.9%	54	256	2,532
336-D	84	0	0	0	2,618	72	60	12 (0.46%)	2,306	311	11.9%	101	3.9%	12	89	2,517
336MD	380	0	1	-1	12,884	376	273	103 (0.81%)	10,548	2,334	18.1%	1,315	10.2%	251	1,064	11,569
337-A	113	0	0	0	4,554	115	69	46 (1.02%)	3,314	1,236	27.1%	817	17.9%	153	664	3,737
337-B	60	0	0	0	2,154	52	37	15 (0.70%)	1,755	399	18.5%	250	11.6%	40	210	1,904
337-C	73	0	0	0	3,025	69	48	21 (0.70%)	2,150	875	28.9%	826	27.3%	232	594	2,199
337-D	69	0	0	0	2,168	68	30	38 (1.78%)	1,720	448	20.7%	290	13.4%	61	229	1,878
337-E	52	0	0	0	1,678	46	23	23 (1.39%)	1,363	314	18.7%	233	13.9%	72	161	1,445
337MD	367	0	0	0	13,579	350	207	143 (1.06%)	10,302	3,272	24.1%	2,416	17.8%	558	1,858	11,163
総計	2,757	3	3	0	97,575	2,926	1,552	1,374 (1.43%)	74,811	22,753	23.3%	17,415	17.8%	4,037	13,378	80,160

2023-24年度 第1回全日本SCP・FWT会議議事録

報告日：2023年10月3日

会議名	2023-2024年度 全日本ライオンズ 第1回SCP・FWTコーディネーター会議		
開催日時	2023年9月26日(火) 13:00~14:30		
会場	ZOOM オンライン		
出席者	GAT エリアリーダー		L 小川 晶子
	SPC・FWT 顧問		L 高橋 かず子
	複合地区 SPC・FWT コーディネーター		複合地区 SPC・FWT 副コーディネーター
	330	L 鳥居 眞弓	330 L 浅井 洋一郎
331	L 熊谷 敬子	331 L 小野内 雅子【欠席】	
332	L 太田 美紀【欠席】	332 L 佐藤 有里恵【欠席】	
333	L 伊藤 和子	333 L 古渡 孝枝	
334	L 弓矢 直美	334 L 村木 峰子	
335	L 畑山 裕子	334 L 両澤 雅子【欠席】	
336	L 鶴飼 恵美	335 L 鯖江 敏子	
337	L 古賀 京子	337 L 天願 和美【欠席】	
作成者	MD336 L 鶴飼 恵美		
司会進行	L 村木 峰子 (MD334SCP・FWT 副コーディネーター・GAT セクレタリー)		
会議概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. GAT エリアリーダーご挨拶 3. 委員自己紹介 4. 議事録作成者 5. エリアリーダーからの報告及び協議事項 <ol style="list-style-type: none"> ① 国際協会からの諮問事項&ミッション 1.5 について ② FWT 委員会の立ち位置 ③ 各地区から現況と計画 ④ 質問 ⑤ その他(報告事項・確認事項) 6. 次回開催日の確認 7. 閉会 		

議事録署名人：

336複合地区会員増強報告<2023-2024年度>

地区	目標	開始数字	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	増減	女性比率
336-A	総会員純増 135名	5,028	19	-9	-3										7	学生3 22.74%
	女性会員数 60名	1,164	-5	-13	-1										-19	
	女性会員目標 25.0%	23.22%	22.96%	22.75%	22.74%										-0.48%	
	支部結成目標 9支部	11	0	0	0										0	
	家族会員数 0名	737	-9	-18	0										-27	
	新クラブ結成目標 1クラブ	135	0	0	0										0	
336-B	総会員数純増 10名	2,354	30	9	4										43	学生6 15.69%
	女性会員数 0名	371	-2	3	4										5	
	女性会員目標 %	15.76%	15.48%	15.55%	15.69%										-0.07%	
	支部結成目標 3支部	14	0	0	0										0	
	家族会員数 0名	193	-1	0	-1										-2	
	新クラブ結成目標 1クラブ	83	0	0	0										0	
336-C	総会員数純増 50名	2,787	33	27	-5										55	学生3 17.73%
	女性会員数 65名	502	1	3	-3										1	
	女性会員目標 20.0%	17.87%	17.83%	17.77%	17.73%										-0.14%	
	支部結成目標 11支部	17	0	1	0										1	
	家族会員数 7名	309	2	0	-1										1	
	新クラブ結成目標 1クラブ	79	0	0	0										0	
336-D	総会員数純増 30名	2,606	24	19	12										55	12.08%
	女性会員数 5名	322	0	0	0										0	
	女性会員目標 %	12.28%	12.24%	12.16%	12.08%										-0.20%	
	支部結成目標 5支部	7	0	0	0										0	
	家族会員数 0名	101	0	0	0										0	
	新クラブ結成目標 1クラブ	84	0	0	0										0	



一般社団法人日本ライオンズ
〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階
Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp
日本ライオンズ発行<2023-24-会-M2>

(2023-2024 年度)

第2回会則委員会 (WEB) 議事要録

◎日 時： 2023年9月21日(木) 10:00-12:00

◎システム： ZOOMシステム

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ：

理事長 田名部 智之 (八戸 LC)
委員長 (MD333 前協議会議長)
松本 宰史 (南房総 LC)
副委員長 (MD335 協議会議長)
中谷 豊重 (岸和田 LC)
専務理事
増澤 義治(諏訪湖 LC)

各複合地区会則委員長：

330 複合地区会則委員長
細川 孝雄 (東京赤坂 LC)
331 複合地区会則委員長
馬場 哲也 (函館東 LC)
332 複合地区会則委員長
荒川 友成 (郡山西 LC)
333 複合地区会則委員長
岩沼 忠伺 (千葉ネオ LC)
334 複合地区会則委員長
野村 善弘 (岡崎竜城 LC)
335 複合地区会則委員長
小林 寛 (姫路中央 LC)
336 複合地区会則委員長
松岡 諒 (福山久松 LC)
337 複合地区会則委員長
高野 正勝 (佐賀葉がくれ LC)



一般社団法人日本ライオンズ
〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階
Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp
日本ライオンズ発行<2023-24-会-M2>

① 開会宣言

松本会則委員長より開会の宣言。

② 一般社団法人日本ライオンズ理事長ご挨拶

田名部理事長よりご挨拶。

③ 出席者確認

④ 議事録作成人の指名

・MD332 荒川委員長・MD336 松岡委員長が指名された。

主要議案：

1. 前回議事録の確認

松本委員長より前回議事録の確認事項について説明。

松本委員長から、今期の当委員会の活動について、役員必携発行後、コンプライアンス委員会の件、ポケット版必携の改訂の件が主要な議題となる旨説明。

2. 2023-24年度 『役員必携』発行について

・主な改定箇所について

松本委員長より、主な改正箇所の説明があった。主な改正箇所は次のとおり。

(1) 国際本部、太平洋アジア課、OSEAL調整事務局についての記載を第1編に集約した。

(2) 初の有色人種会員である黒川直也氏（ホノルルLC）について追記した。

(3) GAT、GMAの説明を追記した。

(4) 割引会員について追記し、これに伴い、学生会員とレオライオンのプログラムについても追記した（レオライオンの記述はレオライオン育成の観点からも必要と判断）。

(5) OSEAL調整事務局による会計ウェビナーの研修資料とクラブ会計予算書・決算書の見本を掲載（予算書決算書の見本は数年前まで掲載されていた



一般社団法人日本ライオンズ
〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階
Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp
日本ライオンズ発行<2023-24-会-M2>

が、現在は削除されていた。初心者のために役立つため、再掲載した。)

・発行スケジュールについて

松本委員長より、来週には三校が出校され、9月30日と10月1日に委員長が最終確認を行い、印刷に回すこと、10月中には印刷を終え、10月末には各地区へ発送する予定であることを説明。

・頒布単価・発行予定部数について

田名部理事長から、頒布単価は600円とすることが理事会で決定されたことが報告された。

なお、増澤専務理事より、凸版印刷の見積もりでは総額約300万円となっているが、送料が50万円程度になる見通しであるため、総額350万円程度と予想されると補足。

現在、合計で1万0281冊の予約があることを確認。

次のとおり、質疑応答があった。

MD333 岩沼委員委員長 MD335 小林委員長

：配布時期は期が変わる前にすべきである。今期も4月に再度、発行する方向で考えて欲しい。

→松本委員長：今後の課題とする。

MD330 細川委員長：単価600円で発行が約1万部だとすれば、見積もりが約300万円なので利益が約300万円になるが、この利益はどのように処理されるのか。

→松本委員長：一般会計に入る。社団の運営費に充てられる。近年、社団の運営費は年間300万円程度の赤字になっているので、この赤字を補填できる。

MD330 細川委員長：社団の会計について疑問があり、330複合地区は賛助金の支払



一般社団法人日本ライオンズ
〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階
Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp
日本ライオンズ発行<2023-24-会-M2>

いを保留している。同複合地区から質問状を送付しているが、回答はどうか。

→田名部理事長：質問状に対し、回答することを理事会で決議した。早ければ、今月中に回答が送付されると思われる。

3. 協議および確認事項

- ・ボストン理事会及び国際大会決議事項要約について
要約を確認した。

松本委員長より、次の点について補足説明があった。

- (1) 会則及び付則委員会では、第二副地区ガバナーの選任問題についての審議が多かった。
- (2) 財務委員会に関連し、役員必携に国際本部やLCIFの決算報告を掲載しているが、掲載不要なのではないかという意見があった。しかし、和訳は役員必携にしか載っていないため、引き続き、掲載する。
- (3) マーケティング委員会は、以前はマーケティング・コミュニケーション委員会と呼ばれていたが、変更されている。
- (4) テクノロジー委員会の関連で、現在のMy LionがLion Portalに変更されることになっている。クラブの報告方法も変わるため、次回の役員必携にはこの点を反映させる必要が出てくるはずである。

- ・コンプライアンス委員会の立ち上げについて

田名部理事長より、会員による誹謗中傷、トラブル、会則解釈の混乱などに対応するため、理事会内委員会としてコンプライアンス委員会を設置する話を前年度より引き継いでいる。会則委員会でルールやガイドラインを今年度中に決めて欲しいとの説明があった。

松本委員長より、罰則が無い中で、禁忌事項とされている怪文書配布などの問題が実



一般社団法人日本ライオンズ
〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階
Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp
日本ライオンズ発行<2023-24-会-M2>

際が起こっており、大きな問題となっていること、会員間のトラブルについて裁判で争うことも禁止されており、あくまで話し合いで解決されるべきこと、これらを三役研修会で徹底されるべきこと、コンプライアンス委員会については年明けに議論していきたいことなどが補足で説明された。

次のとおり、質疑応答、意見があった。

MD333 岩沼委員長：コンプライアンス委員会設置は地区内の問題のためなのか、日本Lの問題のためなのか。原因があるから結果があると見ている。日本Lに対する批判に蓋をするためなのであれば、設置に反対する。

→松本委員長：原因を直視して改めるべきところは改める。少数意見も大事である。

MD336 松岡委員長：コンプライアンス委員会と既存の紛争処理手続きやステータスクオとの関係性が分からない。コンプライアンス委員会の役割は何か。

→松本委員長：既存の紛争処理手続きに乗せても解決できないという問題がある。既存の制度の補足的な役割（注意や勧告を出すなど）を担う。実効性担保については、八複合連名で国際理事会に紛争処理を促すなどを想定している。基本的には、話し合いで紛争を解決したい。

MD333 岩沼委員長：3 3 3 複合地区内で現にトラブルが発生しているが、対応は不可能と思われる。

→田名部理事長：コンプライアンス委員会是对処療法的なものではないし、臭いものに蓋をする趣旨でもない。日本Lに対する不満や問題提起については、今期、丁寧に対応していく。ライオンズクラブは、単年で役員任期が終わるため、連続性を持たせるために今期中にガイドラインを作成したい。罰則を持ってネガティブに対応するのではなく、複合の各委員長連名で正しい方向に導くようなポジテ



一般社団法人日本ライオンズ
〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階
Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp
日本ライオンズ発行<2023-24-会-M2>

イブな対応を考えている。

MD335 小林委員長：紛争は正義と正義の戦いであり、コンプライアンス委員会がそこに入っていくのは反発を招き、危険である。近年はインテリジェンスという側面がガタガタになっていると感じている。意味の無い委員会が多すぎる。

4. その他

松本委員長より、2人目以降の家族会員も正会員であるとこれまで説明してきたが、今後は割引会員に分類されること、割引会員は代議員数算出のための分母には入らないが、代議員として投票したり、地区役員に就任できることなど、注意が必要である旨説明があった。

荒川委員から、役員必携は来期の三役にも渡したいので、来年4月に増刷して発行して欲しいと要望があり、この要望と前記した岩沼委員と小林委員の発刊時期についての意見を踏まえ、松本委員長が来年の4月にも追加注文を受けると回答した。

・次回開催予定について

第3回会則委員会 10/19(木) 10:00-12:00

⑤ 閉会挨拶

中谷副委員長より閉会の挨拶。

2023年9月21日

議事録作成人

MD332 会則委員会委員長 荒川 友成

MD336 会則委員会委員長 松岡 諒

議事録署名人

一般社団法人日本ライオンズ 会則委員会委員長 松本 宰史

2023～2024 年度
第 1 回 336 複合地区会則および付則・運営マニュアル編集委員会

議 事 録

開催日時：2023 年 9 月 26 日（火）15：00～17：00

開催場所：336 複合地区ガバナー協議会事務局

開催形式：REAL

出席者：次のとおり（敬称略）

役 職	氏 名
ガバナー協議会議長	澤 辰水
世話人	岡村 聖爾
委員長	松岡 諒
副委員長	一宮 昭夫
336-A 地区委員長	徳本 秀樹
336-B 地区委員長	西尾 慎一
336-C 地区委員長	鈴木 健吾
336-D 地区委員長	堀江 成

司会進行：松岡委員長

議事

第 1 開会挨拶（議長）

第 2 自己紹介

第 3 議題

1 ライオンズクラブ国際協会商標権侵害事案発生 の 件

西尾 336B 地区委員長より、昨年度より、336B 地区内の衣類販売店がライオンズクラブの紋章を無断で看板に掲げているという事案を把握したこと、今年初めには OSEAL 事務局法務部から警告を発するという話になっていたこと、最近になって同部が対処を未だに行っていないことが発覚したこと、今後、同部が速やかに警告を発すると回答していることが報告された。

OSEAL 事務局の対応が遅いようであれば、336 複合地区で警告を発することを承認。

2 一般財団法人日本ライオンズ業務の件

松岡委員長より、複合事務局が一般財団法人日本ライオンズの業務を行うことがあるが、これについて、複合事務局が同財団の業務を行うことは複合の業務範囲を超えているとの指摘があることを報告。

岡村世話人から、本来であれば、複合大会で承認を得るべきであるし、そのように働きかけているが特に動きが無いと報告。

当委員会としては、当委員会がこの問題を扱うこと自体が筋違いであるものの、来期に同様の問題を起こさないため、同財団の業務を扱うのであれば今期のガバナー協議会で審理して承認を得るか、扱わないのであれば扱わないことを同協議会で確認した方が良いのではないかと澤議長に進言した。

3 336 複合地区各規約の件

松岡委員長から、今期、各規約について改定すべき点があれば改定したいため、次回の委員会以降、意見をいただきたい旨お願いがあった。現時点で、次の点について意見があった。

(1) 旅費規程

ア 日本ライオンズ関連の旅費との関係について条文を整理すべき。

イ 前回のガバナー協議会で複合関連については宿泊費は支出しないと決めた。今後、距離や会議終了時間などの基準で宿泊費を支出する場合としない場合を決めるというのはどうか。

(2) 緊急援助資金規定

援助の発案者である地区ガバナーや緊急援助資金委員会の委員の多数と連絡がつかないなどの事態に対処するため、協議会議長に上限を設けた援助実施についての裁量権を与えてはどうか。

(3) 委員会運営内規

「委員」の旅費をガバナー協議会が負担するとされているが、当該委員には準地区の役員は含まれておらず複合の委員のことを指していることを明確にすべき。

(4) 事務局運営委員会規定

「委員会」は監査委員による監査を受けるとされているが、実態は協議会議長と運営委員長が監査を受ける形になっているため、監査を受ける対象を実態に則するような規定にするか、他の委員も会計に参加して委員会として監査を受けるように実態を改めるかすべき。

(5) 事務局就業規則、給与規則

ア 澤議長によれば日本ライオンズから、各複合地区で事務局の守秘義務についての規定を設けるべきという指摘を受けたとのこと（守秘義務については、懲戒事由の一つとして守秘義務違反が挙げられているため、別途の規定は不要なのではないかとの指摘もあり。）。

イ 現在、松岡事務局運営委員会委員長が、残業代や役職手当を中心に見直しを行っており、これを受けて当委員会でも検討を行いたい。事務局員にとって不利益変更とならないよう注視すべき。

4 336 複合地区運営マニュアル第 21 版作成の件

(1) 今期も、冊子の形式で発行することとし、発行部数は 1000 部、販売価格は 1000 円とすることを承認。

(2) 次回のガバナー協議会に委員長が予算案を提案することを確認。

(3) スケジュールとしては来年 3 月中の発行を目指して、1 月までに内容を確定させ、2 月に印刷に入ることを確認。

(4) 次のとおり、役割分担して、内容を修正する。

①クラブについて ～11章 鈴木 336C 委員長

- 1 2 章～ 堀江 336D 委員長
②地区について 徳本 336A 委員長
③複合地区について 一宮副委員長
④国際協会関係について 西尾 336B 委員長
⑤全体 岡村世話人 松岡委員長

第 4 閉会挨拶（世話人）

○次回以降の委員会日程

第 2 回 11 月 22 日（水）午後 1 時～

第 3 回 12 月 18 日（月）午後 1 時～

議事録作成者 松岡 諒



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-A-M1 訂 9.13>

(2023-24 一般社団法人日本ライオンズ)

第1回アラート委員会 議事要録 9.13 訂正版

2023年8月25日(金) 14:00-16:30 ZOOM システム

出席者リスト

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	田名部 智之	(八戸 LC)
専務理事	増澤 義治	(諏訪湖 LC)
アラート委員会委員長	池原 堅	(福山久松 LC)
アラート委員会副委員長	新里 正雄	(沖縄 LC)

日本ライオンズ アラートチーム

全日本統括リーダー	佐々木 健太	(吹田江坂 LC)
東日本統括リーダー	木村 知紀	(青森 ZERO LC)
同 西日本統括リーダー	藤井 信英	(岡山みらい LC)

アラート委員

MD330 委員	増田 正明	(東京田無 LC)
MD331 委員	浅野 敬一	(北見中央 LC)
MD332 委員	木川田 明弘	(仙台高砂 LC)
MD333 委員	中田 泰範	(新潟東 LC)
MD334 委員	堀岡 昭夫	(金沢東 LC)
MD335 委員	堀口 清隆	(神戸みなと LC)
MD336 委員	西尾 慎一	(鳥取 LC)
MD337 委員	高野 裕子	(熊本平成 LC) 【欠席】

委員長補佐・MD333 アラート班長

若林 純也	(水戸葵 LC)
-------	----------

MD332 アラート副委員長

山下 里美	(山形アルカディア LC)
-------	---------------

MD334 アラート委員会班長

吉田 正義	(榛南 LC)
-------	---------

334-A 地区アラート・環境保全委員長

出崎 浩貴	(尾張旭 LC) 【欠席】
-------	---------------

334-B 地区アラート委員長

森 英昭	(四日市サウス LC)
------	-------------

334-C キャビネット会計兼アラート委員長

内田 聡	(三島 LC)
------	---------

33_4-E 地区会則・管理・アラート委員長

檀原 保雄	(佐久 LC)
-------	---------



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2-4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-A-M1 訂 9.13>

① アラート委員会の基本方針と準地区・複合地区・エリア地区との再確認について

・アラート委員会運営規則についての説明

池原委員長

「一般社団法人日本ライオンズ・アラート委員会/緊急アラート災害支援運営規則（案）」の第 10 条、第 11 条、第 12 条、第 13 条、第 14 条に役員任命の条項があり、既に第 10 条で委員長は私が任命されていますが、その他の役員は社団の理事長が任命するとありますが前年も含めて理事長のお考えをお願いします。

佐々木全日本統括リーダー

委嘱状は社団理事長名でも良いが、この 2 年間の議論で委員長名で出した方が迅速で良いのでは、前期の山川委員長と決めていました。

池原委員長

この機会に、規約を見直したほうが良い。

田名部理事長

現行の規則で、選任ですが、見直したほうが良ければ、皆さんと池原委員長と検討ください。

佐々木全日本統括リーダー

「一般社団法人日本ライオンズ・アラート委員会/緊急アラート災害支援運営規則（案）」の（案）を取った形で進めた方が良い。

田名部理事長

（案）ではなく、正式規則として保管してほしい。

増澤専務理事

（案）を取った規則を理事会に出すので、1 度精査してほしい。

池原委員長

規則も今期でしっかり見直したい。今期、国際大会が 7 月に遅く開催された関係上、引き継ぎが遅かったので、今期は前期の規則をそのまま進めたい。改定は来期に見送りたい。

田名部理事長

特に問題なければ、委員長に賛成。

木村東日本統括リーダー



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-A-M1 訂 9.13>

この規則は素晴らしいが、実際の運用に適しているかは、疑問である。来週広島で委員長はじめ正副統括リーダーと協議して、改正案を作りたい。

藤井西日本統括リーダー

来週、広島でじっくり話し合いしたい

MD 3 3 1 浅野委員

MD 3 3 1 では、この規則に則り役員を選任が行われている。

MD 3 3 2 木川田委員

委員長が変わる時に、規則を変えるのではなく、問題が出たときに変更したほうがよい。

MD 3 3 3 中田委員

一昨年以前は、3 3 3 MD ではアラート委員会はなかった。

アラートとして、自分のたつ位置が良くわからない。アラート委員会の行動規範があれば良い。

MD 3 3 4 堀岡委員

班長は複合の議長推薦、委員長の指名でよいのでは。

MD 3 3 6 西尾委員

初めてアラート委員に就任しましたが、この規則については アドバイザーは現在誰なのか、又 全日本統括リーダーの記述がない。

池原委員長

規則については、各自じっくり読んでいただいて、赤字の部分も含めてより良い規則に改定したい。

委員長補佐・MD333 若林アラート班長

班長は日本ライオンズ指名の意見もありましたが、MD によっては議長の反対もあり、5年間の経緯もあり、各正副統括リーダーの意見を聞いて頂き、委員長にお任せしたい。

MD332 山下アラート副委員長

この規則は、改定してきており、この規則通りにできれば、良いと思う。私は MD の木川田委員長より指名頂いて、この任についている。日本ライオンズの池原委員長より任命がくるのか、よくわかりません。正副統括リーダーで打ち合わせをしっかりとお願いしたい。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-A-M1 訂 9.13>

MD 3 3 2 木川田委員

秋田の災害の件で、栗村議長とも話したが、木村東日本統括リーダーが、複合の構成員ではない。これは、前期委員長の引継ぎ（申し送り）がうまくいってない。

MD 3 3 5 堀口委員

3年ぶりに委員長になったが、組織が変わったので、ビックリしている。班長・副班長ができています。しかしながら、この運営規則をじっくり読んで、理解できました。

木村東日本統括リーダーが、複合の構成員ではない件も含めて、池原委員長と正副統括リーダーで交通整理をして欲しい。

佐々木全日本統括リーダー

全日本統括リーダー 東日本 西日本統括リーダーは今期の委員長指名で、今期の人事は、前委員長指名ではない。木川田委員にその事情を理解して欲しい。

複合内で議事録も含めて、勉強してほしい。

池原委員長

議題①については、もう一度運営規則をお送りして、個々で見直して頂き、それを纏めた形で早急に実施したいので、皆様のご意見を書いて送って頂きたい。

池原委員長

② 23 24 年度 役員改選・エリア地区見直しの必要性について

③ アラート委員会の基本方針と準地区・複合地区・エリア地区との再確認について
議題②③は、今までの話で、出てきておりますので、割愛させていただきます。

④各地区災害備蓄倉庫の実態の状況について

池原委員長

備蓄倉庫の実態について私自身も把握しておりません。佐々木Lいかがでしょうか。

佐々木全日本統括リーダー

備蓄庫に置かれましては日本ライオンズでは把握しておりません。

各複合地区にて備蓄庫の有無を取りまとめしていただき報告をいただきたい。

木村東日本統括リーダー

332D福島に、ストックヤード構想がある。県のほうに2.3か所の予定

東北も北と南に分かれて各1か所程度ストックヤードを持つべき。

集まった物資の中で余剰分をストックして次の災害に役立てるため必要。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-A-M1 訂 9.13>

池原委員長

この件につきましては後日、詳細等について調査票等を送ります。

⑤委員会・全体会議スケジュールについて再確認

池原委員長

今後のアラート会議の日程ですがこのままでよいのか、間にもう1回ほど開催したほうがいいのか。

佐々木全日本統括リーダー

1回目から5回目からは委員会。全体会議はまず東西で別れてやらないと発言の機会が少なくなる。日本レベルで開催すると人数が多すぎる。また別に班長会議を東西で行う複合地区ごとのアラート会議を行う。東西のリーダーが各会議の計画を立てる。

田名部理事長

私のほうからは委員会に対しての要望やアドバイスは特にありませんが、規約や、ルールの整備を早くできるように委員長を先頭として委員会として動きやすい形ができればいいのではないのでしょうか。

木村東日本統括リーダー

一般社団法人と国際協会側の距離感を感じる。東西のリーダーが各複合地区に出向いて行って、情報を伝えるに行く役割がリーダーだと思っている。複合地区にアラート委員会の大切さを理解してもらう。MDの委員長に東西のリーダーを使っていたきたい。

増澤専務理事

各委員の皆さんがいろんな地区に行って堂々と活動できるように委嘱状等が必要であればすみやかに出しますので、各委員長におかれましても複合の中で東西のリーダーが誰か周知していただきたい。

⑥日本ライオンズ主催アラートフォーラムについて

藤井西日本統括リーダー

1点確認ですが一般社団法人アラートフォーラムとして物事を進めていってよろしいのか。
(皆さん了承)

9月13日にMD336のアラート委員会の中に特別実行委員会を立ち上げる。

9月の末から10月の頭に大枠を決めたものをスムーズに各複合地区に案内が出せるように進めていきます。令和6年2月24日(土)13時30分から約3時間程度行う。場所は岡山旧市民会館にて参加者は500名ほど予定している。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-A-M1 訂 9.13>

その他 なし

総括

池原委員長

今回のアラート委員会につきましては今の運営規約を各担当に送りますので改善点があれば提案をお願いします。

またアラート資金のことですが、各地区にて緊急支援金の積み立てがあると思います。

次の委員会までに各地区にて、いくら支援金があるのか確認をしてもらいたい。

30 年以内に南海トラフ地震が発生する確率が高いため、そこに向けての貯蓄と対策を講じていかないと大変なことになる。今日を機会に一人一人のご意見をしっかりとくみ上げて、総意のもとに物事を進められるアラート委員会にして行きたいと思います。

閉会の挨拶

佐々木全日本統括リーダー

池原委員長の素晴らしいリーダーシップのもと、1 回目でこんなに充実した委員会ができたのも田名部理事長、池原委員長のおかげだと思っております。社団の性質上、どうしても社員総会が 8 月ぐらいになり、1 回目の委員会が遅れるとそれが委嘱状の問題等があるということなのですが、5 年前に発足したこの委員会よりも確実に進んでいると思います。

330A・B・C 各準地区の中の C 地区にアラート委員会がないという現状を聞いておりますのでぜひガバナーと相談していただき C 地区にもアラート委員会を置いていただいで複合のアラート委員会を開催していただきたい。

本日はお疲れ様でした。

以上

議事録作成人

MD330 委員

MD331 委員

増田 正明

浅野 敬一



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-M-A2>

第2回アラート委員会 議事要録

日時・場所 2023年9月25日(月) 14:00~16:30 ZOOM システム

司会 統括リーダー 佐々木健太

出席者リスト

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	田名部 智之	(八戸 LC) 【欠席】
専務理事	増澤 義治	(諏訪湖 LC)

アラート委員会委員長	池原 堅	(福山久松 LC)
アラート委員会副委員長	新里 正雄	(沖縄 LC)

日本ライオンズ アラートチーム

統括リーダー	佐々木 健太	(大阪若獅子 LC)
東日本統括リーダー	木村 知紀	(青森 ZERO LC)
西日本統括リーダー	藤井 信英	(岡山みらい LC)

アラート委員

MD330 委員	増田 正明	(東京田無 LC)
MD331 委員	浅野 敬一	(北見中央 LC)
MD332 委員	木川田 明弘	(仙台高砂 LC)
MD333 委員	中田 泰範	(新潟東 LC)
MD334 委員	堀岡 昭夫	(金沢東 LC)
MD335 委員	堀口 清隆	(神戸みなと LC)
MD336 委員	西尾 慎一	(鳥取 LC)
MD337 委員	高野 裕子	(熊本平成 LC)

委員長補佐・MD333 アラート班長

若林 純也 (水戸葵 LC) 【欠席】

MD332 アラート副委員長

山下 里美 (山形アルカディア LC) 【欠席】

◇開会宣言

池原委員長



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-M-A2>

これより第2回アラート委員会を開会する。本日の議案は第1回会議での議案に更にプラスして皆さんよりご意見を頂戴する。皆さんのご協力をお願いしたい。

◇出席者の確認

別表の通り出席者リストの確認をした。

◇議事録作成人

MD333 中田委員

◇前回議事録の確認

佐々木統括リーダー

メールで配布済み・・・全員確認された。

【議案】

① アラート委員会組織図及び運営規則改定状況について

池原委員長

現在の組織図、昨年のアラート委員会では承認済みであるが、社団の社員総会にはかかっていない。次の社員総会に向け、全日本、東、西、統括リーダーより新組織図、新规定の作成をして頂き、皆さんにメールで配信した。

現行で行くか、新规定で行くかそれぞれの意見を述べて欲しい。

MD330 増田委員

MD330も第1回のアラート委員会開催の予定である。どう組織を作っていくか、単年度の目標と将来的な目標を考えている。全日本も将来的にどのように考えているのか聞かせて欲しい。

池原委員長

今回の新提案書も将来を考えての提案。ベストかベストでないのか、このままとは考えていない。アラートの有り方が変化するに付け、我々の委員会も変化しなければならない。

MD333 中田委員

今回の新しい提案名は簡潔で良い。規定の基本は日本アラートが必要とされる時に限りなく複合、準地区を支える・・・この精神に感銘した。

10月10日MDアラート委員会及びセミナーを開催予定である。

その際今回の組織図、目的、規定を準地区に伝え新たなアラートの有り方を示したい。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-M-A2>

MD334 堀岡委員

新しい提案、簡素で素晴らしい。災害時、先に動くのは現地のクラブ、社協との連携であり、全日本、複合が先に動くとは混乱がおきる。その為にも日本ライオンズは啓蒙が大事である。この新提案はその点、評価できる。

MD335 堀口委員

この新しい組織図、早くできて欲しい。これを以て10月複合の委員会において参考にして臨める。

MD336 西尾委員

私も提案通りだと思う。無駄な部分を排除した大変良い提案である。

佐々木全日本統括リーダー

今回の新提案は、木村東日本統括リーダー、藤井西日本統括リーダー、そして私を含め、委員長の了解、確認を頂きながらまとめ上げ、ここ3~4年の問題点と議論、変化を見つめながら、新しい発想のもと作成してきた。

池原委員長

ストレートで分かり易い組織を目指すことを提案した。運営規則もこれに準じて行けるのではないかと思う。

新里副委員長

新提案、これで問題ないと思う。

池原委員長

これをもって社員総会にかけたい。

藤井西日本統括リーダー

組織図には副班長は載っていない。この扱いをどのように考えればよいか。否の場合、副班長としての自覚が薄れるのでは・・・。

佐々木全日本統括リーダー

副班長は複合、準地区の委員会には必ず入れて欲しい。新組織図には載っていないが入れるべきであれば、入れたい。35名の副班長を入れると会議運営上、厳しい面もある。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-M-A2>

池原委員長

副班長を組織に入れるべきであれば、入れなければならない。意見を聞きながら考えた。この件については次の委員会迄、宿題として持ち帰り検討して頂きたい。

佐々木統括リーダー

組織図からは、アラート委員会はMD委員まで、班長、副班長は全体会議でのポジションになる。

藤井西日本統括リーダー

全体会議用の組織図も作ったらよいのでは。

木村東日本統括リーダー

副班長の役目は重要である。組織に入れるか否かは慎重に審議して欲しい。

佐々木統括リーダー

必要であれば組織に表記したい。

池原委員長

この4年間必要性があったか、あれば入れる。無ければ外す。その辺の意見を聞いて行きたい。

MD335 堀口委員

今回の組織図は大変シンプルで良い。副班長を入れた全体会議の組織図を作れば良い。

佐々木統括リーダー

今日頂いた意見を参考に委員長と相談の上、次期会議まで組織図を含め再提案したい。

木村東日本統括リーダー

日本アラートの着地は複合、準地区への完全バックアップであり、各地区のエキスパートを育てて行くことだと思う。

- ② 各地区災害用備蓄の実態報告について
- ③ 地区緊急積立金状況について



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-M-A2>

池原委員長

議案②③は一括で進めたい

アラートにもとづき、各地区アンケートを取って頂きたい。

MD333 中田委員

複合において備蓄はなく、災害積立金 1970 万円。

MD334 堀岡委員

10月3日に複合のアラート委員会がある。今日の資料をもって報告したい。

MD335 堀口委員

来月の複合の会議にこの資料を提出し把握する。

MD336 西尾委員

災害積立金は複合で 1000 万円、A 地区 2800 万円、B 地区 1300 万円、C 地区 1000 万円、D 地区 1100 万円

備蓄品は複合では無い。準地区では有る所と無い所がある。これからは必要かと思う。

④ 一社) 日本ライオンズの委嘱状について

増澤専務理事

委嘱状の発行はアラート委員会に関する全員が対象なのか・・・？班長、副班長はガバナリーが指名しており社団の指名ではない為、判断できない・・・。社団で指名しているのは問題ない。原則指名先が出すことになっており、社団では委員長、副委員長までである。

この先は次の執行理事会に諮りたい。

池原委員長

全日本、東西統括までしてほしい。

⑤ 今後の会議開催スケジュールについて

佐々木全日本統括リーダー

次回第3回アラート委員会は11月13日であるが、2月に予定の岡山フォーラムの視察を兼ね、岡山で開催。現地集合と ZOOM 方式を考えている。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-M-A2>

下期のスケジュールは11月末までにメール報告する。

池原委員長

意見を聞きながらベストな会議を設営したい。

MD336 西尾委員

10月4日MD336の関係者を集め2月予定のアラートフォームの概要をまとめ、アラート委員会に報告したい。

佐々木統括リーダー

フォーラムの件につき要望、意見があれば統括リーダーに連絡してほしい。

⑥ その他

MD335 堀口委員

35地区のガバナーにはアラートに関する件にバラツキがある。次からのガバナー予定者にはアラート問題を啓蒙し、方向性を伝えて欲しい。

池原委員長

同感である。各年度のガバナーにアラートの必要性を伝える仕組みを作って行きたい。

佐々木統括リーダー

各クラブ、会員が災害支援しやすい様、地区ガバナーがアラート委員会の思いを取り入れ、受け皿を構築する事が大事である。東西でアラート委員のセミナーを検討している。内容は5年間の歩み、役職の動き、被災地での初動体制、どのような動きが必要か等である。

閉会挨拶

新里副委員長

私もアラート委員会の出席は初めてであるがL木村はじめ各統括リーダーが作成された提案資料を拝見し、大変感心したところである。

これからも努力していきたいので宜しくお願いしたい。

2023年10月3日

議事録作成人 MD333アラート委員長

中田 泰範

2023～2024 年度

MD336 第 2 回環境保全・保健福祉・献血・献眼・視聴覚委員会(WEB) 議事要録
開催日時：2023 年 11 月 6 日 (月) 13:00～14:00

出 欠

336 複合地区ガバナー協議会議長	澤 辰水	欠
336 複合地区ガバナー協議会幹事 (C 地区ガバナー)	三口 巖	○
336 複合地区環境保全・保健福祉・献血・献眼・視聴覚委員会担当ガバナー		
336 複合地区環境保全・保健福祉・献血・献眼・視聴覚委員会委員長	田中 秀幸	○
336 複合地区環境保全・保健福祉・献血・献眼・視聴覚委員会副委員長	保久 早苗	○
336-A 地区環境保全・保健福祉・献血・献眼・視聴覚委員会委員長	井出 幸彦	欠
336-B 地区環境保全・保健福祉・献血・献眼・視聴覚委員会委員長	池田 康利	○
336-C 地区環境保全・保健福祉・献血・献眼・視聴覚委員会委員長	小笠原 博	○
336-D 地区環境保全・保健福祉・献血・献眼・視聴覚委員会委員長	高島 俊司	欠

司会進行：委員長 田中 秀幸

議事録作成：336-B 地区環境保全・保健福祉・献血・献眼・視聴覚委員会委員長 池田 康利

1. 担当ガバナー挨拶

2. 議 題

- ① 7 月から 9 月までのライオンズクラブが関わる献血者数の報告 各地区委員長
- ② 7 月から現在までの献血活動報告 各地区委員長
- ③ 献血活動で新たな戦略や献血者様が協力しやすい場所等の報告 参加者全員
- ④ 献眼活動についての研修会

講 師：336 複合地区環境保全・保健福祉・献血・献眼・視聴覚委員会
副委員長 保久 早苗

3. 質疑応答

4. その他

5. 閉会挨拶 委員長 田中 秀幸

【議事要録】

献血実績は前期と比較してどの地区も軒並み減っている。

会社ごとに献血するイベントで献血などの呼びかけをする地区もあり今後も色々な取り組みを考えて行きたい。

赤十字社から講師を招き諮問委員会などでの講習を開催してはとの話もありました。

献眼等についての理解を深める為、献眼についての講習会などを開いていきたい。

ドナーバンクへの基金の獲得の取り組みを各地区で取り組んで行きたい

議事録署名人 MD336 環境保全・保健福祉・献血・献眼・視聴覚委員会
委員長 田中 秀幸



ライオンズクラブ献血推進・協力実績【令和4年と令和5年の7月～9月比較】

	鳥取県			島根県			岡山県			広島県			山口県			徳島県			香川県			愛媛県			高知県			合計		
	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減
受付者数	209人	115人	-94人	1,244人	1,233人	-11人	1,526人	1,379人	-147人	1,795人	1,040人	-755人	1,774人	1,205人	-569人	1,052人	1,327人	275人	2,381人	2,379人	-2人	2,335人	2,407人	72人	1,354人	1,267人	-87人	13,670人	12,352人	-1,318人
献血者数①	179人	103人	-76人	1,142人	1,104人	-38人	1,341人	1,181人	-160人	1,561人	898人	-663人	1,601人	1,072人	-529人	933人	1,173人	240人	2,074人	2,100人	26人	2,100人	2,206人	106人	1,254人	1,197人	-57人	12,185人	11,034人	-1,151人
協力日数(稼働数)②*	3.5	2.5	-1.0	21.5	23.3	1.8	23.9	21.4	-2.5	28.5	15.0	-13.5	27.0	17.0	-10.0	19.9	22.9	3.0	33.0	31.0	-2.0	36.2	37.0	0.8	27.5	28.5	1.0	221.0	198.6	-22.4
1日当たりの献血者数 (①/②)	51.1人	41.2人	-9.9人	53.1人	47.4人	-5.7人	56.1人	55.2人	-9人	54.8人	59.9人	5.1人	59.3人	63.1人	3.8人	46.9人	51.2人	4.3人	62.8人	67.7人	4.9人	58人	59.6人	1.6人	45.6人	42.0人	-3.6人	55.1人	55.6人	.4人
参加協力クラブ数(実数)	5団体	4団体	-1団体	15団体	15団体	0団体	22団体	21団体	-1団体	24団体	17団体	-7団体	20団体	19団体	-1団体	14団体	15団体	1団体	22団体	23団体	1団体	21団体	22団体	1団体	15団体	15団体	0団体	158団体	151団体	-7団体

※協力日数(稼働数)について:終日の会場は1稼働、半日の会場は0.5稼働など、会場での受付時間に応じて稼働数が変わります。

	鳥取県			島根県			岡山県			広島県			山口県			徳島県			香川県			愛媛県			高知県			合計		
	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減
対象期間における 各県総献血者数	5,647人	5,539人	-108人	5,303人	5,195人	-108人	18,776人	19,127人	351人	29,408人	28,639人	-769人	12,286人	11,472人	-814人	6,627人	6,307人	-320人	9,241人	9,142人	-99人	12,986人	13,179人	193人	6,989人	6,999人	10人	107,263人	105,599人	-1,664人
中四国内総献血者数に占める ライオンズクラブ献血者数の割合	3.2%	1.9%	-1.3%	21.5%	21.3%	-0.3%	7.1%	6.2%	-1.0%	5.3%	3.1%	-2.2%	13.0%	9.3%	-3.7%	14.1%	18.6%	4.5%	22.4%	23.0%	0.5%	16.2%	16.7%	0.6%	17.9%	17.1%	-0.8%	11.4%	10.4%	-0.9%

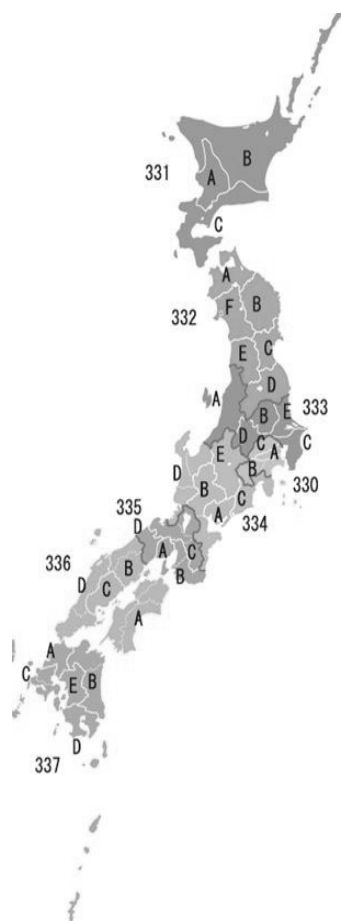
令和4年・令和5年の7月～9月における中四国内各県の献血者数

	鳥取			島根			岡山			広島			山口			徳島			香川			愛媛			高知			合計		
	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減	令和4年	令和5年	増減
7月	1,897	1,789	-108	1,702	1,658	-44	6,146	6,410	264	9,847	9,559	-288	4,237	3,684	-553	2,354	2,090	-264	3,182	2,939	-243	4,260	4,401	141	2,505	2,338	-167	36,130	34,868	-1,262
8月	1,889	1,856	-33	1,803	1,784	-19	6,369	6,521	152	9,767	9,512	-255	4,118	3,788	-330	2,053	2,143	90	3,099	3,140	41	4,132	4,432	300	2,273	2,279	6	35,503	35,455	-48
9月	1,861	1,894	33	1,798	1,753	-45	6,261	6,196	-65	9,794	9,568	-226	3,931	4,000	69	2,220	2,074	-146	2,960	3,063	103	4,594	4,346	-248	2,211	2,382	171	35,630	35,276	-354
計	5,647	5,539	-108	5,303	5,195	-108	18,776	19,127	351	29,408	28,639	-769	12,286	11,472	-814	6,627	6,307	-320	9,241	9,142	-99	12,986	13,179	193	6,989	6,999	10	107,263	105,599	-1,664

※献血者数は、血液製剤の在庫・出庫状況に応じて採血計画を変更することから、増減します。

※令和5年7月及び8月は在庫状況が安定していたことから、採血計画を減数調整していました。

ワークショップ開催数（全国、2018-19～2022-23、2023.7-9）



複合地区	準地区	2018-19	2019-20	2020-21	2021-22	2022-23	2023.7-9
330		2	4	3	3	2	3
331		3	4		2	1	1
332		7	9	3	4	2	5
333		21	21	2	12	11	13
334		23	11	2	7	8	10
335		22	21		7	15	18
336	<i>A</i>	<i>3</i>	<i>2</i>				<i>3</i>
	<i>B</i>		<i>1</i>				
	<i>C</i>	<i>6</i>	<i>6</i>		<i>1</i>	<i>2</i>	<i>3</i>
	<i>D</i>	<i>1</i>	<i>1</i>				
			10	10		1	2
337		20	20	2	5	15	15
合計		108	100	12	41	56	71

(2023年7-9月期は2023年10月現在の実績)

Lions Questライフスキル教育プログラム ワークショップ 開催費見積

- * 以下の開催費は、1回開催あたりの単価で、JIYD (Lions Quest普及事務局) で発生する費用のみが含まれています。これらの他に、開催地の主催者の方で、会場費、参加者昼食代、お茶菓子代、送料、文具代などが、必要に応じて発生します。
- * ワークショップの講師はLions Quest認定講師が務め、JIYDを通じて派遣されます。
- * 教材はワークショップの全課程を修了した参加者 (= 修了者) にも渡されます。2019年7月より新しくなり、電子版として導入されました (対象年齢・学年に応じた全9巻、うち第1巻 (未就学児童向け) は準備中)。
- * 保育園・幼稚園の関係者などの未就学児童向けの教材を希望する方には、2017年7月から導入された従来の「幼稚園版／保育所 (園) 版」(冊子) を配布、使用します。この場合、教材費は6,000円です。
- * 開催当日の事前連絡無し不参加、途中退席 (未修了) の場合は、参加キャンセル料が発生します。
- * 基本編の参加者は25名を想定しています。

項目	【基本編(1日)】			【実践編(1日)】			【基本・実践編(2日間)】			備考
	単価 (単位:円)	数量 (数量)	金額 (単位)	単価 (単位:円)	数量 (数量)	金額 (単位)	単価 (単位:円)	数量 (数量)	金額 (単位)	
【支出】										
講師関係費										
講師謝金	55,555	1 回	55,555	55,555	1 回	55,555	111,111	1 回	111,111	固定／事前準備・事後報告含む
宿泊費	10,000	1 泊	10,000	10,000	1 泊	10,000	10,000	2 泊	20,000	実費清算
交通費	30,000	1 往復	30,000	30,000	1 往復	30,000	30,000	1 往復	30,000	実費清算
食費(昼食代)			-			-			-	
日当	2,500	1 日	2,500	2,500	1 日	2,500	2,500	2 日	5,000	固定(宿泊無しの場合は2,000円/日)
講師関係費 計			98,055			98,055			166,111	
教材制作費										従量／参加者へ渡す教材セット等
小学生版、思春期版			-			-			-	再受講の場合は、3,000円が発生
幼稚園／保育所(園)版	6,000	部	-			-	6,000	部	-	再受講の場合は、3,000円が発生
電子版(全学年)	7,000	25 部	175,000			-	7,000	25 部	175,000	再受講の場合は、3,000円が発生
ワークショップハンドブック代	300	25 部	7,500			-	300	25 部	7,500	
教材制作費 計			182,500			-			182,500	
講師派遣調整・開催準備人件費	75,000	1 回	75,000	75,000	1 回	75,000	87,000	1 回	87,000	固定／講師派遣、開催事前準備・事後処理の人件費
講師派遣調整・開催準備人件費 計			75,000			75,000			87,000	
その他										
印刷・文具代等	12,000	1 回	12,000	12,000	1 回	12,000	12,000	1 回	12,000	固定／JIYDが用意する資料(教材、プリント、修了証等)、資材(文具等)
送料(資料・資材)	10,000	1 式	10,000	10,000	1 式	10,000	10,000	1 式	10,000	実費／当日に使用する資料・資材の送料
その他 計			22,000			22,000			22,000	
支出 小計			377,555			195,055			457,611	
事務所経費	支出小計	11 %	41,531	支出小計	11 %	21,456	支出小計	11 %	50,337	計算式固定／支出小計の11%
参加キャンセル料	3,000	名		2,000	名		3,000	名		当日不参加、未修了(途中退席)の場合
支出 合計			419,086			216,511			507,948	

336複合地区内ライオンズクエスト・ワークショップ開催実績（2018年7月～2023年9月）

	地区	開催日①	開催日②	都道府県	市区町村	対象	参加者数	主催クラブ	主催教育委員会・学校
1	336-A	2018年7月14日		愛媛県	四国中央市	緑ヶ丘認定こども園・愛和認定こども園	28	川之江LC	
2	336-C	2018年7月28日	7月29日	広島県	広島市	広島市立三入中学校・他	16	336-C地区3R3Z（可部地区）	
3	336-C	2018年8月6日	8月7日	広島県	福山市	市内私立校（小・中学校、高校）	26	336-C地区1R1Z（福山地区）	
4	336-C	2018年8月7日	8月8日	広島県	廿日市市	廿日市市立佐伯中学校区	24	宮島口LC	
5	336-D	2018年8月9日	8月10日	島根県	松江市	松江市立東出雲中学校	7	東出雲LC	
6	336-C	2018年8月20日	8月21日	広島県	廿日市市	廿日市市立四季が丘中学校区	40	宮島口LC	
7	336-A	2018年8月21日	8月22日	徳島県	鳴門市	市内小・中学校	18	鳴門LC	
8	336-C	2018年12月15日	12月16日	広島県	三原市	市内小・中学校	15	三原LC	
9	336-A	2019年1月26日	2月2日	徳島県	鳴門市	認定子ども園IZUMI	21	鳴門LC	認定子ども園IZUMI
10	336-C	2019年2月9日	2月10日	広島県	竹原市	市内小・中学校	25	竹原LC	
11	336-C	2019年7月27日	7月28日	広島県	広島市	安佐北区内小・中学校	22	北広島千代田LC	
12	336-C	2019年7月29日	7月30日	広島県	福山市	市内私立校（小・中学校、高校）	22	336-C地区1R1Z（福山地区）	近大付属福山校（2019幹事校）
13	336-B	2019年8月2日		岡山県	岡山市	就実中学校・高等学校	16	岡山LC	就実中学校・高等学校
14	336-C	2019年8月7日		広島県	世羅町	町内小・中学校・高校	17	世羅岡山LC	世羅町教育委員会
15	336-C	2019年8月7日	8月8日	広島県	廿日市市	市内小・中学校	25	宮島口LC	廿日市市教育委員会
16	336-C	2019年8月19日	8月20日	広島県	東広島市	東広島市内小・中学校、他	15	東広島あきつLC	東広島市教育委員会
17	336-A	2019年8月20日		徳島県	鳴門市	市内小・中学校・他	20	鳴門LC	
18	336-A	2019年8月22日	8月23日	高知県	土佐市	土佐市教育委員会	22	土佐LC	土佐市教育委員会
19	336-C	2019年8月22日	8月23日	広島県	広島市	広島市立瀬野川中学校	23	広島もみじLC	広島市立瀬野川中学校
20	336-D	2020年2月1日		島根県	出雲市	きんろう保育園	30	出雲LC	社会福祉法人きんろう保育園
21	336-C	2021年7月27日	7月28日	広島県	福山市	市内私立校（小・中学校、高校）	15	336-C地区1R1Z（福山地区）	英数学館（2021幹事校）
22	336-C	2022年7月27日	7月28日	広島県	福山市	市内私立校（小・中学校、高校）	13	336-C地区1R1Z（福山地区）	ぎんがの郷小学校（2022幹事校）
23	336-A	2022年7月28日		高知県	高知市	学校法人高知学園 高知中学高等学校	11	高知LC、高知LCとさみずき支部	学校法人高知学園 高知中学高等学校
24	336-C	2023年7月27日	7月28日	広島県	福山市	市内私立校（小・中学校、高校）	14	336-C地区1R1Z（福山地区）	近大付属福山校（2023幹事校）
25	336-A	2023年7月28日		高知県	高知市	学校法人高知学園 高知中学高等学校	9	高知LC	学校法人高知学園 高知中学高等学校
26	336-A	2023年8月19日		徳島県	鳴門市	市内小・中学校・他	23	鳴門LC	
27	336-A	2023年8月25日		高知県	土佐市	土佐市内小・中学校	13	土佐LC	
28	336-C	2023年9月20日		広島県	福山市	地区内（西部）ライオンズクラブメンバー	20	336-C地区	
29	336-C	2023年9月21日		広島県	広島市	地区内（東部）ライオンズクラブメンバー	17	336-C地区	
参加者数合計							567		

「Lions Questプログラム」ワークショップ(基本編・1日)開催費(対象:ライオンズメンバー)

※ワークショップの講師はLions Quest認定講師が務め、JIYDを通じて派遣されます。

※通常のワークショップでは教材費が含まれますが、ライオンズメンバー向けのためハンドブックを除き含めず、希望者のみの購入とする。

※開催当日の事前連絡無しの不参加、途中退席(未修了)の場合は、参加キャンセル料が発生します。

※参加者25名を想定しています。

項目	単価	数量		金額	備考
	(単位:円)	(数量)	(単位)		
【支出】					
講師関係費					
講師謝金	55,555	1	回	55,555	固定/事前準備・事後報告含む
宿泊費	10,000	1	泊	10,000	実費精算
交通費	30,000	1	往復	30,000	実費精算
日当	2,500	1	日	2,500	固定(宿泊無しの場合は2,000円/日)
講師関係費 計				98,055	
受講料・教材費					従量
幼稚園/保育所(園)版	6,000		部	-	希望者のみ
電子版(全学年)	7,000		部	-	希望者のみ
ワークショップハンドブック代	300	25	部	7,500	参加者25名を想定
受講料・教材費 計				7,500	
講師派遣調整・開催準備人件費	75,000	1	回	75,000	固定/講師派遣、開催事前準備・事後処理の人件費
講師派遣調整・開催準備人件費 計				75,000	
その他					
印刷・文具代等	12,000	1	回	12,000	固定/当日に使用する資料・資材
送料(資料・資材)	10,000	1	式	10,000	実費/当日に使用する資料・資材の送料
その他 計				22,000	
支出 小計				202,555	
事務所経費	支出小計	11	%	22,281	計算式固定/支出小計の11%
参加キャンセル料	3,000		名		当日不参加、未修了(途中退席)の場合
支出 合計				224,836	

MD336 第1回青少年・ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会議事録

2023年10月30日 13:00~14:00 WEB開催

出席者 別紙参照

開会挨拶： 春木委員長の挨拶から始まった。

議事録作成人 沖一雄 副委員長を指名

挨拶 澤 辰水 MD336 複合地区ガバナー協議会議長 有意義な会にしてほしい。

三口 巖 MD336 複合地区担当地区ガバナー

覚せい剤は減少しているが、大麻使用が若年層に増えているので啓発活動が必要。
ライオンズクエストがコロナ禍で中断を余儀なくされている所があるので以前の水準に戻したい。

ライオンズクエストは、LCIF が交付金を交付して青少年健全育成の為に普及を進めているプログラムです。

準地区は5万ドル。複合地区では、15万ドル交付される。

B地区とD地区は交付金の申請をされていない、もったいない。

将来を担う子どもたちの為に、もっと交付金を活用して活動して頂きたい。

議題

① 青少年活動について

春木 扶佐子複合地区委員長より

コロナ禍、時代のニーズの変化により、新たな取り組みをしているクラブが増えている。
キーワードはコロナ禍で疲弊した心を明るく元気にするなど人やコミュニティーとのつながり、思いやる体験、環境保全の大切さ、食の大切さ、子ども食堂等が増えている。

336-A地区 齋藤明子キャビネット幹事

子ども食堂と清掃活動は、地区ガバナーの基本方針である。

子ども食堂の支援、寄付の為にパレードなどが地区内で盛んに行われている。

336-B地区 小沢 恭介委員長

子ども食堂の支援活動は、3年前から活潑に行われている。

フリーマーケット・カラオケ大会で募金活動を行い、食料支援を行っている。

336-C地区 神原 高宏委員長

福山市神辺町では、子ども達の為に地元の歴史教育や小中高生を対象にした音楽祭がコロナ禍明けで実施された。

336-D地区 坂根 良一委員長

子ども食堂の実施。青少年野外コンサートで薬物乱用防止のチラシの配布を行っている。平和国際ポスターの募集。

② 薬物乱用防止について

336-A地区 齋藤 明子キャビネット幹事

薬物乱用防止教育認定講師養成講座 6R7Rで、9/30 69名参加。
大学生も多く受講し小学校に行って薬物乱用防止教室を行っていたが、コロナ禍で活動に消極的になっている。

336-B地区 小沢 恭介委員長

薬物乱用防止教育認定講師養成講座 岡山市で、11/25 B地区全体で開催予定。
岡山県警本部を訪問して薬物乱用の低年齢化対策を進めている。
岡山市内の商店街で薬物乱用防止パレードを予定している。

336-C地区 神原 高宏委員長

薬物乱用防止教育認定講師養成講座 9/23・24に、広島市と福山市で開催。
ゴールド認定講師も多い。地区内では、ほとんどのクラブで受講している。

336-D地区 坂根 良一地区委員長

薬物乱用防止教育認定講師養成講座
10/21 山口県4～7R実施 参加者50名 10/22 島根県 参加者30名
次年度、10/20 島根県 10/21 山口県 薬物乱用防止教室 15教室開催予定

③ ライオンズクエストについて

336-A地区 齋藤 明子キャビネット幹事

教員対象のライオンズクエストワークショップ 高知・徳島の3か所で実施。
ライオンズメンバー対象のセミナー 1回開催
メンバー対象の1日ワークショップを2会場で開催予定。
LCIFの5月の申請は、引き継ぎの時期でもあるので、要注意。
周年の時にライオンズクエスト事業の為に各クラブから寄付金をいただいている。
特別支援金としてプール金が、250万円あるので今後も活潑にワークショップを進めていきたい

336-B地区 小沢 恭介委員長

LCIFの交付金は申請していない。
コロナ禍前に、突発的にワークショップが行われた事がある。
委員長と地区委員が、9/20開催のC地区のメンバー向けワークショップに参加した。
B地区には、ライオンズクエストに精通したメンバーがいない。
ライオンズクエストをやろうと言う機運がない。
地区ガバナーからも、次年度につなげて行こうと言われている。
1からのスタートです。
※ 岡山・鳥取で、会場を抑えて頂ければ、複合地区でサポートさせて頂く旨お伝えしました。

336-C地区 神原 高宏委員長

ライオンズメンバー向けワークショップ 9/20 福山市・9/21 広島市で実施。

参加者に経営者も多く、ライフスキル教育について、理解を深めた。

学校対象のワークショップ 1 R 1 Zで7/27・28日福山市で実施（私立対象）。

コロナ禍前は、廿日市市・広島市・呉市・三原市・東広島市・世羅町・福山市の教育委員会で行われていた。

今後は担当クラブ・ゾーンに働きかけ、次年度の開催に向けた活動を行う。

336-D地区 坂根 良一地区委員長

2020年コロナ禍の中で、ライオンズクラブに入会した。

D地区は、ライオンズクエストは遅れている。

島根・山口では、ライオンズクエストはやっていない。

ライオンズクエストを把握していない。

※ ライオンズメンバー対象のワークショップの実施は島根(大田市)山口(周南市)で、会場の準備があれば複合地区委員会で、サポーターさせていただきます。D地区には、ライオンズクエスト支援基金が、51万1,597円準備されているので地区ガバナーのご判断でLCIFの交付金がなくても実施可能のはずです。

複合地区委員会 副委員長 沖 一雄。

春木 扶佐子複合地区委員長と、三口複合地区担当ガバナーから、薬物乱用防止活動の推進。LCIFの交付金とライオンズクエストについて再度説明があり、LCIFの交付金を申請して夏休みにライオンズクエストワークショップ開催に向けて活動して欲しいとの発言がありました。

春木 扶佐子複合地区委員長から、次回の委員会の実施は、来年2月を予定している。準地区委員会で本日の議題について共有していただき確認・推進して頂きたい

澤 辰水協議会議長の閉会挨拶で、WEB会議は終了しました。

(文責) MD336複合地区 青少年・ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員会
副委員長 沖一雄

議事録署名人：MD336 青少年・ライオンズクエスト・薬物乱用防止委員長 春木扶佐子
承認年月日：2023年10月31日

春木 扶佐子



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-Y-M1>

一般社団法人日本ライオンズ
2023-2024年度 第1回YCE委員会要録

◎日時：2023年8月24日(木)13:30-16:00

◎開催方法：WEB (ZOOM)

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部智之(八戸LC)

専務理事 増澤義治(諏訪湖LC)

委員長 吉村弘吉(和歌山LC)

副委員長 田中雄一(狭山LC)

委員(MD330YCE委員長) ベイリー久美子 (加須LC)

委員(MD331YCE委員長) 鈴木善一 (千歳LC)

委員(MD332YCE副委員長) 洞口勝則 (名取LC)

委員(MD333YCE委員長) 藤川清幸 (前橋中央LC)

委員(MD334YCE委員長) 石本雅之 (鯖江LC)

委員(MD335YCE委員長) 正岡章 (吹田江坂LC)

委員(MD336YCE委員長) 蔵本守雄 (高松源平LC)

委員(MD337YCE委員長) 岡秀昭 (大川LC)

オブザーバー

MD333YCE委員 佐藤久栄 (亀田LC)

MD333YCE委員 大日方健二 (笠懸LC)

MD335 事務局

◎本日の出席者確認及び進行について

- ・ 吉村委員長は開会を宣言し、出席者を確認した。
- ・ 吉村委員長はあいさつをした。

(吉村委員長)

◎議事要録作成人の指名

- ・ 委員(MD330YCE委員長)ベイリー久美子(加須LC)を議事録作成人に指名した。

◎議案

- ・ 基本方針の確認後、『YCE事業の手引き』を準地区の委員長やメンバーに配布するむね申し伝えがあった。
- ・ 共通ユニフォームを現在のジャケットからベストに変更してはどうかという意見があった。
- ・ 確認事項として各MDの担当地区の確認がなされた。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-Y-M1>

- ・幹事旅行会社を各MD 1社に決定し報告することが決まった。
この際、吉村委員長より今後MDの委員会に幹事旅行会社の方もオブザーバーとして出席して頂いてはどうかと提案があった。
- ・次回委員会までに各MDで派遣希望を把握し報告することが決まった。
- ・アプリケーションフォーム等は、各MD間で委員長の責任においてやりとりする旨が決まった。社団では、人数等の概要を把握したいので、その旨を報告することが決まった。
- ・今年の冬の派遣については、従来通りの服装で執り行うことが決まった。
- ・国際協会のWEBページにMD 3 3 3のキャンプを掲載したいとの申し出があった。
- ・MD 3 3 5から、冬のオーストラリアの派遣はなしで夏に再開予定との話があった。
- ・共通フォームを使用してみて改善点を話し合うことが決まった。
- ・MD 3 3 3 藤川委員長よりYCE事業に携わる事務局を対象に座談会的なレクチャーをしてはどうかとの意見があった。賛成多数であったのでプロジェクトチームを作り研修計画を立てることが決まった。
吉村委員長をはじめ、チームリーダーとして委員(MD333YCE委員長)藤川清幸(前橋中央LC)メンバーとして、委員(MD330YCE委員長)ベイリー久美子(加須LC)と委員(MD335YCE委員長)正岡章(吹田江坂LC)が任命された。
- ・ユニフォームについては、ベストの方向で考えることに決まった。
グローリー社とフジマキネクタイ社にデザインと色をプレゼンしていただくことが決定した。

◎次回開催日

- ・10月5日(木)
15:00~17:00委員会
17:00~懇親会

会場は東京で、対面にて行うことが決定した。

議事録作成人

委員 ベイリー久美子 (MD330)

2023～2024 年度

第 1 回 336 複合地区 YCE・国際関係・レオ・平和ポスター委員会 議事要録

開催日時：2023 年 9 月 14 日（木）15：30～17：00

開催形式：REAL

開催場所：336 複合地区ガバナー協議会事務局

岡山市北区厚生町 3-1-15 岡山商工会議所 6F

TEL 086-234-0695

出 欠

※敬称略

ガバナー協議会副議長（B 地区ガバナー） ※オブザーバー	藤井 信英	○
世話人	三島 英揮	欠
委員長	蔵本 守雄	○
副委員長	大和 博見	○
A 地区委員長	馬場 信一	○
B 地区委員長	小銭 和明	○
C 地区委員長	鈴木 啓介	○
D 地区委員長 ※林 昴史委員長 代理として副委員長出席	津森 一正	○

司会進行：336 複合地区 YCE 委員会委員長 蔵本 守雄

- 1 開会挨拶：B 地区ガバナー 藤井 信英
- 2 出席者自己紹介
- 3 議題
「YCE 再開にあたって」（2023～2024 年度夏期 ※実施期間：2024 年 7 月～8 月）
- 4 討議の前に、第 1 回一般社団法人日本ライオンズ YCE 委員会に参加し、そこでの決定事項と会合の経過報告を致します。参考としていただければと思います。

蔵本委員長による日本ライオンズ YCE 委員会での決定事項と経過についての報告があった。

決定事項

2023～2024 年度夏期交換は台湾のみで実施

トライアルとして MD336 内のみで実施

[派 遣]

募集人数：336-ABCD 地区各 2 名、計 8 名

渡航費用：幹事旅行社となる近畿日本ツーリスト岡山支店へ要派遣見積依頼

利用空港：出発は派遣生自宅最寄り空港、到着は台北桃園空港

派遣期間：未定 ※要台湾側と打合せ

条 件：16 歳～21 歳の男女 持病や食物や動物アレルギー、食物の選り好みのない学生

[受 入]

募集人数：336-ABCD 地区各 2 名、計 8 名

利用空港：台湾生来日時の到着空港は、ホスト家庭最寄り空港、帰国時出発空港も同様

受入期間：未定 ※要台湾側と打合せ

条 件：16 歳～21 歳の男女（※なるべく女子）

持病、食物や動物アレルギー、食物の選り好みのない学生

キャンプ：期間は未定、高知県で 4 地区合同で開催

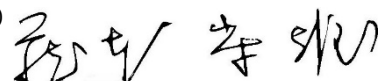
費用に関して、学生の自己負担については要検討

次回第 2 回 MD336YCE 委員会開催日時：10/26（木）13：30～15：00 WEB にて開催

- 5 閉会挨拶（委員長）

議事録署名人：MD336 YCE・国際関係・レオ・平和ポスター委員会 委員長 蔵本 守雄

承認年月日：2023 年 9 月 15 日 Morio KURAMOTO



2023～2024 年度

第 2 回 336 複合地区 YCE・国際関係・レオ・平和ポスター委員会 議事要録

開催日時：2023 年 10 月 26 日（木）13：30～15：00 ※接続開始 13：00～
開催形式：WEB

出 欠

※敬称略

議長	澤 辰水	○
世話人	三島 英揮	欠
委員長	蔵本 守雄	○
副委員長	大和 博見	○
A 地区委員長 ※馬場委員長代理 7RYCE・国際関係・ライオンズレオ委員	池添 英雄	○
B 地区委員長 ※小銭委員長代理 YCE 担当副幹事	藤原 利幸	○
C 地区委員長	鈴木 啓介	○
D 地区委員長	林 昴史	○

司会進行：336 複合地区 YCE 委員会委員長 蔵本 守雄

1 開会挨拶：澤議長

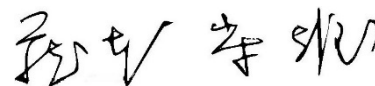
2 議題：

- ・ 前回委員会の確認
- ・ 日本ライオンズで決まったこと
- ・ 次年度（2024～2025）夏期 派遣・受入の進捗度
MD336 が交渉窓口となる台湾について、先方の交換（派遣・受入）可否を早急に確認する必要がある。
台湾側窓口：邱さん（高雄在住）
※B 地区藤原副幹事が最近邱さんとお会いになられたとのこと。
- ・ 次回 MD336 第 3 回 YCE 委員会開催日程
開催日時：12 月 4 日（月）15：00～ 対面形式
場 所：岡山商工会議所 懇親会 17：30～
出席対象者：議長、ガバナー、世話人、複合地区 YCE 委員長・副委員長、準地区 YCE 委員長

次回日本ライオンズ YCE 委員会は 11 月の末に開催予定
- ・ 国際平和ポスター審査会について
12 月 4 日 YCE 委員会の中で平和ポスター最終審査会を実施

3 閉会挨拶：MD 大和副委員長

議事録署名人：336 複合地区 YCE・国際関係・レオ・
平和ポスター委員会 委員長 蔵本 守雄
承認年月日：2023 年 10 月 30 日



ライオン誌日本語版委員会 新旧合同会議 2023-24年度第1回会議 報告書

日 時：2023年8月9日（水）10:00～12:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者：国際理事 濱野 雅司（埼玉県・岩槻ライオンズクラブ）
国際理事 城阪 勝喜（大阪港ライオンズクラブ）

【2022-23年度】

委員長 玉浦 巖（336複合地区／広島県・三原浮城ライオンズクラブ）
編集長 団 英男（335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ）※
委員 本所 光男（331複合地区／北海道・室蘭東ライオンズクラブ）
委員 藤谷 文雄（332複合地区／秋田県・大曲ライオンズクラブ）※
委員 矢内 久男（333複合地区／群馬県・高崎和田ライオンズクラブ）

一般社団法人理事長 村木 秀之（東京数寄屋橋ライオンズクラブ）
一般社団法人副理事長 古川 隆（福岡博多みらいライオンズクラブ）
PRマーケティング委員長
一般社団法人常務理事 増澤 義治（334複合地区議長／長野県・諏訪湖ライオンズクラブ）※
PRマーケティング副委員長

ITアドバイザー 荘 英隆（東京恵比寿ライオンズクラブ）

【2023-24年度】

委員 田中 明（330複合地区／和光ライオンズクラブ）
委員 馬場 哲也（331複合地区／北海道・函館東ライオンズクラブ）
委員 藤谷 文雄（332複合地区／秋田県・大曲ライオンズクラブ）※
委員 三枝 久夫（333複合地区／栃木県・佐野西ライオンズクラブ）
委員 増澤 義治（334複合地区／長野県・諏訪湖ライオンズクラブ）※
一般社団法人専務理事／PRマーケティング委員長／事務長
委員 団 英男（335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ）※
委員 上田 隆政（336複合地区／広島県・三原ライオンズクラブ）
委員 瀧野二三世（337複合地区／大分ライオンズクラブ）

一般社団法人理事長 田名部智之（青森県・八戸ライオンズクラブ）
一般社団法人常務理事 星野 勝美（群馬県・太田ライオンズクラブ）
PRマーケティング副委員長

欠 席：国際理事 鶴嶋 浩二（北海道・札幌中島ライオンズクラブ）
元国際理事 藏 大介（石川県・金沢伏見ライオンズクラブ）
元国際理事 永田 賢司（京都洛陽ライオンズクラブ）
22-23年度委員 金子 義人（330複合地区／埼玉県・さいたま南ロイヤルライオンズクラブ）
22-23年度委員 檀原 保雄（334複合地区／長野県・佐久ライオンズクラブ）
22-23年度委員 富永 健司（337複合地区／大分県・中津ライオンズクラブ）

※新旧両年度に所属



新年度第1回会議の開催に当たり、招集者である一般社団法人日本ライオンズの田名部理事長からあいさつがあり、「一般社団法人日本ライオンズの大きな役割の一つであるライオン誌を、安定的、独立的に会員の皆さんに届けることの重要性はよく理解している。現在、社団の大きな問題点の一つにライオン誌の問題があり、これを今年度中に前向きに解決して、ライオン誌が継続して安定的に発行され、ますます充実した情報発信の役割を担えるように努力したい。ライオン誌日本語版委員会の他にライオン誌検討委員会を設けており、解決に向けてしっかりと取り組んでいく。社団ではさまざまな改革に着手しており、社員総会における決定に沿いつつ、ライオン誌の編集においては独立性がしっかり担保されるようにし、委員会の皆さんとよく連絡を取り合って前向きに進んでいきたい」と述べた。続いて、ボストン国際大会で就任された濱野、城阪両国際理事、社団の村木前理事長からあいさつがあり、玉浦2022-23年度委員長から出席者の紹介があった後、2022-23年度委員会の議事に入った。

【議事】

■2022-23年度委員会

1. ライオン誌日本語版の運営

●2022年7月～23年6月ライオン誌関係会計報告

社団の2022-23年度正味財産増減計算書を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。国際協会補助金の年間収入は21,849,035円で、円安の影響もあり予算執行率107.0%となった。ライオン誌送料収入は15,913,162円・予算執行率68.0%だが、印刷版6回発行分の予算に対して実際の発行回数は4回だったので妥当な執行率である。直接出版費の執行額は31,031,287円で、同様の理由で執行率は70.5%だった。毎月発行のウェブマガジンは、印刷版の発行回数減少に伴って更なる充実を目指したため、改修費用が予算の1.3倍に膨らんだ。一方、旅費交通費及び原稿料・編集費が抑えられたことから、デジタル版関連費全体では8,313,789円（同91.5%）と予算内に収まった。ライオン誌委員会は対面で2回開催し会議費用は354,000円（同56.2%）だった。全体として、予算に沿って運営されたことを確認した。

●2022-23年度下半期ライオン誌補助金

7月14日に2022-23年度下半期国際協会補助金10,660,127円が振り込まれたことを確認した。

2. ウェブマガジン編集関係

●2023年7月号（7月1日公開）出来

●2023年8月号（8月1日公開）出来

公開済みの7月号及び8月号について出席者に意見を求め、出来を確認した。

3. 印刷版編集関係

- 2023年夏号(7月28日発行/80,200部)出来

団編集長から夏号に掲載した主な記事が紹介された後、出席者に意見を求め、出来を確認した。

4. その他

- 2023-24年度委員会への引き継ぎ事項

玉浦委員長から、2023-24年度委員会への引き継ぎ事項4件のうち、国際協会の公式版として理事会方針書に則って委員会を運営するための会計及び組織の分離や、過去の余剰金の取り扱いを社団理事会と交渉するとした3件について説明があり、出席した委員全員の賛同を確認。これら3件の解決に向けて、ライオン誌日本語版委員会内に「ライオン誌改革委員会」を設置すること、その委員を2023-24年度委員長・編集長と、過去の経緯・経過を知る委員長経験者3名、編集長経験者3名にすることに委員全員が賛同した。

この引き継ぎ事項について城阪国際理事から、理事会方針書に組織や会計を分離すべきという主張の根拠となる記載は見当たらず見解の相違があること、過去の決定事項を覆す内容であることなど疑問が呈され、次年度へ引き継ぐことには問題があるのではないかとの意見が示された。これに対して玉浦委員長から、城阪国際理事の指摘を含めて次年度委員会で議論してほしいと理解を求めた。

2022-23年度委員会で決定した通り、引き継ぎ事項4項目を次年度へ申し送る。

2022-23年度委員会の議事終了後、同年度委員は会議室を退出。2023-24年度委員長の選出まで前年度玉浦委員長が議事進行を担い、委員長選出後、新年度委員長の進行で議事を進めた。

【議事】

■2023-24年度委員会

5. 2023-24年度ライオン誌日本語版委員会委員長、編集長選出

玉浦前委員長から、理事会方針書第16章に則り委員長は委員会メンバーの中から選出することを説明。委員の中から2名の立候補があった。委員長選出について、社団の田名部理事長から次の発言(要旨)があった。

「昨年度、社団のPRマーケティング委員長、ライオン誌日本語版委員長、

ライオン誌編集長の3人の長がいることで混乱を招き、対立の構造を生むなどの弊害があった。そこで昨年度、PRマーケティング委員会の副委員長が翌年度には委員長となり、ライオン誌日本語版委員会の委員長を兼務することが望ましいと決議した。ライオン誌の公平性・独立性を担保するために編集長は委員会の互選で選び、委員長は一本化する改革を進めてはどうか」との提案があった。

これを受けて委員長の選出方法について協議し、過半数の委員の賛同により選挙で選ぶことを決定。挙手による投票の結果、2023-24年度委員長に332複合地区の藤谷委員を選出した。編集長については、藤谷委員長から団委員の推薦があり、過半数の委員の賛同により2023-24年度編集長に335複合地区の団委員を選出した。

6. ウェブマガジン編集関係

●2023年9月号(9月1日公開) 予定(案)

前年度委員会で取材記事の内容、経費概算の承認を受け、予定通りに2件の取材を行い、編集作業を進めていることを確認。「編集室」の原稿は藤谷委員長が担当する。

●2023年10月号(10月1日公開) 予定(案)

●2023年11月号(11月1日公開) 予定(案)

各号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容、外注経費が提出され、承認した。

●「取材レポート」取材対象候補

9月号から12月号までの「取材レポート」対象候補に挙げた奉仕活動のリストを確認。12月号の取材対象は次回委員会で検討する。

7. 印刷版編集関係

●2023年秋号(10月25日発行) 台割(案)

基本36ページ建ての台割案を確認した。特集ではウェブマガジン9月号で取材した富山昭和LCのライオンズクエスト推進活動を取り上げる。「国際理事だより：鶴島国際理事」、「編集室：藤谷委員長、田中委員」。

8. 主要記事予定

●2023-24年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

●2023年8、9月取材経費

8、9月に予定している経費概算が提出され、承認した。

9. その他

●2023年クラブ・アンケート

各クラブの前年度会員動静や今年度の活動予定に関する情報を収集し編集資料とするため、毎年年度始めに全クラブを対象に行っているクラブ・アンケートの内容を確認し、今年度も実施することを決定した。アンケートはServannA（サバンナ）のアンケート機能を使用して実施。各地区に協力を依頼し、クラブ宛アンケート協力依頼メールの転送をお願いする。

●ServannA（サバンナ）関係

地区版サバンナの運用サポート及びライオン誌版サバンナの運用を円滑に進めるため、L荘英隆（東京恵比寿LC）にライオン誌ITアドバイザーとして協力を依頼することとし、本人の承諾を得た。

●ライオン誌出版物

ライオン誌日本語版委員会が製作し頒布している『ライオンズスクール初級編～ライオンズクラブ入門』（第4版3刷・2023年4月3,000部発行）の残部が120部ほどになっている。各委員に1部ずつ配布して内容を確認した上、次回委員会で今後の発行について検討する。

2023-24年度委員会の議事終了後、出席者から意見の発表や質問があった。発言の要旨とやりとりは以下の通り。

○城阪国際理事の発言

「2023-24年度委員会が引き継いだ事項の中には、私から見ると議論の必要がない事項が含まれており、国際協会に確認すれば明快に解決する項目もあると思われる。委員会から国際協会へ質問したい項目を挙げ、10月の国際理事会までに藤谷委員長から提出してほしい」

「理事会方針書16章に『編集者の任期は最低1年で、最高3年である』というルールがあり、団編集長はこれに抵触する恐れがあるので、確認する必要があるのではないか」

上記2点のうち編集者の任期について、藤谷委員長から「任期に関しては指摘された箇所が続いて『編集者は再度任命を受けることができる』との記載があるため、何ら問題はない」との回答があった。

○濱野国際理事の発言

「前年度委員会からの引き継ぎ事項に関して、既に社団の中に含まれているライオン誌委員会の組織や会計を分離することは難しいと考える。理事会方針書に従って独立性を保つ必要はあり、ライオン誌に関する決定権は委員会にあるべきだろう。また会計については、今後仮に、国際協会補助金から余剰金が出る事態になった場合、社団の費用になることのないよう、ライオン誌余剰金として取り扱う必要があるのではないか。現在ある余剰金については、同一事務所にある社団とライオン誌の固定費は共通で

あることから分ける必要はないと考える」

○瀧野委員の発言

「引き継ぎ事項については、これまでの委員会運営の中で疑問に思ったこと、解決出来なかったことが次年度に引き継がれたもので、それを議論していくことは重要であり、大変だとは思わない。『すでに決まったことだから蒸し返す必要はない』ということではない。今の時代に合わせて新しい委員が『見直し』を行っていくことが必要である。ライオン誌日本語版委員会が社団の支配下にあるのか、新任の委員としてまだ分からないこともあるが、今日の議論を聞き、ライオン誌が公式版であることを考えれば、国際協会の支配下にあると捉えるのが正しいのではないかと考えている」

○星野PRマーケティング副委員長の発言

「PRマーケティング委員会の増澤委員長はライオン誌委員でもあるが、副委員長の私はどのような立場なのか、オブザーバーならば今後は意見を述べるのみにするので、そこを明確にしてほしい」

これに対して藤谷委員長から「職権委員の国際理事と8人の委員以外はオブザーバーとしての参加となる」と回答があり、田名部理事長からは「社団の理事会で決議したこととは異なり、他の委員会と違う動きで今日の会議が進んでいるので、後ほど委員長、編集長との話し合いが必要だと思う。本来は、星野副委員長にはオブザーバーではなく副委員長として会議に出席していただくべきだが、今日の会議では違った進み方になっている」とのコメントがあった。

次回会議は9月6日（水）に日本ライオンズ事務所で対面での会議を行うことを決定した。会議日程について城阪国際理事から、国際理事は多忙につき調整が困難なため、委員の都合によって決定してもらい、その日に都合がつく国際理事が出席するようにしたい、との発言があった。

閉会あいさつ 田名部理事長

【次会委員会開催予定】

9月6日（水） 14:00～16:30 第2回会議 日本ライオンズ事務所（Zoom併用）

2023-24年度ライオン誌日本語版委員会 第2回会議

日 時：2023年9月6日（水）14:00～16:30

場 所：一般社団法人日本ライオンズ／Zoom併用

出席者：国際理事	鶴嶋 浩二（北海道・札幌中島ライオンズクラブ）
国際理事	濱野 雅司（埼玉県・岩槻ライオンズクラブ）
国際理事	城阪 勝喜（大阪港ライオンズクラブ）※Zoom出席
委員長	藤谷 文雄（332複合地区／秋田県・大曲ライオンズクラブ）
編集長	団 英男（335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ）
委員	田中 明（330複合地区／埼玉県・和光ライオンズクラブ）
委員	馬場 哲也（331複合地区／北海道・函館東ライオンズクラブ）※Zoom出席
委員	三枝 久夫（333複合地区／栃木県・佐野西ライオンズクラブ）※Zoom出席
委員 一般社団法人専務理事／PRマーケティング委員長／事務長	増澤 義治（334複合地区／長野県・諏訪湖ライオンズクラブ）
委員	上田 隆政（336複合地区／広島県・三原ライオンズクラブ）
委員	淵野二世（337複合地区／大分ライオンズクラブ）
一般社団法人理事長	田名部智之（青森県・八戸ライオンズクラブ）
一般社団法人常務理事 PRマーケティング副委員長	星野 勝美（群馬県・太田ライオンズクラブ）



藤谷委員長の開会あいさつの後、鶴嶋、濱野、城阪各国際理事、社団の田名部理事長、星野常務理事からあいさつがあり、続いて委員による自己紹介を行った。また、藤谷委員長から事務局のライオン誌担当職員3名、団編集長から奉仕活動取材と印刷版レイアウト等を外注している株式会社CUBE担当者の紹介があった。その後、藤谷委員長と団編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

●国際協会提出用2022-23年度下半期収支計算報告書

公式版ライオン誌が国際協会から補助金を受けるために、半期ごとの収支報告書提出が義務付けられている。会計担当が作成した2022-23年度下半期報告書【案】を確認した。【案】は国際協会からの収入に対し、印刷版及びデジタル版ライオン誌の発行・発送とライオン誌委員会の旅費のみを支出として補助金を使い切ったことを報告するもので、社団では2019年度まで

はライオン誌部門の収支を分けた会計処理を行っていたが、会計の一本化により職員経費と事務経費を算出出来なくなり、以後は明確にライオン誌の支出と分かる費用のみ記載しているとの説明があった。これについて鶴嶋理事から、ライオン誌業務に携わる2.5人分の職員経費は記載すべきであり、委員会として今後はライオン誌発行にかかる年間経費を明確にした上で予算を立てる必要があるとの指摘を受けた。報告書の該当箇所を訂正して提出することを決定した。

●2023-24年度一般社団法人日本ライオンズ予算

8月8日の第1回社員総会で承認された一般社団法人日本ライオンズ2023-2024年度予算を資料に、ライオン誌関連の予算を確認した。

●2023年7月ライオン誌関係会計報告

社団の2023-24年度正味財産増減計算書（2023年7月分）を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。この時点では国際協会補助金等の今年度収入は未入。7月は印刷版が発行されたため直接出版費は8,475,051円（予算執行率26.7%）、毎月発行のデジタル版関連費は269,060円（同3.9%）が発生した。全体として、予算に沿って運営されていることを確認した。

2. ウェブマガジン編集関係

●2023年9月号（9月1日公開）出来

公開済みの9月号について出席者に意見を求め、出来を確認した。9月に行われるシーハンLCIF理事長公式訪問は、15日札幌での公式訪問を馬場委員が取材を担当する。

●2023年10～12月号更新予定(案)

10～12月号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容、取材経費が提出され承認した。10月号では、9月29日に東京で開かれるシン国際第2副会長ミッション1.5セミナーの取材を田中委員（330複合）が担当する。編集室担当は田中委員。11月号の編集室は、印刷版のローテンションとの兼ね合いでウェブのみの掲載で、担当は三枝委員。12月号では、マニラ・フォーラム（11月2～5日）のレポートを掲載。また、11月2日に福岡で開催される一般財団法人日本ライオンズの第2回全国特別支援学校フットサル大会の取材を渕野委員（337複合）が担当することにした。また増澤委員（334複合）から、11月18～19日に開催されるSON冬季ナショナルゲームのレポートを、334複合地区で用意したいとの申し出があった。

これまで編集担当職員を派遣していた取材を、取材先がある複合地区の委員が担当することにより経費削減を図る。取材担当委員への往復交通費の支給が認められるよう、日本ライオンズへ要望する。

地区から寄せられる取材依頼や記事掲載依頼について検討。全ての取材依頼に応じることは出来ない上、複数の依頼があった際に特定の地区のみを選ぶの

は困難であること、また経費削減にもつながることから、複合地区及び地区の活動についてはライオン誌による取材は行わずに投稿をお願いする。これについて、複合地区及び地区へ周知するよう日本ライオンズへ要望する。

- 「取材レポート」取材対象候補

取材対象候補に挙げたクラブ・アクティビティのリストを確認した。

3. 印刷版編集関係

- 2023年秋号(10月25日発行)台割(案)

基本36ページの台割案を確認した。「国際理事だより：鶴嶋国際理事」『日本ライオンズ情報：田名部理事長』『編集室：藤谷委員長、田中委員』。この号には、シーハンLCIF理事長公式訪問と、シン国際第2副会長ミッション1.5セミナーの記事は半ページずつ1ページにまとめ掲載。また、LCIF大災害援助交付金による2019年台風19号復興支援事業に関する報告記事を1ページで掲載する。これら2ページ分を追加するために「海外の活動」を休載するなど調整を加える。

- 2024年冬号以降の誌面構成・企画

団編集長から「冬号以降の誌面構成や企画に今年度委員の意見を反映させるため、各委員が次回委員会に意見を持ち寄ってほしい」との要請があった。また投稿を促進するために各複合地区ガバナー協議会などで呼びかけを行うこと、LINE登録者1万人を目標に働きかけを行うことを申し合わせた。

4. 主要記事予定

- 2023-24年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

- 2023年9～11月取材経費概算

9～11月に予定している取材5件の経費概算が提出され、承認した。今後の取材については、委員や各地区で写真などのスキルを持つメンバーで対応する方法を検討していく。

5. 2022-23年度からの引き継ぎ事項

藤谷委員長から「委員会前に行った社団の田名部理事長、増澤専務理事との話し合いで、田名部理事長から昨年度に続きライオン誌検討委員会を設けて問題を解決したいとの意向をうかがっており、当委員会としてもその方向で進めていただきたい」と述べて理解を求めた。

6. その他

- ライオン誌編集者ウェビナー

国際本部から、日本時間の10月4日と5日の2回開催するライオン誌編集

者（長）ウェビナーの案内が届き、いずれかの回に出席するよう連絡を受けた。4日8:00～9:30の回に団編集長が出席する。

●ライオン誌出版物

残部わずかとなった『ライオンズスクール初級編～ライオンズクラブ入門』（第4版3刷・2023年4月 3,000部発行）の発行について検討し、今後はPDF版として無償配布することを決定。PDF版の発行に向けて委員による改訂作業を進める。

●ServannA（サバンナ）関係

国際協会は近く、MyLCIから新しいデジタルツールLion Portalへの移行を予定している。これに伴いMyLCIとサバンナの連動が変更された場合、全35地区版サバンナとライオン誌版サバンナに影響が生じることになる。そこで社団の田名部理事長とライオン誌委員会の藤谷委員長の連名でOSEAL調整事務局へ、変更の有無、内容について文書で問い合わせることを決定した。

●ライオン誌公式SNS

ライオン誌公式アカウントの登録者数を確認した。昨年度に引き続きLINE登録者の増加に向けて努力する。

●2023年クラブ・アンケート経過報告

9月8日締切で実施中のクラブ・アンケートの途中経過の報告を受けた。9月5日時点で回答率46.8%。締切後に編集部で集計を行い、結果を確認する。

閉会あいさつ 藤谷委員長

【次回開催予定】

10月6日（金）14:00～16:00 第3回会議（ウェブ）

2023-24年度ライオン誌日本語版委員会 第3回会議 報告書

日 時：2023年10月6日（金）14:00～16:00

場 所：一般社団法人日本ライオンズ ウェブ会議システム・Zoom

出席者：国際理事	濱野 雅司（埼玉県・岩槻ライオンズクラブ）
国際理事	城阪 勝喜（大阪港ライオンズクラブ）
委員長	藤谷 文雄（332複合地区／秋田県・大曲ライオンズクラブ）
編集長	団 英男（335複合地区／兵庫県・神戸みなとライオンズクラブ）
委員	田中 明（330複合地区／埼玉県・和光ライオンズクラブ）
委員	馬場 哲也（331複合地区／北海道・函館東ライオンズクラブ）
委員	増澤 義治（334複合地区／長野県・諏訪湖ライオンズクラブ） 一般社団法人専務理事／PRマーケティング委員長／事務長
委員	上田 隆政（336複合地区／広島県・三原ライオンズクラブ）
委員	渕野二三世（337複合地区／大分ライオンズクラブ）
ITアドバイザー	荘 英隆（東京恵比寿ライオンズクラブ）
欠席者：国際理事	鶴嶋 浩二（北海道・札幌中島ライオンズクラブ）
委員	三枝 久夫（333複合地区／栃木県・佐野西ライオンズクラブ）
一般社団法人常務理事 PRマーケティング副委員長	星野 勝美（群馬県・太田ライオンズクラブ）



藤谷委員長の開会あいさつの後、濱野、城阪各国際理事からのあいさつに続いて、藤谷委員長と団編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営

●2023年7～8月ライオン誌関係会計報告

社団の2023-24年度正味財産増減計算書を資料とし、ライオン誌関連科目を確認した。8月はライオン誌印刷版の発行がなかったので、直接出版費は執行額8,501,187円（予算消化率26.7%）で先月からほぼ変動なし。毎月発行のデジタル版関連費は2回発行完了時点で執行額809,793円（同11.6%）で、予算に沿って運営されていることを確認した。

●国際協会提出の2022-23年度下半期収支計算報告書

第2回委員会の決定に沿い、国際協会へ2022-23年度下半期収支計算報告書

を提出したところ、国際本部の担当者から「国際理事会（2023年3月）の決定により、収支報告書の提出は不要になった」との連絡があった。しかし理事会決議が反映された理事会方針書（2023年7月更新版）では、報告書式の指定のみが削除されて、収支報告を半期ごとに提出しなければならないと記載されている。城阪国際理事の助言により、ライオン誌委員長及び編集長から本部担当者へ報告書提出の要否を改めて問い合わせることにした。

第2回委員会で上記報告書について検討した際、鶴嶋国際理事から、職員経費や事務費を含めた年間経費を明確にして委員会でライオン誌発行の予算を立て、その範囲内で発行すべきとの指摘があった。これを受けて藤谷委員長から社団専務理事である増澤委員へ、ライオン誌経費を分けて算出できるようにするため、事務費等の負担率を示してほしいとの要望が出された。これに対し増澤委員から、社団の会計顧問と相談しているところであり、ライオン誌検討委員会で協議すべき事項であるとの回答があった。藤谷委員長が各委員に意見を求めたところ、「会計に関することは明確にした方がよい」「国際協会と社団、ライオン誌委員会の関係が分かりやすく、整理する必要がある」などの意見が出た。これらの意見を踏まえて藤谷委員長から、ライオン誌検討委員会で今期中の問題解決に向けて取り組みたいとの発言があった。

2. 2023-24年度編集長方針

●2023-24年度編集長方針

団編集長から2023-24年度編集長方針が示され、説明があった。編集長方針7項目の概要は以下の通り。

- ①印刷版は年4回発行を継続
- ②ウェブマガジンは年12回発行の他、投稿記事やニュース記事は随時更新
- ③「取材レポート」は編集部及び外部プロダクションを活用する他、可能な場合は委員が取材を担当。「投稿レポート」の投稿促進を図る
- ④ウェブマガジン「編集室」（12回）は委員8人の輪番と、残る4回は有志が原稿を担当
- ⑤国際協会やOSEAL、日本ライオンズ関連の取材は委員が担当し、取材旅費は日本ライオンズの承認を得て編集費から支出
- ⑥複合地区・地区から取材の依頼があった時は当該のMC委員会に原稿及び写真の投稿を依頼
- ⑦LINE公式アカウントの登録者数1万人を目指してウェブマガジンの閲覧数をアップさせる

●ライオン誌編集者ウェビナー

10月4日に行われた国際協会によるライオン誌編集者ウェビナーについて、参加した団編集長からプレゼンテーション資料を共有しながら報告があった。主な内容は以下の通り。各項目について濱野国際理事から追加の情報提供を受けた。

- 新たなマスターブランドの「ライオンズ・インターナショナル」導入が始まり、国際協会ウェブサイトやライオン誌本部版に順次反映されている
- 国際協会ウェブサイトにもミッション1.5のウェブページが開設された。ミッション1.5促進のために8ページの記事配信を予定
- 国際大会のウェブページが刷新され、英語の名称やハッシュタグが変更された
- パティ・ヒル国際会長が重点を置く環境に関するクラブの奉仕活動のストーリーと写真を本部へ寄せてほしい

3. ウェブマガジン編集関係

- 2023年10月号(10月1日公開) 出来

公開済みの10月号の出来を確認した。

- 2023年11月号～24年1月号更新予定(案)

11月号～24年1月号の主要コンテンツについて、活動概要や記事の内容、取材経費が提出され承認した。11月号には、10月開催の国際理事会について国際理事3人にウェブマガジンのみに掲載する「国際理事だより」の執筆をお願いする。12月号では、マニラ・フォーラム(11月2～5日)の取材を増澤委員(334複合)が、一般財団法人日本ライオンズの第2回全国特別支援学校フットサル大会(11月3～4日/福岡市)の取材を渕野委員(337複合)が担当する。

SON冬季ナショナルゲーム(11月18日～24年2月25日)の記事掲載について検討。開会式(18日/長野市)を増澤委員(334複合)が取材し、それに続く協議と併せて12月号に掲載。2月に北海道名寄市及び長野市で行われる競技や閉会式は2月号または3月号に掲載。名寄市での写真や情報は馬場委員(331複合地区)が手配する。印刷版では大会レポートを1本の記事にまとめて春号に掲載する。

- 「取材レポート」取材対象候補

取材対象候補に挙げたクラブ・アクティビティのリストを確認した。

4. 印刷版編集関係

- 2023年秋号(10月25日発行) 台割

台割に基づいて編集を進めている秋号再校を確認した。「国際理事だより：鶴嶋国際理事」「日本ライオンズ情報：田名部理事長」「編集室：藤谷委員長、田中委員」。シーハンLCIF理事長公式訪問とシン国際第2副会長ミッション1.5セミナーの記事と、LCIF交付金による2019年台風19号復興支援事業の記事を各1ページで掲載するため、「海外の活動」を休載し、「獅子吼」を1ページ減らして3ページとした。

印刷版の編集においては、ライオン誌担当職員の減員をレイアウトと校正を外部へ委託することで補ってきたが、経費削減を踏むため、秋号からは校正については委員と職員で行い、外部委託はしないことにした。

5. 主要記事予定

●2023-24年度主要記事予定

今年度の印刷版及びウェブマガジンの主要記事予定を確認した。

●2023年11月取材経費概算

11月に予定している取材1件の経費概算が提出され、承認した。

6. その他

●ライオン誌出版物

前回委員会でPDF版配布への切り替えを決めた『ライオンズ・スクール初級編～ライオンズクラブ入門』の在庫が無くなったため、速やかに改訂作業を進める。委員会終了後、PDF版用に一部レイアウト等を変更したものを委員8人に配布し、各自が内容を検討する。また、「ライオンズ・スクール」は以前、初級編・中級編・上級編があったが、中級と上級は既に絶版となっているため、タイトルから「初級編」を削除する。

●ServannA（サバンナ）関係

第2回委員会の決定に沿い、国際協会の新しいデジタルツールLion Portalへの移行に伴うサバンナへの影響について、社団の田名部理事長とライオン誌の藤谷委員長の連名による文書で、OSEAL調整事務局の佐子マーズ局長へ問い合わせた。これに対してマーズ局長から「本部での移行作業が遅れており、まだ回答出来ることがない」という口頭での説明があったことが、増澤事務長から報告された。荘ITアドバイザーからは「サバンナのシステムを変更することになれば、時間が必要になる。出来るだけ早い段階で情報を得ることが望ましい」という助言があった。

●2023年クラブ・アンケート報告

9月8日締切で実施したクラブ・アンケート（回答率55.5%）の集計結果を確認した。全体の集計結果を印刷版秋号に掲載し、複合地区別の集計結果はウェブマガジン「情報資料」に掲載している。長年継続して調査を行っているもので、濱野国際理事から「過去6年間の退会者の在籍年数を比較すると、5年未満が減少している一方で10～14年が増加している」との指摘と共に、会員減少の理由を探るためにも役立つデータであるとのコメントがあった。アンケートで集まったアクティビティ情報は各委員が確認し、今後の取材や投稿依頼の参考資料として活用する。

閉会あいさつ 藤谷委員長

【次回開催予定】

11月9日(木) 14:00～16:00 第4回会議（ウェブ）



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-IDC 資-M1>

(2023-2024 年度)

第1回国際理事候補者 資格審査委員会【ハイブリッド】

2023年8月9日(水) 13:30-16:00

会場:日本ライオンズ事務所(東京都京橋)+ZOOM

司会:専務理事 増澤 義治

出席者:

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	田名部 智之	(八戸 LC)
委員長	松本 宰史	(南房総 LC) 【WEB】
副委員長	栗村 安弘	(大船渡 LC) 【欠席】

各複合地区委員

MD330 委員	石原 英司	(上野原 LC) 【WEB】
MD331 委員	諏訪 昇三	(札幌時計台 LC) 【WEB】
MD332 委員	下間 俊悦	(男鹿 LC) 【WEB】
MD333 委員	藤原 宏高	(船橋中央 LC) 【WEB】
MD334 委員	藤井 大川	(名古屋サウス LC)
MD335 議長	一盛 広樹	(舞鶴 LC) 【WEB】
MD336 委員	酒井 公一	(高知りょうま LC) 【WEB】
MD337 委員	吉見 章一	(宮崎ひむか LC) 【WEB】

一般社団法人日本ライオンズ

専務理事/日本ライオンズ事務局長

増澤 義治 (諏訪湖 LC)

前理事長 村木 秀之 (東京数寄屋橋 LC)

法律顧問 池田 和司 (東京桜門 LC) 【欠席】

- 開会宣言 招集権者 一般社団法人日本ライオンズ理事長 田名部 智之
昨日、村木前理事長から理事長を引き継ぎました。日本のライオンズがスムーズに運営しますよう協力依頼。
- 委員長・副委員長あいさつ
当委員会が問題なくスムーズに進んでいくことを望む。
- 出席者紹介 別紙参照
- 議事録作成人の指名 MD331L 諏訪 MD334L 藤井
- 確認事項について 松本委員長が進める
 - 推薦委員会から資格審査委員会への名称変更について
前年度より名称が変更されている。推薦・手続き関係をお願いしたい。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-IDC 資-M1>

② 国際理事候補者推薦手続規則の確認

60版ライオンズ必携に記載されている各項目を本日審査する。

③ 2024-2026 年度国際理事選出の確認

■国際理事立候補の資格

オセアルのガイドラインもガイドラインにそって審査する。

6. 資格審査

① 提出された推薦要望書について

MD334 L仁科良三より7月25日推薦要望書が提出された。7月31日までに提出された方は1名のみ。

・L下間委員 質問、第1回の本委員会を開催して公募を募るべきではないか？

・委員長回答 日本の枠がどれだけあるかわからないが手続き上の資格を持っている人に出された方を審査して推薦する。

・専務理事 14条の規約通りに進めていく。

② 推薦要望書の内容確認と資格審査

ライオンズ必携第60版第2章 168-169 ページより抜粋

国際理事候補者推薦選挙手続規則

第2章 国際理事候補者推薦選挙管理委員会 第14条2項より

(2) 推薦要望書には、次の書類を添付するものとする。

(a) 候補者の氏名、履歴、所信を記載した書面

(b) 所属する準地区および複合地区年次大会での推薦決議が記載された議事録の写し。

(c) クラブ会長、地区ガバナー、複合地区ガバナー協議会議長の推薦書

・オセアルのガイドラインに基づく審査

各推薦書等を確認 L仁科良三の資格審査の承認を挙手にて承認した。

7. 上記に伴う事務処理について

7月31日までに推薦要望書を出された方が1名、8月10日までに委員会を開催した。

日本ライオンズの推薦候補者に決定した。

8. 閉会宣言

日本ライオンズとして推薦をしていくプロセスとしてのルール・ガイドラインの足りないところや各複合との名称等に差異の調整各項目を会則委員会で検討する。審査項目のチェックシートとかガイドラインに書かれているものの提出書類も統一化され審査がしやすくなる。資格審査委員会・会則委員会と連動してルールを作って頂くことを願っております。

議事録作成人 MD331 委員 諏訪昇三・MD334 委員 藤井大川



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

2023-24年度 一般社団法人日本ライオンズ

第1国際大会委委員会会議議事録

作成人 337国際大会関係 委員 曾山 純廣

開催日 2023年8月17日

◎出席者：

一般社団法人日本ライオンズ

理事長 田名部智之（八戸 LC）

副理事長 池原堅（福山久松 LC）

副理事長/国際大会委員会副委員長/MD331協議会議長

松浦淳一（岩見沢はまなす LC）【欠席】

専務理事 増澤義治（諏訪湖 LC）

国際大会委員会

委員長吉村弘吉（和歌山 LC）

各複合地区協議会議長

MD330 田中雄一（狭山 LC）

MD332 栗村安弘（大船渡 LC）【欠席】

MD333 星野勝美（太田 LC）【欠席】

MD334 戸祭宏樹（鯖江王山 LC）

MD335 中谷豊重（岸和田 LC）

MD336 澤辰水（下関 LC）

MD337 新里正雄（沖縄 LC）【欠席】

各複合地区国際大会委員

MD330 委員長 伊賀則夫（東京葵 LC）

MD331 委員長 本所光男（室蘭東 LC）

MD332 委員長 村上孝（水沢中央 LC）

MD333 委員長 岡野良男（土浦環 LC）

MD334 委員長 大山恭範（一宮 LC）

MD335 委員長 江草長史（和田山 LC）

MD336 委員長 徳永修（尾道 LC）

MD337 委員長 曾山純廣（霧島みらい LC）

2022-24 国際理事/LCI 大会委員会

鶴嶋浩二（札幌中島 LC）



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

増澤専務理事 開会宣言

田名部理事長 挨拶

第1回 国際大会委委員会会議 お集まりありがとうございます。

国際理事は、今期より理事会構成員ではなく、オブザーバーとなり早速弊害が生じている。国際大会委員会では、本部での現状についてお知らせいただく等、国際理事の力がないと物事がすすまない。8/23にはOSEALフォーラムPRのため6名が来日される予定。

本部から情報がきていればもう少しスムーズに進むこともある。各複合地区の皆さんには急遽バタバタと委員会を開くこととなったこととお詫びいたします。皆様のお力を借りて、マニラフォーラム、メルボルン大会へメンバーが問題なく参加できるよう進めたいと思います。

吉村大会委員長

本日はカメラ不具合のため、増澤専務に進行をお願いしたい。

鶴嶋国際理事、各大会委員についてはお忙しい中ご参加ありがとうございます。

マニラフォーラム、メルボルン国際大会に多くのメンバーが出られるよう進めたい。

鶴嶋国際理事

本日もお願い、ご連絡があります。なお、途中退席します。

マニラフォーラム委員長マイケルソーPIDが23日にお見えになる。

本日の委員会の中で数点の議案があります。

来年6月のメルボルン大会について、(国際大会委員長の)フランクムーア3世に対して日本からの要望を出している。

デポジット等では登録がしにくく、日本の慣例を躊躇し、公認ツアー会社による方法で進めたいとお願いをしており、コーディネーターを通しての登録について許可をいただいている。

公認ツアー会社を決めて頂きホテルを日本として取りたい。日本からの登録者の多さにも関わらず日本食が用意されていない等の要望を本部へ出したい。

日本ホテルの決定後、私でコンベンションセンターへのシャトルバスの運行を取り決めたい。

公認ツアー会社にI種II種III種と種類があり、バス手配、発券等できることに違いがある。

全国で公認ツアー会社を決定いただき、その上で会議を開催したい。

過去の大会では参加者のバスの駐停車禁止のところに日本のツアー会社が止めているとい



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

うクレームがあった。前回のポスコン大会では参加者がホテルでトラブルを起こすなどの事態もあり現在大問題になっている。

出席確認：参加者名簿参照。

議事録作成人の指名：333、337に依頼。333は入院のため辞退、332と337に依頼。

吉村大会委員長

●国際大会の任務、実務：国際理事会方針書により、国際大会、オセアル・アジアフォーラムの意義を強調し多くの会員の積極的参加を促す、多くのメンバーが大会・フォーラムへ参加し、セミナーに参加し国際的視野を広げる機会を促進・参加を奨励する。日本ライオンズのレベルアップ、奨励のための方法を考える、フォローをしていく。

●実務についての説明と、MD単位で行うということを確認する。

まず最初の任務として早急に公認ツアーガイドを決定し、スムーズに国際大会に参加できる筋道をつけるのが重要。

鶴嶋国際理事

●ロジスティック（物流、バレット用品等）費用がかかるので社団でサポートしてほしい。候補者ではなく日本ライオンズとして負担してほしい。

●前回の朝食会の内容：ほかの国ではレセプションを開催している。他の国の国際理事候補者をお呼びしてお話を聞く機会がいつしか日本だけがなくなっている。

ジャパンレセプションを開催し、各国の国際理事候補者、第3副会長会長候補者、第1、第2副会長をお呼びして、方針を聞く機会を復活してほしい。

●メルボルン大会について、前年度にロータリーの大会をやっているが予定の人数が来なかったために、コンベンションセンターの一部を貸し出さないと言い出した。約束した人数は参加してもらわないと、いろいろと弊害が出る。

吉村大会委員長：

●公認ツアー規定について、規約（A資料）参照。複合地区の委員長は、知っているか確認。

MD332 村上委員：

●資格については1～4のいずれに当てはまればいいのか

鶴嶋国際理事：

●1つでよい



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

増澤専務理事：

各複合のなかで公認業者を決めて旅行している。安く行けるところはいろいろあるが、問題点も多いため公認業者を使うよう国際協会から通達がきている。バスや添乗員を入れなければ安くなるが（その部分の負担が）公認業者に乘っかっている場合もある。できれば公認業者を使用してほしい。

吉村大会委員長：

●次の大会まで1年の猶予がある。各MDにおかれましても現在の公認のツアー会社でいいのかどうか、再度MD単位で担当するツアー会社を選定する必要がある。

進めて頂いて、できるだけ早い機会に、公認会社との会議をいつ行うかについて国際大会委員会と段取りをきめておきたい。

MD 3 3 6 徳永委員：

●336でも問題になっているが、2～3人のツアーでも飛行機やホテルを自分で手配したほうがはるかに安く済む。MDの夕べや開会閉会式等、大会のポイントだけを外さない方ように自分で行く方が多い。公認業者を通じて参加する方が最低数いれば、あとは勝手に行ってもいいのか、方針について指示をしてほしい。

現在近畿ツーリストでJTBにも話をしているが進まない。

鶴嶋国際理事：

●来期メルボルン大会について

今回からは国際協会が国ごとに指定するホテルがない。8複合地区、ツアーコーディネーター同士で話して、日本として一つのホテルに決めようと思っている。全員同じところへ宿泊し、鶴嶋国際理事よりシャトルバスの要請をする。早めにするだけホテルの値段も安くできる。例えば500室を早めに押さえればやすくなる。近くなって数室だと高くなる。

大手に任せて、買って頂く仕組みを作ってはどうかと公認ツアーコーディネーターとの会議を通じて提案したい。シャトルバス等用意のため参加者が何人になるか現地と協議をするが、公認ツアー会社を通さないとカウントされていない。なお公認ツアーコーディネーターを使った場合の旅行代金を協会がはねているなどはない。

ガバナー主催会議を行い、ホテル、うまく割り振ったりすれば料金は安くなる。

9月13日からフランクムーア3世（本部大会委員長）がメルボルンを視察。早めに日本で一つのホテルをとるとか決めて頂ければ10月と3月の国際理事会で、日本ホテルや大会のバスはこうしてくれとお願いできる。今回に限ってはそうしないと皆さんの足がない。

北海道のJTBや近畿ツーリストは、330、335のJTB・近畿ツーリストと組まない。済州フォーラムではトラブルもあった。行けないことなどが無いよう、公認業者は国際委員会の方でしっかりと決め頂きたい。私の方からは以上です。

増澤専務理事：他に御座いますか。徳永ライオン、いかがですか。どちらにしても委員会の



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

方でいちど揉んでみないと、となる。

MD 3 3 6 徳永委員：

- メルボルンはさておき、問題はマニラ。そこをどうするのか。

鶴嶋国際理事：マニラは国際協会が関係ないアジア地域のフォーラムなので、どのようにしても問題ない。アジアフォーラムは個人単位で行ってほしい。LCIが絡む国際大会はホテルを統一したい。23日にマイケルPIDが来日するので会議をしてもらおう。マニラフォーラムの本部ホテルは隣の町のホテルである。早めにとれるところはとってもらい、向こうに任せるところは任せるなど決めてもらえばよい。

増澤専務理事：

- 他にありますか。国際大会とオセアル大会とはすみ分けて進めていく。オセアルについて、日程がタイトですので留意して進めてもらえればと思います。3番目の議案につきましてよろしいですか。それでは4番目の議案であるオセアルフォーラムについて委員長の方からお願いします。

吉村大会委員長：

- 皆さんが一番関心のあるのがマニラのフォーラムだと思いますが、MD単位でツアーを組んだりいろいろと方法があるかと思いますが、ジャパンナイトを社団としてやるというふうな方向を決めておきたい。国際会長を含め、いろいろな方にジャパンナイトを開催しお話しいただき、国際理事候補者となる方のご紹介をしてもらおう。オセアルフォーラムでジャパンナイトを開催することをご審議いただきたい。早く決めておかないと会場等、前に事が進まない。フォーラムでは、国際会長晩餐会があると思います。鶴嶋国際理事いかがでしょうか。

鶴嶋国際理事

間違いなくあります。割り当ての枚数がもうすぐ出てきます。各複合より前年割くらいはご出席をお願いするかと思います。

吉村大会委員長：

- それを前提に御参加を各複合へお願いするのが喫緊の課題である。ある程度人数等の把握はできるが、国際会長晩餐会の割り当てを含め準備をしておく必要がある。1800人がマニラへ参加してほしいとの要請もあるが未確認である。そこで複合地区からの参加人数を含めて教えていただきたい。その上で参加者数の割り当てをしていき



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

たい。

増澤専務理事：

レジュメの一番はじめ、8月31日までが130米ドルということになっています。昨年のように、早期登録を9月末までに延ばしてもらえないかも23日の課題になる。MD別予想登録数は、23日にお約束しなければならないので、どのくらいが出せるのかをこの場でお聞きし、トータルが1800人に近づければと思います。

田名部理事長：

Cの資料参照。過去にマニラで開催されたアジアフォーラムの参加者数の資料です。第36回(1997)2983名、第43回(2004)1894名、第50回(2011)2307名。過去の実績から1800人を実行委員会からお願いされている。あくまで登録者数なので、マニラに行けなくても8複合÷35地区、各複合となると一地区あたりの目安がわかるのではないか。(1800÷8)1複合あたり225名、35地区で割ると51名ほどとなる。あくまで目安の数字。ガバナー+3役と各一名ずつであれば数字は超すと思います。去年はいきなり呼ばれて登録人数を約束させられた、ということがありましたので、1週間前に皆さんに数字を見ていただいて、この数字をたたき台にし、来週に向けて数字を組み立てていただければというお願いです。

増澤専務理事：

●ガバナーの皆様と検討いただき、1週間前ですが、目標に到達できるよう数字を出して頂ければと思います。1800人が全員マニラに行けるとは思えないが、近づけるように数字を出してほしいです。マイケルPIDが来た際にその話をするが、各複合が何人だせるか合計を提示したいのでよろしくお願いします。

●参加予定数、記載いただいたものを21日までに送っていただいて表を完成させたい。23日の出欠についても教えていただきたい。

●続きまして、フォーラムの日程につきましては、Bの三枚目四枚目がオセアルの日程となっております。この中は、開会式は11/3、閉会式が11/5、国際会長晩餐会が11/4となっております。この後に食事会やパーティ、ジャパンナイトが入ってくる。この中で予定を組んでいただければと思います。予定については詳細が分かり次第複合議長・委員長へお伝えします。

●続きまして、晩餐会について、11/4の午後7時、ホテルで登録料100ドル、登録を早期にさせていただいて、チケットの枚数の割り当てが何枚といくらいうのがあるんですね、

鶴嶋国際理事：



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

●前年並みということで、各複合30枚から50枚の間だったと思うのですが、受付をする人が必要とかがあります。大会委員長は現場に集まらないといけない。その組み立てが必要、社団の事務局だけでは間に合わないので、大会員長が来られない場合には代理の方等人員の手配をお願いする。席割りを社団から実行委員会へ押し込むので、人数を早めに出してほしい。

増澤専務理事：

●各複合30名から50名という話が出ましたのでそのくらいで話をつけてもらえばと思います。社団で集計をとりますので、各複合へ書類を発信します。

ジャパンナイトの開催についてご意見を願います。日程的には押えていない。

他と被らないように日程、時間を調整しなくてはいけないのでお気持ちを伺いたいがいかでしょうか。

国際理事としては開催のほうがよろしいとお考えでしょうか、いかがでしょうか。

鶴嶋国際理事：

●ジャパンナイトについては協議が必要であるが、例年はオセアルフォーラムについては国際理事候補で全額賄っており、非常に高額な費用がかかっているのにジャパンナイトという名前になっている。現職ガバナーが参加するものであるから会長や第一副会長をお呼びして話をする場所としては必要であると思います。

会費制で開いてもいいのではないかと考えている。

増澤専務理事：

●各複合委員長はいかがですか

MD 戸祭氏：

●複合の晩餐会や国際会長晩餐会を考えると、3泊4日の日程に入れるときついのでは。

増澤専務理事：

●時間調整して、時間をずらすしかない。枠がいくつかが用意されており、昼間の食事会か、開会式のあとに入れ込むのか。ホテルの中でとれる枠が3日に一枠、4日に二枠くらいしかない。枠だけ抑えていて、費用等やり方は後から検討する余地はある。いくつも開催すると、行くのに迷ってしまう可能性もあるのでそこも検討してほしい。

鶴嶋国際理事：

●国際理事候補者が必ず行わなければならない儀式のうちの一つ。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

ジャパンレセプションと、候補者としての儀式を混ぜてしまわなければならないと思っている。次の候補者のことを考えるとやっておいたほうがいい。やらないとなると、国際理事候補者がOSEALのエンドースとることが難しくなる。

増澤専務理事：

●昨日行われた資格審査委員会でお一人候補者として承認を受けている。資格審査会で承認を受けた方がレセプションを行うことになった場合に、そこへジャパンレセプションを乗せてきた。委員長、本日やるかやらないか決めたほうがいいですか。

吉村大会委員長：

●決めておいたほうがいい。タイミングだが、コーカス会議の後にやるか、前にやるか。

鶴嶋国際理事：

●後だと思います。

吉村大会委員長：

●というのは、コーカス会議は11/2 20時-21時になり、そのあとの夜中のレセプションでよいのか。3日では遅すぎると思う。

増澤専務理事：

●レセプションというのは、スケジュールのなかにすでに枠があり、3日に二枠、4日に一枠と決定している。どちらかでやると決まっているので、そこに日本としてのレセプションを乗つけるか乗つけないかという判断になる

鶴嶋国際理事：

●前回もレセプションの直後に晩餐会というスケジュールだった。時間としては1時間で、400万というのはどうなのかというのもあるが、この枠の中でやるしかない。

増澤専務理事：

●3つの枠でやると考えた場合、ジャパンレセプションを国際理事候補者レセプションと一緒にやる判断をしてもらってよいですか、採決を取りたいとおもいます。その前にご意見を伺いたい。

MD 3 3 3 岡野委員長：



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

●3日の国際理事候補1レセプションあたりで行うということによろしいでしょうか。

専務理事：

●一応、4日にも枠があります。まずはやるかやらないかについて決を採りたい。

MD 3 3 3 岡野委員長：

●こちらの複合の都合ですが、3 3 3複合の議長を囲む会を3日にやろうという思いがある。例えばそれが18:30までに終われば19:00から行うことも可能です。そうなればレセプションとジャパンナイトも同時に開催できるが、時間がずれてしまうと複合地区議長の晩餐会が厳しくなる。

増澤専務理事：

●取られている時間は18:30で終了なので、なるべく早い時間で枠を押しえたいと考えております。

MD330 田中議長：

●遅参して失礼しました。3日ですが、330Cでガバナー晩餐会がありましてちょうど重なる。18時前に終われば問題ないが、参加できない可能性があるのご理解いただきたい。

増澤専務理事：3泊4日、時間が限られている。各複合・各地区で判断してもらえればと思っている。理事長としてもそのような理解でよいか。

田名部理事長：

●準備段階で折衷案ということですが、すり合わせしながら目的を達成できる形で日程調整できればと思っております。

専務理事：時間調整ができる場合はお願いしたい。

鶴嶋国際理事：個人的意見ですが、ジャパンレセプションは何のためにやるのか。候補者のお披露目をしてオセアルのOECのエンドースを取るために行う。地区とどちらが先とかそういうのは違うと思う。候補者が出ない前提でお話をしているのか、出ても地区の行事があるので行かない、という会話か。次の日本の代表をする国際理事を決める会議を日本として初めてやる。日本代表を決めるということ。どちらを優先するかはフォーラムについて勉強してほしい。ここで退席しますが、公認ツアー会社の選定をしていただいて、8MDがそろって準備をして頂きたい。

国際理事がオブザーバーだからといって情報を出さないことはないので、できる限り参加し



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

て話をしたいと思います。ハワイマウイの災害についても LCIF より資金の話が出ている。社団に話が来るかもしれない。即時にご連絡をしたいと思います。

MD330 田中議長：

● ジャパンレセプションというのは、次期国際候補者を決議する場ですか？ちょっと違うのでは。今回はすでに出る方の名前を聞いている。その後から他の方が出る場合もあるのでは？あのように言われると、他の方が不利になるのではないか。また、日本ライオンズの理事としての立場をないがしろにしているわけではないが私の現在の立場も、自分の地区、複合地区あってのものなのでそちらを優先させていただきます。自分の地区をないがしろにしては、複合地区も日本もよくなるらない。

増澤専務理事：

● ジャパンレセプションはオセアルの会員に、国際理事候補者をお披露目する場所。後から立候補する方については基本的に7月末までに推薦要望書を提出し、立候補していなければ手続き上資格はないので、枠が増えない限りは OSEAL フォーラムで手を挙げて翌年の候補となります。

田名部理事長：

● 地区、複合、日本でどこの意見を通すかという場ではなく、お願いベースで調整が効く段階だと考えております。それぞれの地区の事情があるかと思しますので、そのことをテーブルに出して調整の場として使用して頂きたい。全員がうまくいくことはできないかもしれないが、できる限り100点に近い形になるようにお力を発揮してもらえばと思う。

MD334 戸祭議長：

● 国際理事候補者がレセプションをやるなら、ここでやるよって決めてもらえればと思います。

増澤専務理事：

● あえて言いませんでしたが、3日にやりたいという打診を受けています。この会議の後も再確認しますが、時間を確保します。まずは、国際理事候補者が行うレセプションをジャパンレセプションとして一緒に行うこととして採決を取りたい。

● 賛成の方挙手をお願いします



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

参加者過半数：

- 挙手

増澤専務理事：

- 賛成多数では実施するという事で進めさせていただきます。続きまして5番目のメルボルン大会について委員長お願いします。

吉村大会委員長：

- メルボルン大会は来年の6月開催ですが、今から準備できるということは早い段階で動けると思っています。ただ、これに関してはさきほどありましたように、8複合の各旅行会社を決めてそのうえで、日本のホテルを決めるという今までにない段取りが入ります。そうすることで各MDが独自にやっていたバスの経費などを大幅に下げるメリットもある。ホテルの予約については、日本のホテルを予約したうえで申し込みをやっていただく。早急に各委員長、議長の皆様においては、MD単位での公認の業者を決めていただきたい。後のスケジュールについては順次決める。どれだけの人数が行っていただけるかは現時点では把握できないので、参加しやすい状況を作るという意味でもよろしくをお願いします。

増澤専務理事：

- 複合の公認旅行会社が決まっている、あるいは決まりそうなところはありますか。334、335は決定している、他はどうですか。早急に決定することが可能でしょうか。どこかで協議する場はあります。

MD336 澤議長：

- 335はどこを公認にしていますか。

増澤専務理事：

- 334、335はJTBです。337は未定です。

MD336 澤議長：

- 近畿日本ツーリストに対して不満が出ている、値段が高すぎる。JTBなら話やすいかと思った。ありがとうございます。

MD334 大山委員長：

- JTBでもそんなに安くないが話し合っただけで安くなる可能性はあります。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

増澤専務理事: 決定後ホテルやバス等いろいろなことを決めていくことになる。もし決まっていな複合地区は、早急に決めて頂けると助かります。

MD332 村上委員長:

コーディネーターになる要件について再確認したいです。1～4を一つでも該当すればよい、ということは、①～③のうち一つに該当して④にある通り、複合地区議長が認めたということですね。8地区業者をまとめてホテルを貸切るとコスト削減、利便性がよいとあるが、日本としてホテルを貸切る、という方向性が鶴嶋理事のおっしゃったように確定ということでは複合で話をしてもよいですか、それとも私たちがこの場で決定することでしょうか。

増澤専務理事: 国際協会ではホテルを抑えないのは事実。旅行会社にその話は行っているようなのでお話しされればわかるかと思えます。ホテルについては共通でとったほうがよいという見解です。ほかの地区はいかがですか

MD331 本所委員長

●過去のツアコンは、JTBでしたが、安い業者がいい、ということでいろいろと入り乱れている。今度の会議までに決めてご報告いたします。こちらで中座いたします。ありがとうございました。

MD333 岡野委員長:

●333 岡野です。公認ツアーコーディネーターはいつまでに決めるのが望ましいですか。

吉村委員長:

●鶴嶋国際理事が話していたように9月13日にLCIで委員会があるそうなので、その前後までに8複合の公認ツアー会社と国際委員長が日本の方向性について話をしてもらいたいので、できれば9月10日まではお願いしたいと思っています。本日は8月17日です、1か月弱あります。いかがでしょうか。

MD333 岡野委員:

●333としては頑張るしかない。

MD330 田中議長:

●複合の公認ということですが330はそれぞれの地区でツアーを組んでおり、複合ではここ数年ツアーを組んでいない。複合としての公認が必要であればそれぞれの地区の旅行



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

会社に対して公認するということになるのでしょうか。

増澤専務理事：

●地区で公認された方が会議に参加すればいい。(田中議長からガバナーが公認するのかと質問を受けて)ガバナーが公認すればよいと思います。

MD330 田中議長：

●その場合、ホテルの情報を旅行会社はどう仕入れたらよいですか。大手だと横のつながりがあると思うが中小、個人のような業者もあるかもしれない。

増澤専務理事：一種の資格を持つ旅行会社でないとホテルが確保できないと思う。そうすると公認集まった場合、資格がない場合は一種の資格を持つ業者からホテルの部屋を買う形になると思われる。各地区で公認になったところは小さい会社も含めてすべて委員会に出させていただいて、JTBや近畿ツーリストから部屋数を頂くことになると思う。2種、3種では部屋の確保ができないので、公認業者が集まった会議の中で共有してもらう。

MD330 田中議長：

●今後はそのような方をオブザーバーと呼ぶということですね。

増澤専務理事：

●はい、そこで情報共有するという事です。ほかにありますか。

各複合で決まっていないところは、9月10日をめどに段取りをお願い致します。地区やキャビネット会議へは事後報告という形になるかと思いますが、メールやFAX等で承認をいただき、指定業者を一社へ報告していただければと思います。

続きまして、MDの参加取り組み状況について。資料参照の登録です。メルボルンの大会の早期登録は1/12までになります。1/13から6/15までは通常登録、その後は現地登録となり、金額があがるのでなるべく早く登録していただけるよう案内をお願い致します。

以上でメルボルン大会の話が終わりますが質問等がございいますか

MD334 大山委員長：

●国際大会の登録はグループ登録できないのですが、リクエストしたいのですがそれは可能でしょうか。とりあえずオセアルフォーラムについてです。

増澤専務理事：

●明日確認いたします。わかり次第フィードバックします。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

MD330 田中議長：

●オセアルで国際理事候補者がジャパンレセプションをするのは賛成。
地区ごとの割り当ては考えておられますか。というのも 330-Cでガバナー晩餐会を予定しており、バッティングすると人を出せずご迷惑をおかけしてしまうので確認しておきたい。

吉村大会委員長：

●こちらとしても調整はしていくが、できるだけ調整等をお願いします。330 から出ている現職の国際理事もレセプションに出ていただく。

増澤専務理事：

●基本的にはオセアルへ国際理事候補者をお披露目する会ですので海外の方のほうが多く見られると思います、複合へ 10-15 でお願いすることになるかとは思いますができるだけご調整をお願いします。

MD330 田中議長：

●出られるときはでます。ただ、割り振りを急に増やされたりすると困るかな、ということでした。

専務理事：

そこはご無理がないようにしていきます。

最後 その他になりますか？

吉村大会委員長：

●オセアルでもメルボルンでも日本が一つにまとまって行動するという形の形式をとる、8 MDが協力しているスタイルを作りたい。

年明けすぐにメルボルン大会のパレードのことが浮かび上がる。日本でできるだけ統一された行動がとれるようにご意見を吸収して、協力体制を作り上げていきたい。

増澤専務理事：

●次回の予定を決定願います。

吉村大会委員長：

●今の状況でいくと、公認ツアーコーディネーターを決定していただいた後の9月11日から13日ごろに第2回委員会を開催したいです。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

日本ライオンズ発行<2023-24-C-M1>

田名部理事長：

- ウェブでよろしいでしょうか。よければ対応できます。

増澤専務理事：

- 北海道も入っていますので12日の午後、2本立てでよろしいでしょうか。13時半から公認ツアー会社の打合せ、15時から国際大会委員会でよろしいでしょうか。ハイブリッドですので社団事務所でもよいし、ウェブでもよいのでその旨で決定します。ほかにありますか。

MD335 江草委員長：

- 確認ですが、オセアル登録ですが1800人を8複合、225名の件。これを目標に登録者を募るということでよろしいでしょうか。

増澤専務理事：

はい、23日にマイケルPIDが来られた際に報告しますので、議長と相談して225以上の数字をお願いします。

社団事務所に23日いらっしゃる方はいますか。会議後のマイケルPIDとの懇親会にもご参加頂けますと助かります。

最後に池原副理事長挨拶をお願いします。

池原副理事長：

- 今年は早く動いていますので、目標に届くのではないのでしょうか。日本からの国際理事もたくさん出ておりますので、成功に導けるようにしたい。ご協力ありがとうございました。

増澤専務理事：

- 閉会宣言。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

一般社団法人日本ライオンズ発行文書 <2023-24-C-M-02>

「第 2 回国際大会委員会」議事要録

作成人：

第 1 部：MD337 国際大会委員 曾山純廣

第 2 部：MD330 国際大会委員 伊賀則夫

開催日 2023 年 9 月 12 日

◎出席者：

国際理事

2022-24 国際理事/LCI 大会委員会	鶴嶋 浩二 (札幌中島 LC)	【Web】
2023-25 国際理事	城阪 勝喜 (大阪港 LC)	【欠席】
2023-25 国際理事	濱野 雅司 (岩槻 LC)	【対面】

一般社団法人日本ライオンズ

理事長	田名部 智之 (八戸 LC)	【Web】
副理事長/国際大会委員会副委員長/MD331 議長	松浦 淳一 (岩見沢はまなす LC)	【Web】
専務理事	増澤 義治 (諏訪湖 LC)	【対面】

国際大会委員会

委員長	吉村 弘吉 (和歌山 LC)	【対面】
-----	----------------	------

各複合地区国際大会委員

MD330 委員長	伊賀 則夫 (東京葵 LC)	【対面】
MD331 委員長	本所 光男 (室蘭東 LC)	【Web】
MD332 委員長	村上 孝 (水沢中央 LC)	【Web】
MD333 委員長	岡野 良男 (土浦環 LC)	【Web】
MD334 委員長	大山 恭範 (一宮 LC)	【Web】
MD335 委員長	江草 長史 (和田山 LC)	【Web】
MD336 議長	澤 辰水 (下関 LC)	【Web・代理出席】
MD337 委員長	曾山 純廣 (霧島みらい LC)	【対面】



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

一般社団法人日本ライオンズ発行文書 <2023-24-C-M-02>

オブザーバー

330-C 地区キャビネット国際大会委員	井上 賢一 (白岡 LC)	【Web】
MD331 国際大会副委員長	齊田 博文 (札幌レリアン LC)	【Web】

各複合公認ツアーコーディネーター

MD330・MD333	加藤 勉	【対面】
MD331	中牟田 憲一	(株) JTB 【Web】
MD332	川村 勲	(名鉄観光サービス(株)) 【Web】
	吉田 明弘	(名鉄観光サービス(株)) 【Web】
MD334	丹羽 祐太	(株) JTB 【対面】
MD335	沼間 章作	(株) JTB 【対面】
MD336	金子 愛梨佳	(近畿日本ツーリスト(株)) 【対面】
MD337	藺田 花奈	(株) JTB 【Web】

オブザーバー (各複合公認ツアーコーディネーター)

MD330-A	嶋田 誠幸	(株) ゼイワール・トラベル 【欠席】
MD330-A	峰村 篤	(株) 峰観光社 【Web】
MD330-B	豊島 隆志	(株) JTB 【欠席】

以上



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

一般社団法人日本ライオンズ発行文書 <2023-24-C-M-02>

第 1 部 公認 TC 打ち合わせ会議

増澤専務理事 開会宣言

田名部理事長 挨拶

お疲れ様です。お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。オセアルフォーラムの出席数目標が具体的になりました。

各クラブ、最低一人くらいはお出しして頂ければ目標達成できそうです。

ツアーコーディネーターにも出席いただいている。より良い大会になるように期待しています。よろしくをお願いします。

吉村委員長

・出席者状況確認とオブザーバー参加者の紹介後、参加者ツアーコーディネーター（資料参照）紹介。

本日の議題は、メルボルンでの日本ホテル候補の選定、各 MD 公認 TC の要望（部屋数等）、8 MD 公認 TC をまとめる、幹事会社の決定です。

重要なのは情報共有なので忌憚のない意見ををお願いします。ただし、挙手指名の後に発言をお願いします。

最後に議事録作成人を指名します。MD330 伊賀委員長が不在なので MD337 曾山委員長にお願いします。

鶴嶋国際理事、ご挨拶等をお願いします。

鶴嶋国際理事：お疲れ様です。まず国際大会についての説明をします。例年 LCI が各国へホテルを割り当てしていたが、モントリオール大会からデポジットの支払いをした上でのグループ登録となりました。世界的にはいいが日本の文化にはそぐわず、日本は従来とおり、ツアー会社を通じた登録の要望を LCI 大会委員会へ出し、承認を頂いている。

ホテルについて、公認ツアー会社を使用すれば料金が高い等の誤解があった。公認 TC にキックバック等はない。公認 TC を通じた登録者数により、コンベンションセンターの利用等便宜を図ってもらっている。

公認ツアー会社を使用しない弊害もあり、例えば公認以外の業者による、バスを停めてはいけない場所での停車など問題が起こっている。LCI 大会委員会でもきちんと一年間の任期で公認 TC を任命するようになってきている。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

一般社団法人日本ライオンズ発行文書 <2023-24-C-M-02>

ホテルは日本のツアー会社内で独自に話をして決めていただき、それを前提に LCI へ各種要望をしていく。ホテルでの日本食の提供の要望にも応えられるようにする。ホテル移動等の問題も日本のホテルを一棟決定することで、バス等交渉していきたい。良いホテルを探していただき、そして来年のメルボルン大会に 1 名でも多い参加をお願いして挨拶といたします。

濱野国際理事：一人でも多くの方に国際大会・フォーラムへ行っていただきたい。観光だけではなく最低限、国際協会のイベントに参加していただきたい。ホテル代や登録料等高くなっており、参加者が集めにくい状況ですが、現地へ参加することの魅力も皆様へぜひお伝え願いたい。

吉村委員長：それでは本格的議事に入ります。資料 ABC とお手元にありますでしょうか。

A については公認 TC の名簿です。B は規定です。コーディネーターの資格要件をご確認ください（資料読み上げ）。後日、公認 TC には各議長による正式な任命書の提出をいただき、議長各位には大会委員会宛に任命報告をお出しいただく。任期は 1 年、適用行事はオセアルフォーラム等です。なお、YCE 事業における TC の検認についても検討中。規定にあります通り各 MD の範囲内のみでの営業をお願いします。J T B が 3 MD より来られていますが、営業所単位ですので営業範囲内と解釈し、各地区より指定いたします。ウイントラベルは MD330・330 兼任だが、本日は 330 までご参加いただく、MD 333 は別途、別の営業所を登録いただきたい。（旅先での）ルールの順守をお願いします。ご質問等ありますか

MD330 公認 TC (ウイントラベル)：公認 TC 規定について、第一条の①・③は現在同じ文言となっている。第 1 種の業者は官公庁のみなので③は削除でよろしいのではないかと。

吉村委員長：この文言については別途検討していく。

メルボルン大会では LCI がホテルの割り当てをしない。

幹事会社となる公認 TC を 8 MD の公認 TC で互選いただき、ホテル選定や部屋の確保等を進められるようにすることが本日の議題です。資料 C はあくまで参考情報です。特に議題にはあがりません。

メルボルンでは日本ライオンズ・公認 TC を通じて登録を行う。

個人登録も可能ですが、責任は負いかねますのでその旨お伝えください。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

一般社団法人日本ライオンズ発行文書 <2023-24-C-M-02>

・登録料の確認の後、メルボルンのホテルについての意見が求められ、選定後に鶴嶋国際理事よりシャトルバス等交渉いただく件が伝えられた。

MD335 公認 TC(JTB)：現地からの情報によると、LCI で確保されているホテルが 2 つある。いくつかあっているが、数百人が一か所に泊まれるホテルはない。90-100 室程度が上限。2 つか 3 つのホテルを抑えるしかない。

吉村委員長：幹事会社、サブ幹事会社という方法にホテルごとに本部を置くのがいいということですね。

MD335 公認 TC(JTB)：ホテルごとに本部を置く方式がよい

MD330 公認 TC (ウイントラベル)：分けて取っていないといけない。抑えた部屋数分が宿泊しなかった場合はペナルティもあることを念頭に。

MD336 公認 TC(近畿日本ツーリスト)：近年は集客が少なく、どの程度の方が参加、バス利用をされるか。

吉村委員長：国際理事にお聞きしたいのですが、物理的に一つのホテルは難しく 2～3 か所に散らばった場合、各ホテルへバスをとというのはできますか。

鶴嶋国際理事：バスについてはすべてのホテルが近隣だと可能かと思われる。ホテルを LCI が確保しても泊まらない方がいたことが、今回 LCI でホテルを指定しなくなったことの発端である。そのうえ、公認ツアー会社以外が紹介し、約束した人数が宿泊しなかった。部屋数が取れないのであれば LCI にホテルを指定してもらうのもよいが、ツアー会社はそれでよいか。元に戻すのは無理ではないが、LCI が指定した場合、ツアーが組みにくくなるという意見も聞いている。DGE、本部ホテルについて、本予約はまだであるとおもわれる。

ロータリークラブの大会が今年メルボルンで開催されたが、何万人行くと行ったにも拘わらず約束した人数が来ず問題になり、開催地が会場の貸し出しを渋っていることもある。ライオンズは本当にくるのかという問題もある。

ホテルを何か所に絞るかは決めていただきたい。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

一般社団法人日本ライオンズ発行文書 <2023-24-C-M-02>

吉村委員長：どれくらいの参加人数がいて、部屋を確保すべきか。そこから逆算した方がはやい。各MD単位での部屋の必要数、予想数字を教えてください。

(各公認TCによる予想数の報告)

330：180室

331：70～100人の参加なので、部屋数は55～60室

332：100室

333：80室

334：60室

335：120室

336：40室

337：50室

合計：690室

吉村委員長：この数字でホテルを絞りたいですがすぐ出ますか。
最低でも2、3には絞りたい。

MD335 公認TC (JTB)：すぐに絞るのは難しい。今後あたっていく。

MD334 公認TC (JTB)：2,3のホテルで1つのバス、という形ができればよいと思う。

吉村委員長：バス停で待ってもらやり方にした方がいいということですね。

・川の北側にホテルが集中している件と、LCIのリストに載っているホテルであればバスが来ると思われるので、基幹ホテルを一か所決めてそこへバスを手配してもらう方法が提案される。

鶴嶋国際理事：これまではLCIが指定したホテルにシャトルバスを回す努力をしたが、今回はバスについてはLCI大会委員会でも未定である。

吉村委員長：ホテルが決まり次第、LCIにこのホテルをシャトルバスで回ってくださいとお願いするということですよ



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋1丁目2-4 八重洲ノリオビル5階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

一般社団法人日本ライオンズ発行文書 <2023-24-C-M-02>

鶴嶋国際理事：今まで LCI が国ごとへ割り当てたホテルを利用しない現実があった。バスが止められるかどうかなどの物理的な面もあり、ホテルに必ずシャトルバスが来るとは限らない。

吉村委員長：現時点ではホテルは決めようがないですね

鶴嶋国際理事：前回話したのは、ボストン大会時の反省点。朝食会を急遽行うことになり、会場となるホテル手配が困難であった。DGEはホテルが離れており、早朝であったためバスで移動した。シャトルバス代金は社団にて負担となったが、受益者負担ではないのかと、監査にて監事の皆さんからも指摘があった。

公認ツアー会社に協力いただき、メインとなるホテルの中で朝食会またはジャパンナイトを開催していただきたい。LCI手配のシャトルバスに関しては予定の人数が来なければ路線が減る。日本のシャトルバスについては参加登録人数やホテル等を固めていただき次回国際理事会で話をする。ある程度、本日は話を固めていただきたい。

吉村委員長：朝食会、ジャパンナイトをメインのホテルで必ず開催しなければいけないので、ホテルは決めておかないといけない。10月頭までに実務会議を開催する必要がある。今日の会議ではこれまでの国際大会と方向性が変わったことを公認ツアー会社に認識いただき、MD単位で動いていただく必要があることを知っていただくことがメインでした。

鶴嶋国際理事のお話しでありました通り、日本ではまとまった動きをする必要があり、その段取りをしていただきたい。

今日はここで終了いたしますがご質問等ありますでしょうか。

MD330 公認 TC (ウィントラベル)：MCIでの部屋の予約についてお尋ねしたい。ボストンでは公認TC届出をLCIへ送り、MCIが確保している部屋を予約した。

今回もLCI・MCIですすでに押さえているホテルがあれば、そこを確保できればホテルを揃えることができるのでは。

鶴嶋国際理事：日本以外はホテルを個人取得。500用意しても200しか使わないなどの報告があったがそれでは困る。LCIが押さえている部屋を分けてもらった方がやりやすいということですか。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

一般社団法人日本ライオンズ発行文書 <2023-24-C-M-02>

MD330 公認 TC (ウイントラベル) : ボストンの場合、予約した時点で送金をして部屋を確保していた。今回も新しく探すより、公認 TC で少しずつ抑えていくほうがいいのでは。

鶴嶋国際理事 : その場合は 200 ドルのデポジットが必要であり、できないツアー会社もあったため今回のようにしている。前の方法に戻るのが良ければそれは LCI に話します。

MD330 公認 TC (ウイントラベル) : (ボストン大会では) 基本的に MCI の手配しているホテルから部屋を取るようにとの指示がコーディネーターへ LCI よりあった。前回いくつかの会社が違うことをしてしまったためこのような話になっており、コーディネーター内で話会う必要がある。

鶴嶋国際理事 : 本来は 1 年ごとに公認 TC を任命する決まりだが、ここ数年は公認 TC として正式に任命されていない業者が動いていたのが実情。今回は公認 TC をしっかりと決めた上で委員会において話し合いをし、LCI への要望を出していただき、LCI からの注意事項に従って進めることを徹底してほしい。

吉村委員長 : この件について改めて 8 名の公認 TC と打ち合わせをし、日本として統一された動きをしていきたい。実務者会議を 10 月中には開催し、国際大会委員会および理事会へ決まった事項をあげていく。議長各位へは公認 TC へ認定書を出してもらい、次回持参してもらう。

- ・資料をもとに、マニラフォーラム登録状況と目標数が確認される。

MD334 公認 TC (JTB) :

オセアルフォーラムでは、会場の SXM と本部ホテルの間のバスの用意はあるか。

- ・オセアルフォーラム開催には LCI は関与していない。10 年前のマニラフォーラムではシャトルバスが出ていた。事務局より実行委員会へ問い合わせる予定。

吉村委員長 : メルボルン大会では、日本として統一した動きを取らなければいけない。ある程度日本のホテルを決めて、日本ライオンズから全国へお知らせする。各 MD でホテル部屋数等、打ち合わせをしていただきたい。

募集は来年になるが、代議員会・ジャパンナイト開催は絶対に必要であり、現時点から話を進めておく。

幹事役 TC の決定については、8 人の公認 TC と話をさせていただく。



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

一般社団法人日本ライオンズ発行文書 <2023-24-C-M-02>

10/2 対面にて、次回公認 TC との会議を開催したい。

(第 1 部終了)

第 2 部 第 2 回国際大会委員会

■第 106 回メルボルン国際大会 (2024/6/21(金)~6/25(火))

- ・メルボルン大会参加者のルーム数 690 くらい
- ・1つのホテルでは無理なので3~4のホテルになるのでは
- ・次の公認ツアーコーディネーター会議を10月2日(月)にしたい
- ・MD 公認ということは各議長から「公認書」が必要

■OSEAL フォーラム (マニラ) (2023/11/2(木)~11/5(日))

- ・9月11日(月)現在の登録数(早期登録8月31日)、「D」の資料の通り

330・伊賀委員：複合は300人に向けて頑張るのみ

331・本所委員：300~350人に向けて頑張ります

332・田名部理事長：ガバ会で各クラブ1名のお願いをしている

将来のリーダー候補は特に参加をお願いしている

333・公認 TC 加藤氏：現状105だが積上げて頑張るが、270までは厳しそうです

334・公認 TC 大山氏：目標は270だが、各地区に分けてお願いしている。努力はして

いる 335・江草委員：現時点で233だが、上積みできるように頑張っています

336・澤議長：登録だけでも何とか頑張っています

337・曾山委員：できるだけ150に近づけるように頑張ります

鶴嶋国際理事：現地では委員会に出席して欲しい

ライオンズの会員なのだから、オセアルか国際大会参加か、MJFのどれかをやりましょうと、クラブ入会時に先輩から教えられた。

吉村委員長：なるべく若い人に参加して欲しい

濱野国際理事：研修の場なので若い人に呼び掛けてほしい。

ガバナーの力を借りて頑張ってほしい



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

一般社団法人日本ライオンズ発行文書 <2023-24-C-M-02>

吉村委員長：11/4(土)「Mission 1.5」の出席が大事です。

晩餐会への参加数が 301 人になっているが、次の札幌があるのだから、マニラでどれだけ頑張れるかによるのでは？

・ <IPBQ> 目標は 300 人である

MD330 : 54、MD331 : 21、MD332 : 30、MD333 : 35、MD334 : 45、
MD335 : 48、MD336 : 28、MD337 : 40 (合計 301 人)

・ 11/2(木)オセアルのゴルフについて

送迎・プレー費で 3 万円、参加者は前日までに行かなければ間に合わない

曾山委員：委員の役割分担について

国際会長晩餐会を成功に導いて欲しい

鶴嶋国際理事：PID、アポインターの席割もあるので登録を統一したらどうか？

(日本ライオンズを通す)

■第 106 回メルボルン国際大会について

・ 本部ホテルで朝食会を 6/23(日) 7:00~8:30 まで

6/24(月)は国際会長晩餐会予定

・ インターナショナルパレードについて

気温が低い (10°C~12°C) ので深く考えましょう

鶴嶋国際理事：代議員大会に第一、第三副会長をお呼びして抱負を聞くのはどうか

・ 次回、第 3 回国際大会委員会「OSEAL フォーラム」の確認：

10 月 10 日(火)10:30~12:00 はどうか？

以上



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

<一般社団法人日本ライオンズ発行文書 2023-24-C-14>

2023-2024 一般社団法人 日本ライオンズ
第 2 回公認 TC 打合せ会議 (HB) 議事記録

作成人：日本ライオンズ事務局

開催日：2023 年 10 月 2 日

◎出席者：

国際理事

2022-24 国際理事/LCI 大会委員会 鶴嶋 浩二 (札幌中島 LC)

一般社団法人日本ライオンズ

副理事長/国際大会委員会副委員長/MD331 協議会議長

松浦 淳一 (岩見沢はまなす LC) 【Web】

専務理事/国際大会委員会 (補) 増澤 義治 (諏訪湖 LC)

国際大会委員会

委員長 吉村 弘吉 (和歌山 LC)

各複合公認ツアーコーディネーター

MD330・MD333	加藤 勉 (株)ウイントラベル)
MD331	中牟田 憲一 (株)JTB)
MD332	吉田 明弘 (名鉄観光サービス(株))
MD334	丹羽 祐太 (株)JTB)
MD335	沼間 章作 (株)JTB)
MD336	金子 愛梨佳 (近畿日本ツアーリスト(株))
MD337	園田 花奈 (株)JTB)

以上



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

<一般社団法人日本ライオンズ発行文書 2023-24-C-14>

■吉村委員長ご挨拶

LCIと日本ライオンズとのいづらかの行き違いを徹底し、日本として統一行動をとれるように、安価に対応できるように

■ご挨拶および国際大会委員会のご報告： 国際理事／LCI 大会委員 鶴嶋 浩二

【概要】

<国際大会>

●例年の国際大会では協会指定ホテルを使用していたが、諸問題が生じたことをうけ、協会指定ホテルは提供されない

●公認指定業者選定のやり直し、「公認ツアーコーディネーター規定」をもとに、一種のみが対応可能、毎年更新が必要、

→日本の旅行会社が窓口となって、ホテルと折衝

●ホテルは1か所ないしは2か所くらいを選定していただければ、責任をもって大会委員会と話し合いをして、シャトルバスの指定を出す、という運びになっている

●日本のコーディネーターがダメとなれば、協会は旅行会社を紹介し、とまで言っているが、地域性もあるため日本は日本のパターンをもって進めていただければ良いかと思う

(35 ガバナーツアーや国際大会役員は、LCI 指定の「CWT」が仕切るようになってきた→高額な飛行機代)

●注意事項を守らないツアーコーディネーターは除名、もしくは出入り禁止という処分が科せられる

●個人・自分で予約できる方はそのように進めてもいい。非公認が集めて行うということはやめていただきたい。なぜなら日本の統一したホテルを作りたい

●各地区の親睦会は、ホテルを一本化していただき、8 複合 35 地区・・・その中でも 1 地区 2 地区と、それぞれが開催することもあると思うが、ホテルをうまく調整し連携を取り合って、見本となるパターンを作ってほしい

●OSEAL 調整事務局への直接の問い合わせはやめていただきたい

→要望ある場合には、一本化して（一社）日本ライオンズの大会委員長を通じ、委員長から理事会へ要望する、問合せする、という形をとっていただきたい

<OSEAL フォーラム>

●公認指定業者等は一切関係なく、どこが（誰が）対応しても良い

●ホテルはコンベンションセンター近くを早くに取らないとうまくいかない



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

<一般社団法人日本ライオンズ発行文書 2023-24-C-14>

●フォーラム期間中のツアーは入れないでいただきたい

→勉強会そして閉会式への参加が優先、毎日 8 : 30 から始まる議長・ガバナー会議も出席が必要、ご指導いただきたい

●来年開催はタイ（パタヤ）、2025 年は北海道・札幌（ヘッドクォータホテルは京王プラザホテル、開会式は札幌ドーム、10/26 スタート）、10 月の国際理事会@エジプト（カイロ）では、2030 年国際大会に札幌が立候補の決意表明する予定

■吉村委員長（まとめ）

●日本は同一行動をとっていく、そのために 8 つの公認 TC にプランを組んでいただく

●オセアル調整事務局への直接問い合わせはやめていただきたい、代表窓口の 1 社が、国際大会委員会へ要望・質問を投げてください、それを我々が消化した上で（あるいは）オセアル調整事務局と話し合いし回答する、というルートを整備しておきたい

■ 2. 各複合公認ツアーコーディネーターとの情報共有

●公認 TC 代表窓口 1 社の選定

（全員賛成により）MD335 公認 TC・(株) JTB 沼間章作氏に決定

●第 106 回メルボルン国際大会 日本ホテルの選定

（部屋タイプ等加味し、公認 TC で相談した結果）

・グランドハイアットメルボルンを中心に、

「グランドハイアットメルボルン」、「ウェスティンメルボルン」、「シェラトンメルボルンホテル」

の 3 点押しで調整

（他、候補：「インターコンチネンタル メルボルン ザ リアルト」「メルボルン マリオットホテル」）

→10/11「国際理事会@エジプト・カイロ」では、「大会委員会」も行われるので、鶴嶋国際理事からホテルリクエストを行う、最終的な決定を、10/10 くらいまでに鶴嶋国際理事にメールする

●公認 TC については、議長署名承認の書面を、共通書式として日本ライオンズで作成し、国際協会に提出する。それにより鶴嶋国際理事のリクエストを順次早く進めていく

→本来なら毎年 8 月くらいに指定してほしい

→第 1 回ガバナー協議会で指定するように、今後対応する



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

<一般社団法人日本ライオンズ発行文書 2023-24-C-14>

●公認と非公認のツアー料金差はなくす工夫（シャトルバス使用料を非公認から取る、添乗員、日本・現地のアテンド有無による料金設定など）をして、その手数料を公認に払う等、ほか松竹梅をつけるなど・・・検討の余地あり

●マニラフォーラム最新情報

添付資料 C を再確認、各公認 TC にも確認

※登録者数、晩餐会参加者数と発表に把握の基準がバラバラなので数字は割愛

●ジャパンレセプションは今回、開催しないと決定

→鶴嶋国際理事・理由説明：国際理事候補を出さないというのがあるが、日本ライオンズ的には晩餐会をやるべきという意見であり、提言もしてきたが、一部地区の集まりがあるため出席しないとの意見があり、他への負担を考えまたトラブルを招かないために、今年は無しとした。

●事務局より、OSEAL フォーラム「国際会長晩餐会」について、直接または、エージェントでお願いしている方のお席は、日本で困っているお席とは別になる、現地でのチケットは空きがあれば販売される

会場受付は、各 MD 大会委員または代理の方をお願いします（吉村委員長）10/10 に周知する

●10 月の登録方法については、各自で登録。カード決済はできない、ペイパル、海外送金、一番簡単なのは現地支払い

個人で予約された方については、予約済み確認番号？がフォーラム委員会から来ていないとの問合せあるが現在、進捗不明

●参加キットの受取については、まとめた受取だと大量かつ日本への発送に高額な関税料もかかるので注意、おそらく議長・本部ホテル宿泊ガバナーは、本部ホテル内での対応になると思われる

代理引き取りについては副委員長・ロバート氏 or 事務局・メイリンに事前に連絡入れると良い

（ウイン加藤氏補足）11/2 以降にキット用意、SMX 内に ABC 順で並べる予定ときいている（ピックアップ困難と思われる）

どのように配送するかを事前確認した方が良いかもしれない（不参加者の分のキット）

●各複合に帰ったら議長と相談し、各準地区がメインにしている TC がある場合、会合をもってこの件を徹底していただきたい、それをしないととまらない（吉村委員長）



一般社団法人日本ライオンズ

〒104-0031 東京都中央区京橋 1 丁目 2 - 4 八重洲ノリオビル 5 階

Phone:(03)6262-1263 Fax(03)3241-4388 E-mail:japanlions@apost.plala.or.jp

<一般社団法人日本ライオンズ発行文書 2023-24-C-14>

■吉村委員長（まとめ）

多くのライオンズメンバーに国際大会に行っていただきたい

その実現のために公認 TC 皆様にご協力いただきたい

最も大事なものは、皆様と日本ライオンズとのコミュニケーション、

今後どうして行くか、その経過状況等々についてはまた、あと 1 回くらいは Web 会議で集まっていただくかもしれない

■松浦副委員長ご挨拶

早い時期に航空券・ホテル・スケジュールとお伝えしないと、今の時代なのでほとんど若い方はインターネットで取ってしまう、十分説明をしながらメルボルンに向け、日本全体が 1 つのホテル 3 つのホテルとそれぞれ泊まれる環境づくりを早い時期にしていきたい、今後とも公認 TC の皆様にはご協力いただきながら、日本としてメルボルン国際大会に参加していきたい

以上



2023年10月吉日

ライオンズクラブ国際財団 (LCIF)

MD336 複合地区ガバナー協議会事務局 御中

LCIF 理事長メダル送付のご案内

平素より LCIF をご支援いただき誠にありがとうございます。
理事長メダルを同封いたしましたので、ご査収くださいますようお願いいたします。
対象者の方への贈呈をお願い申し上げます。

メダルの種類	表彰者
Silver	L. EIJI TAKAOKA
Silver	L. KATASHI IKEHARA

ライオンズクラブ国際協会 OSEAL 調整事務局 LCIF 課
LCIFTokyo@lionsclubs.org
電話 050-1791-5820

WE CARE. WE SERVE. WE ACCOMPLISH.

